

ESPER LASER

LP-8600F/8400F/8300F

ユーザーズガイド

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。



セットアップガイド

プリンタの準備から、プリンタソフトウェアのセットアップまでの手順を記載しています。



ユーザーズガイド

機能、操作方法など本プリンタを使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。

また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。

お客様の目的や必要に応じて、必要な章をお読みください。



本書の構成

詳しいもくじは次のページにあります。

Windows をお使いの方のみお読みください。

Win

Macintosh をお使いの方のみお読みください。

Mac

DOS をお使いの方のみお読みください。

DOS

用紙について

Windows からの印刷

Macintosh からの印刷

DOS からの印刷

操作パネルでの設定

オプションと消耗品について

メンテナンスの仕方

困ったときは

付録



もくじ

本書の構成	(1)
本書中のマーク、表記について ..	(5)

1 用紙について

用紙について	2
印刷できる用紙の種類	2
印刷できない用紙	3
印刷できる領域	4
用紙と給紙方法について	4
給紙装置の優先順位について	5
用紙の保管	5
用紙のセット	6
用紙カセットへの用紙のセット	6
用紙トレイへの用紙のセット	10
給紙タイプ(用紙種類)選択機能 ..	13
特殊紙への印刷について	14
ハガキへの印刷	14
封筒への印刷	16
厚紙/レターヘッドへの印刷	17
ラベル紙への印刷	18
OHPシートへの印刷	19
長尺紙への印刷	20
不定形紙への印刷	21

2 Windowsからの印刷

印刷までの流れ	24
印刷の手順	25
Windows95/98/NT4.0での印刷手順 ...	25
Windows3.1/NT3.51での印刷手順	27
プリンタドライバの設定	29
印刷の基本設定	31
[基本設定] ダイアログ	31
[詳細設定] ダイアログ	34
レイアウトの設定	36
[レイアウト] ダイアログ	36
スタンプマークを印刷するには	38
フォームオーバーレイ印刷	41
[オーバーレイ] ダイアログ	41
給紙装置の用紙設定 (WindowsNT3.51/NT4.0)	43
[プリンタ設定] ダイアログ	43
プリンタの環境設定	44

[環境設定] ダイアログ	44
[実装オプション設定] ダイアログ	46
[拡張設定] ダイアログ	47
TrueTypeフォントを プリンタフォントに置き換える	50
ユーティリティの起動	51
[ユーティリティ] ダイアログ	51
EPSONプリンタウィンドウ!3 ..	52
EPSONプリンタウィンドウ!3とは	52
プリンタの状態を確かめるには	53
対処が必要な場合は	55
モニタの設定	56
印刷の中止方法	59
プリンタを共有するには	61
Windows95/98の場合	62
WindowsNT4.0の場合	65
プリンタ接続先の設定	66
Windows95/98の場合	66
Windows3.1の場合	70
プリンタソフトウェアの削除	72
EPSONバーコードフォント	75
バーコードフォントについて	75
注意事項	76
システム条件	77
バーコードフォントのインストール ..	78
バーコードの作成	79
各バーコードについて	81

3 Macintoshからの印刷

印刷までの流れ	90
印刷の手順	91
用紙設定の手順	91
印刷の手順	92
用紙の設定	93
[用紙設定] ダイアログ	93
フォント設定の手順	95
カスタム用紙の設定/変更	97
印刷の設定	98
[プリント] ダイアログ	98
[詳細設定] ダイアログ	102
[レイアウト] ダイアログ	107
EPSONプリンタウィンドウ!3 ..	110
手動での起動と終了	110

[詳細]ウィンドウ	111
対処が必要な場合は	112
[環境設定]ウィンドウ	113
EPSONプリントモニタ!3	114
バックグラウンドプリントを行うには ..	114
印刷状況を表示する	115
印刷の中止方法	116
プリンタドライバの削除	117

4 DOSからの印刷

DOSアプリケーションソフト	
でのプリンタ設定	120
海外版アプリケーションソフトを	
使用する場合	120
国内版アプリケーションソフトを	
使用する場合	121
DOSアプリケーションソフトでの	
印刷実行の流れ	122
EPSON Remote! (DOS/NetWare) ..	123
テキストファイルの確認方法	123
DOS版またはNetWare版	
EPSON Remote!	123

5 操作パネルでの設定

操作パネルについて	126
ランプ/ディスプレイ	126
スイッチ	126
操作パネルでの設定方法	127
操作パネルでの設定について	127
操作パネルでの設定変更の注意事項 ..	127
パネル設定モードの種類	128
ワンタッチ設定モード1での設定方法 ..	128
ワンタッチ設定モード2での設定方法 ..	130
階層設定モードでの設定方法	132
設定項目の説明	134
節電の設定方法	154
ステータスシートの印刷	155
16進ダンプ印刷	156
リセット/リセットオールについて ..	157
リセットについて	157
リセットの仕方	157
リセットオールについて	158
リセットオールの仕方	158

6 オプションと消耗品について

オプションと消耗品の紹介	160
パラレルインターフェイスクーブル ..	160
シリアルインターフェイスクーブル ..	161
用紙カセットユニット	162
インターフェイスカード	163
Macintosh接続用オプション	163
EP-GLモジュール	164
増設メモリ	164
フォントROMモジュール	165
フォームオーバーレイ	
ユーティリティソフト	165
フォームオーバーレイ	
ROMモジュール	166
リファレンスマニュアル	166
ETカートリッジ	167
専用キャビネット	167
通信販売のご案内	168
お申し込み方法	168
お届け方法	168
お支払い方法	168
料金システム	168
増設メモリ/ROMモジュールの	
取り付け	169
インターフェイスカードの	
取り付け	176
オプション装着時の設定	178

7 メンテナンスの仕方

ETカートリッジの交換	182
ETカートリッジの交換時期	182
ETカートリッジ交換の注意	182
使用済みの消耗品の	
お取り扱いについて	183
ETカートリッジの交換方法	184
印刷濃度の調整	188
プリンタの清掃	189
用紙トレイ給紙ローラのクリーニング ..	189
プリンタの運搬	194
近くへ移動するときは	194
遠くへ運搬するときは	194
輸送上の注意	195

8 困ったときは

故障かな?と思ったら	198
チェック項目	198
どうしても解決しないときは	199
電源が入らない	200
プリンタの電源が入らない	200
印刷しない	201
印刷しない(Windows)	204
「LPT1に書き込みができませんでした」	
エラーが発生する	205
印刷しない(Macintosh)	206
セレクトにプリンタドライバ	
またはプリンタが表示されない	206
エラーが発生する	207
用紙に関するトラブル	208
用紙が詰まる/給排紙されない	208
用紙カセットから給紙されない	209
用紙を二重送りしてしまう	210
紙詰まりエラーが解除されない	210
その他の症状	210
印刷結果が画面と異なる	211
画面と異なるフォント/文字/	
グラフィックスで印刷される	211
画面と異なる位置に印刷される	212
罫線が切れたり、文字の位置がずれる ..	212
設定と異なる印刷をする	213
その他の症状	213
印刷品質に関するトラブル	214
きれいに印刷できない	214
印刷の濃淡が思うように印刷できない ..	215
印刷が薄い(うすくかすれる、不鮮明) ..	215
黒点が印刷される	216
周期的に汚れがある	216
指でこするとにじむ	216
黒い部分に白点がある	216
用紙全体が黒く印刷されてしまう ...	217
黒線が印刷される	217
何も印刷されない	217
白抜けがおこる	218
裏面が汚れる	218

EPSONプリンタウィンドウ!3での	
トラブル(Windows)	219
「通信エラーが発生しました」と	
表示される	219
その他のトラブル	220
印刷に時間がかかる	220
「トナーカートリッジコウカン」の	
メッセージが解除されない	220
インターフェイスが切り替わらない ..	221
プログラムリスト、ハードコピーが	
とれない	221
操作パネルのメッセージについて ..	222
ステータスメッセージ	222
エラーメッセージ	223
用紙が詰まったときは	227
給紙部で用紙が詰まったときは	227
プリンタ内部で用紙が詰まったときは ..	228

付録

フロッピーディスクを	
ご希望のお客様へ	232
申込手順	232
技術的なお問い合わせ	233
ご注意	233
お知らせ	233
サービス・サポートのご案内 ...	234
エプソンFAXインフォメーション ...	234
エプソンインフォメーションセンター ..	234
インターネット・パソコン通信サービス ..	234
ショールーム	234
パソコンスクール	235
保守サービスのご案内	235
コントロールコードについて ..	237
ESC/Pageコントロールコード	237
ESC/Pコントロールコード	237
プリンタの仕様	238
用語集	246
索引	250
お問い合わせ確認票	巻末
FAX注文書	巻末
修理依頼票	巻末
パネル設定一覧表	巻末



本書中のマーク、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。
マークが付いている記述は必ずお読みください。

それぞれのマークには次のような意味があります。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する
可能性が想定される内容を示しています。



ポイント

お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）、知っておいてい
だきたいことを記載しています。

用語^{*1} 用語の説明を、欄外に記載していることを示しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

プリンタの機種名表記について

本書は下記プリンタ機種の共通ユーザズガイドです。

LP-8600F、LP-8400F、LP-8300F

本書の説明の中で機種名を明記していない場合は、ご購入いただいた機種と
してお読みください。機種によってプリンタの機能やオプションが異なりま
す。異なる点については、機種名を明記しています。また、プリンタのイラ
ストおよびコンピュータのモニタに表示される画面の機種名は、LP-8600F
を使用しています。ご購入いただいた機種に置き換えてお読みください。

Windowsの画面について

本書に掲載するWindowsの画面は、特に指定がない限りWindows98の画面
を使用しています。

Windowsの表記について

Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1 日本語版

Microsoft® Windows®95 Operating System 日本語版

Microsoft® Windows®98 Operating System 日本語版

Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版

Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 3.51 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、WindowsNT3.1、Windows95、Windows98、WindowsNT3.51、WindowsNT4.0と表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNT3.51、WindowsNT4.0を総称する場合は「Windows」、複数のWindowsを併記する場合は「Windows95/98/NT4.0」のようにWindowsの表記を省略することがあります。

第1章

用紙について

ここでは、印刷できる用紙、用紙のセット方法、印刷する際の諸注意などについて説明しています。

●用紙について	2
●用紙のセット	6
●給紙タイプ（用紙種類）選択機能	13
●特殊紙への印刷について	14



用紙について

印刷できる用紙の種類

本プリンタは、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これ以外の用紙は使用しないでください。

普通紙	普通紙	複写機などで使用する一般のコピー用紙や上質紙です。 紙厚は 60～90g/m ² の範囲内のものをお使いください。
	印刷済み ^{*1}	罫線や会社のロゴなどが印刷された紙です。 レーザープリンタやインクジェットプリンタで印刷された紙は使用しないでください。
	ボンド紙	印刷適性、耐久性に優れた、かたく締った厚目の用紙です。紙厚が 90～135g/m ² のものを使用する場合は、印刷時に紙種を [厚紙] に設定してください。
	再生紙	再生紙は、一般の室温環境下で使用してください。それ以外の環境でご使用になると印刷品質が低下したり、紙詰まりが発生することがあります。
	色付き ^{*1}	色上質紙など用紙全体が染められている用紙です。 カラーレーザープリンタやインクジェットプリンタで印刷された用紙や表面にコーティングされている用紙は使用しないでください。
特殊紙	官製ハガキ ^{*2}	通常の官製ハガキが使用可能です。 往復ハガキの場合は、中央に折り目のないものをお使いください。
	封筒 ^{*3}	使用できる定形サイズの封筒は Monarch、Commercial-10、DL、C5 です。これ以外のサイズの洋形封筒に印刷するときは、ユーザー定義サイズを設定してください。紙厚が 60～105g/m ² のものをご使用ください。 (和封筒はご使用いただけません)
	ラベル紙	モノクロレーザープリンタ用またはコピー機用のラベル紙で、台紙全体がラベルで覆われているものをお使いください。
	OHP シート	モノクロレーザープリンタ用またはコピー機用のOHPシートをお使いください。
	レターヘッド ^{*1}	上部に差出人名、会社名などが印刷されている用紙です。 レーザープリンタやインクジェットプリンタで印刷された紙は使用しないでください。
	不定形紙	用紙幅が 90.1～297mm、用紙長が 148～431.8mm、紙厚が 60～135g/m ² の範囲内のものをお使いください。
	厚紙	紙厚が 90～135g/m ² の範囲内の用紙（ケント紙を含む）をお使いください。
	長尺紙	用紙サイズ 297mm × 432mm～900mm、紙厚 60～135g/m ² の範囲内のものをお使いください。

*1：定着器の温度（約180℃）によってインクなどが変質・変色する用紙は使用しないでください。

*2：絵入りのハガキなどを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着し給紙できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

本書「用紙トレイ給紙ローラのクリーニング」189 ページ

*3：封にのりの付いた封筒は使用しないでください。



ポイント

- ご利用の紙の種類によっては特に印刷面の指定がない場合でも、印刷する面によって排紙後の用紙の状態に差が出ることがあります。
排紙後、用紙がカールなどしてきれいに排紙されない場合は印刷面を替えて用紙をセットしてください。
- 特殊紙への印刷の際は、各用紙ごとにご注意いただく事項が異なりますので以下のページを参照ください。
本書「特殊紙への印刷について」14 ページ
- 用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。

印刷できない用紙

プリンタの故障(給紙ローラ、感光体、定着器)の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊用紙(スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルムなど)
- アイロンプリント用紙
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷した後の用紙
- モノクロレーザープリンタやカラーレーザープリンタ、カラー複写機で印刷した後の用紙
- カラーレーザープリンタやカラー複写機専用 OHP シート
- 一度印刷した後の裏紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙

給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

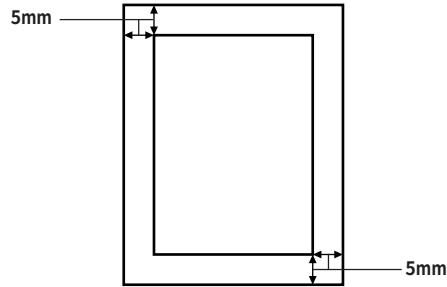
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 濡れている(湿っている)用紙
- 表面が平滑すぎる(ツルツル、スベスベすぎる)用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り目、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙

定着器の熱(約180℃)によって変質、変色する用紙

- 表面に特殊コートが施された用紙、アイロンプリント用紙
- 既に印刷の施されたプレプリント用紙

印刷できる領域

用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷できます。



アプリケーションソフトウェアによっては、印刷可能領域が上記より小さくなる場合があります。

用紙と給紙方法について

給紙装置		使用できる用紙	容量	用紙サイズ () 内は、操作パネルの液晶表示上での表記です。
標準	用紙トレイ ^{*1}	普通紙	200 枚 ^{*2}	A3、A4、A5、B4、B5、Letter (LT)、Half-Letter (HLT)、Executive (EXE)、Legal (LGL) ^{*3} 、Government Legal (GLG)、Government Letter (GLT)、Ledger (B)、F4、不定形紙
		厚紙 / レターヘッド [*]	10 枚 ^{*3}	
		ラベル紙	75 枚	
		OHP シート		
		封筒 ^{*5}	10 枚	Monarch (MON)、Commercial-10 (C10)、DL、C5
		長尺紙	1 枚	297mm × 432mm ~ 900mm
		官製ハガキ	75 枚	100mm × 148mm (往復はがき 200mm × 148mm)
オプション	用紙カセット	普通紙	250 枚 ^{*2}	A3、A4、A5、B4、B5、Letter (LT)、Legal (LGL)
		ラベル紙	20 枚	
		OHP シート		
	ユニバーサルカセットユニット (LPUC1)	普通紙	250 枚 ^{*2}	A3、A4、A5、B4、B5、Letter (LT)、Legal (LGL)
		ラベル紙	20 枚	
	大容量カセットユニット (LPDC6)	普通紙	500 枚 ^{*2}	A4
		OHP シート		
	ユニバーサルショートカセット ^{*6} (LPSC1)	普通紙	250 枚 ^{*2}	A4、A5、B5、Letter (LT)

*1 : 用紙トレイにセットできる用紙の高さは 16mm 以下です。

*2 : 64g/m² の場合です。

*3 : 135g/m² の場合です。

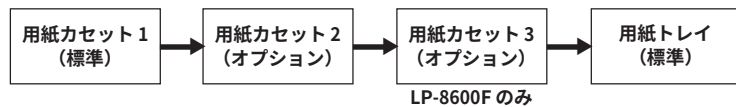
4 : トレイ紙サイズスイッチでは [LG14^{)}] に設定します。

*5 : 定形サイズ以外の洋形封筒を使用する場合はユーザー定義サイズで使用する封筒のサイズを設定して使用してください。なお、和封筒は使用できません。

*6 : 標準の用紙カセットまたはオプション (LPUC1/LPDC6) の用紙カセットと差し替えて使用します。

給紙装置の優先順位について

プリンタドライバやパネルの設定で給紙装置を「自動」に設定すると、プリンタはドライバで設定された用紙サイズおよび用紙タイプが一致する用紙がセットされている給紙装置を次の順序で検索し、給紙します。



すべての給紙装置に印刷するデータの用紙サイズの用紙をセットすれば標準で450枚（用紙カセット1＋用紙トレイ）、オプションの給紙装置を装着して以下の枚数が連続給紙できます。

LP-8600F : 最大1200枚（オプションの用紙カセット2段使用）

LP-8400F/8300F: 最大950枚（オプションの用紙カセット1段使用）

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ほこりがつかないように、包装紙などに包んで保管してください。



用紙のセット

本プリンタは標準で2つの給紙装置(用紙カセットと用紙トレイ)があります。ここでは、それぞれの給紙装置への用紙のセット方法について説明します。オプションの用紙カセットへの用紙のセット方法は、オプションの取扱説明書を参照してください。



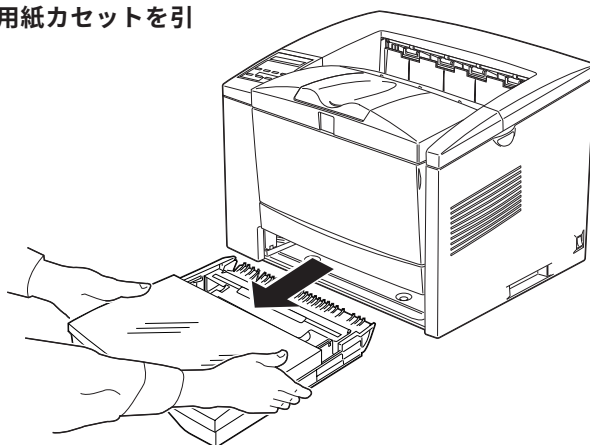
ポイント

印刷できる用紙についての詳細は、以下のページを参照してください。

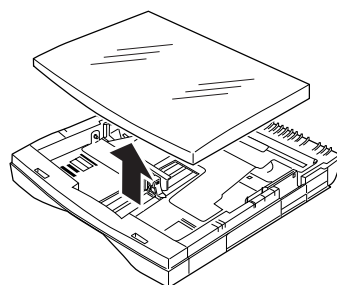
📖 本書「用紙について」2ページ

用紙カセットへの用紙のセット

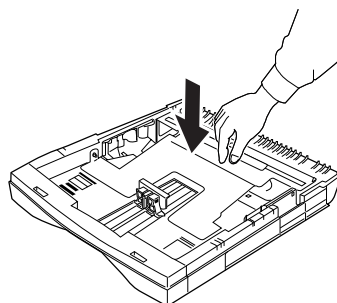
- 1 プリンタから用紙カセットを引き抜きます。



- 2 用紙カセットのカバーを取り外します。



- 3 用紙カセット内部の金属板をカチッと音がして固定されるまで押し下げます。

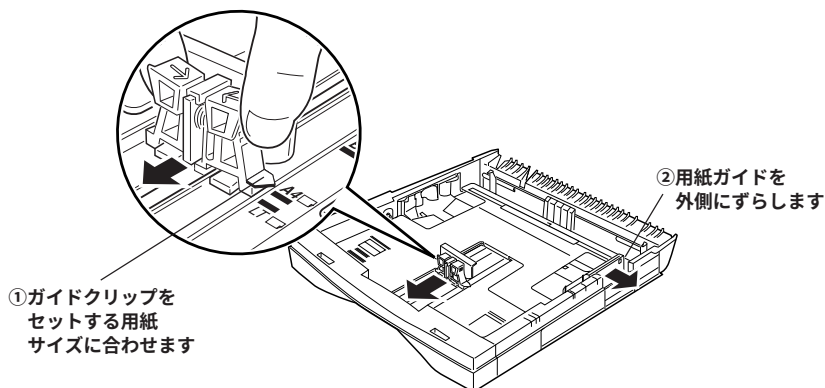


4

用紙ガイド、ガイドクリップをずらしします。

A5、B5、A4、Letter (LT) サイズの用紙：

- ① ガイドクリップを指でつまんでセットする用紙サイズに合わせます。
- ② 用紙ガイドを外側にずらしします。

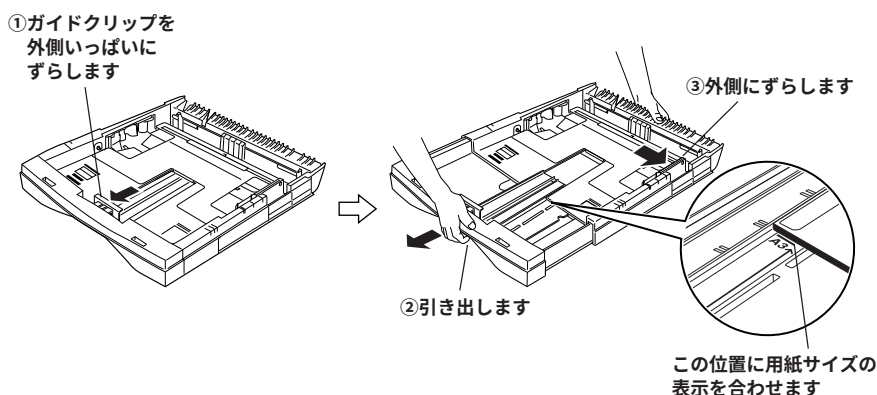


ポイント

ガイドクリップは必ずセットする用紙サイズに合わせてください。
セット位置がずれていると用紙サイズを正しく検知できない場合があります。

B4、A3、Legal (LGL) サイズの用紙：

- ① ガイドクリップを指でつまみ外側いっぱいにはずします。
- ② 用紙カセット伸縮部を引き出し、セットする用紙サイズに合わせます。
- ③ 用紙ガイドを外側にずらしします。



ポイント

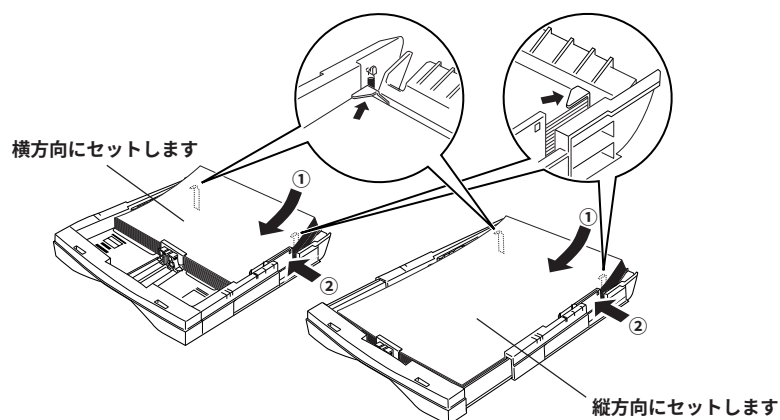
大きなサイズの用紙がセットできるようにガイドクリップは必ず外側いっぱいまでずらしてください。また、伸縮部を引き出す際、セットする用紙サイズの表示をイラストの位置に必ず合わせてください。

5

用紙をセットし、用紙ガイドを用紙の側面に合わせます。

A5、B5、A4、Letterサイズの下紙：用紙は横方向にセットします。

B4、A3、Legalサイズの下紙：用紙は縦方向にセットします。



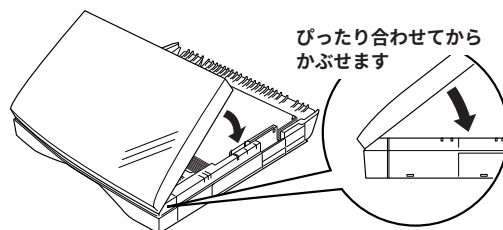
ポイント

どちらの場合も、用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上に向けて、用紙カセット内の左右のツメの下に差し込むようにしてセットします。用紙は最大250枚（普通紙64g/m²）までセットできます。最大枚数を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

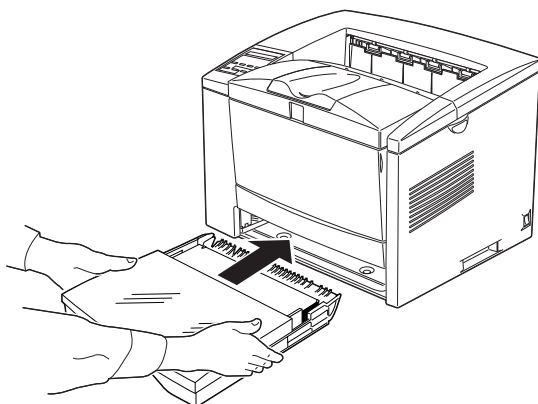
6

用紙カセットにカバーを取り付けます。

用紙カセットの側面にカバーをぴったり合わせてカバーをかぶせます。

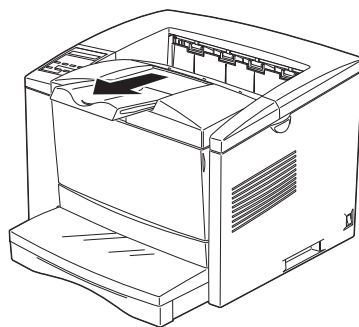


7 用紙カセットをプリンタに差し込みます。

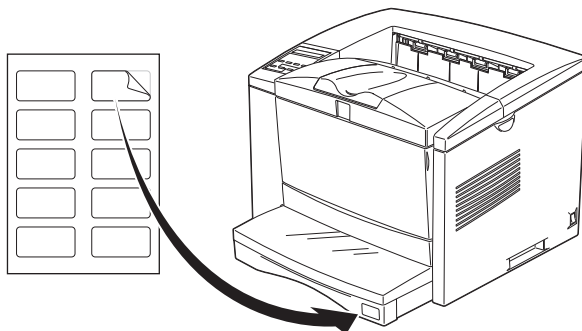


カバーは必ず取り付けてプリンタにセットしてください。プリンタが誤動作または用紙カセットが認識されない場合があります。

8 B4以上のサイズ of 用紙に印刷する場合は、排紙用延長トレイを引き出します。

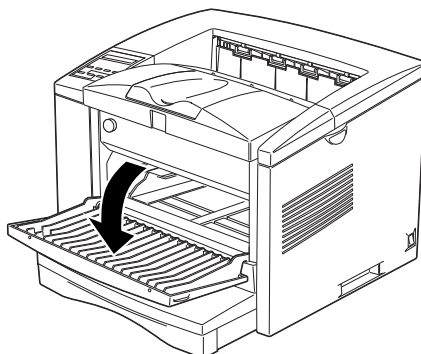


9 用紙サイズ表示ラベルをカセット前面に貼り付けます。
本機には、用紙サイズシールが同梱されています。セットした用紙サイズのシールを用紙カセットやトレイに貼ってご利用ください。

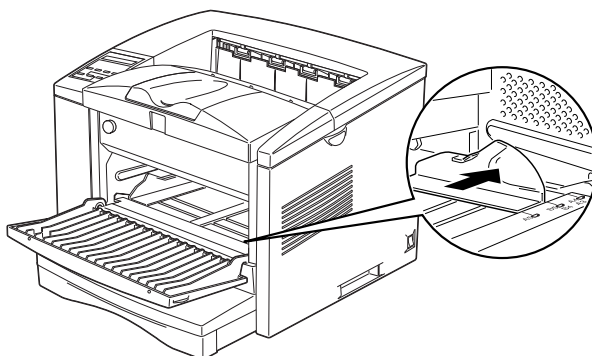


用紙トレイへの用紙のセット

1 用紙トレイを開きます。



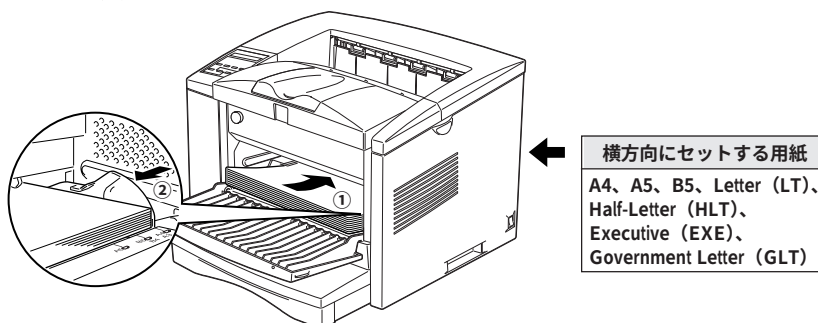
2 用紙ガイドを外側にずらします。



ポイント

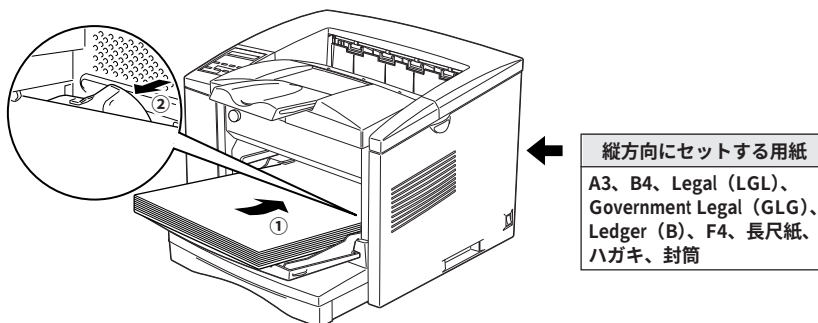
用紙ガイドには、用紙の枚数の目安となるシールが貼ってあります。シールの目盛りの上限を越えないように用紙をセットしてください。最大 200 枚（普通紙 64g/m²）セットできます。

- 3** 印刷する面を上にして用紙をセットし、用紙ガイドを合わせます。
用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして、差し込み口に軽く当たるまで入れます。



横方向にセットする用紙

A4、A5、B5、Letter (LT)、
Half-Letter (HLT)、
Executive (EXE)、
Government Letter (GLT)



縦方向にセットする用紙

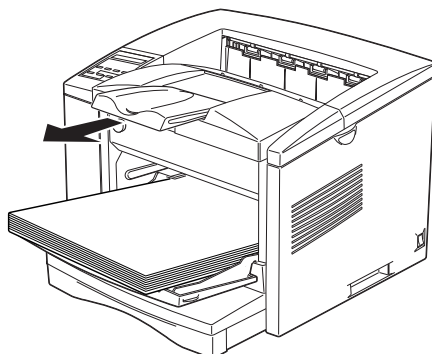
A3、B4、Legal (LGL)、
Government Legal (GLG)、
Ledger (B)、F4、長尺紙、
ハガキ、封筒



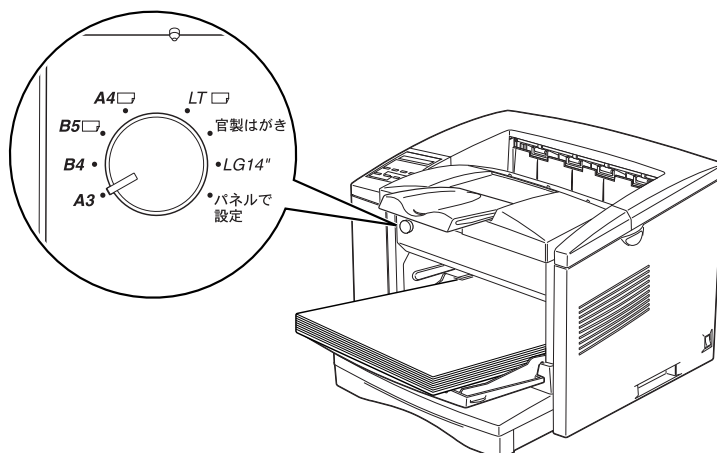
ポイント

- 用紙ガイドのツメを超えて用紙をセットしないでください。正常に給紙できない場合があります。
- 長尺紙に印刷する場合は、用紙に手を添えて給紙するようにしてください。

- 4** セットした用紙のサイズに応じて、排紙用延長トレイを引き出します。
B4以上のサイズ of 用紙に印刷する場合は、排紙用延長トレイを引き出します。



5 トレイ紙サイズスイッチを、セットした用紙のサイズに合わせて設定します。



セットした用紙のサイズが、トレイ紙サイズスイッチの設定値にない場合は「パネルで設定」に合わせ、操作パネルの「ワンタッチ設定モード2」で設定してください。

☞ 本書「ワンタッチ設定モード2での設定方法」130ページ



ポイント

- 不定形紙、長尺紙をセットした場合はトレイ紙サイズスイッチを「パネルで設定」に合わせますが、操作パネルでの設定は必要ありません。
- トレイ紙サイズスイッチを「パネルで設定」にしない場合、操作パネルの「トレイ用紙サイズ」の設定は有効になりません。



注意

印刷中は、トレイ紙サイズスイッチを操作しないでください。プリンタが誤動作する場合があります。



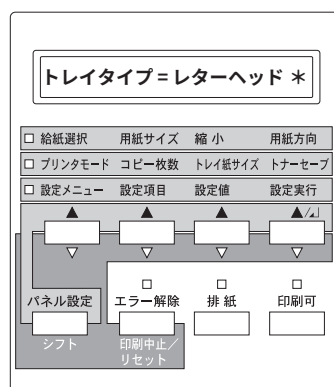
給紙タイプ(用紙種類)選択機能

各給紙装置にセットした用紙のサイズとタイプ(種類)を設定しておくことで、印刷実行時にプリンタドライバが各給紙装置の用紙サイズとタイプ(種類)を調べ、目的の用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙できるようにします。これにより同サイズの異なるタイプ(種類)の用紙をセットしている場合などの誤給紙を防ぎます。

1 操作パネルで各給紙装置にセットした用紙のタイプ(種類)を設定します。

用紙のタイプ(種類)は次の中から選択できます。

- 普通紙 / 印刷済み / レターヘッド / ボンド紙 / 再生紙 / 色付き / OHP フィルム / ラベル紙
- ☞ 本書「階層設定モードでの設定方法」132 ページ



用紙カセットの場合は、レターヘッド、ラベル紙、OHP フィルムは選択できません。

ポイント

2

印刷実行時にプリンタドライバで [給紙装置] を [自動選択] に設定し、[給紙タイプ] (Windows) / [用紙種類] (Macintosh) の中から、印刷したい用紙のタイプ(種類)を選択します。

印刷を実行するとプリンタドライバは、指定した用紙のセットされている給紙装置から自動的に給紙します。

☞ Windows 「[基本設定] ダイアログ」 31 ページ

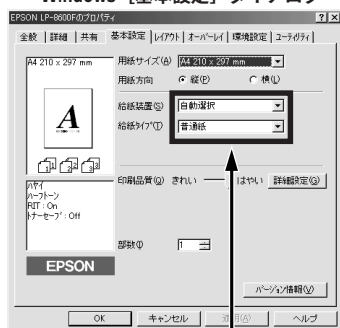
Macintosh 「[プリント] ダイアログ」 98 ページ



[給紙装置] が [自動選択] になっていないと [給紙タイプ] (Windows) / [用紙種類] (Macintosh) は選択できません。

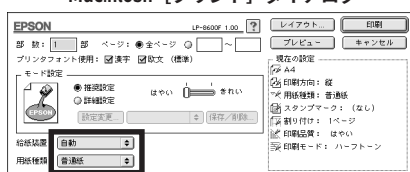
ポイント

Windows [基本設定] ダイアログ



選択します

Macintosh [プリント] ダイアログ



選択します



特殊紙への印刷について

ここでは、ハガキや長尺紙など、特殊紙への印刷方法について説明します。

ハガキへの印刷

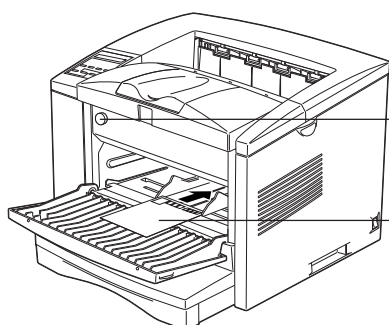


以下のハガキは使用しないでください。プリンタの故障や印刷不良などの原因になります。

- インクジェットプリンタ用ハガキ
- 表面に特殊コート、糊付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで一度印刷したハガキ
- カラーレーザープリンタやカラー複写機で印刷した後のハガキ
- 私製ハガキ
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
- 絵はがきなどの厚い（135g/m² より厚い）ハガキ
- 大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください）

絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着し給紙できなくなる場合があります。万一給紙できなくなった場合は、以下のページを参照して給紙ローラをクリーニングしてください。

📖 本書「用紙トレイ給紙ローラのクリーニング」189 ページ



トレイ紙サイズスイッチの設定：[官製はがき]

給紙方法：[用紙トレイ]
セット可能枚数 [75 枚]

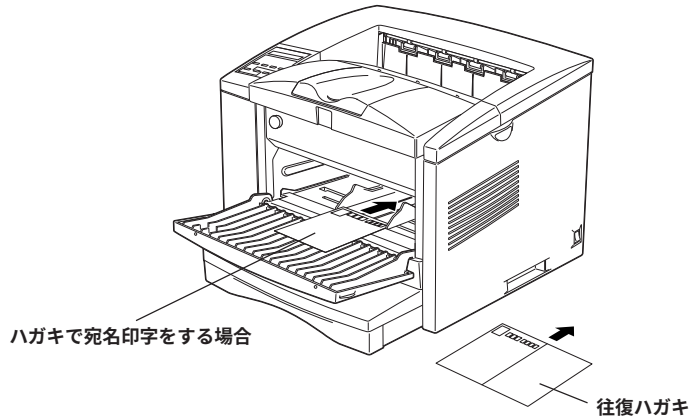
プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	[ハガキ 100 × 148mm]
		給紙装置	[用紙トレイ]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	[ハガキ]
	プリント	給紙装置	[用紙トレイ]



ポイント

- 往復ハガキは用紙に折り目がないものを使用してください。
- 往復ハガキに印刷する場合は、アプリケーションソフトウェアで用紙サイズを、200mm × 148mm に設定してください。アプリケーションソフトウェアで任意の用紙サイズを指定できない場合は、往復ハガキへの印刷はできません。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- 印刷する面を上に向けてセットしてください。
- 用紙トレイから給紙します（用紙カセットからの給紙はできません）。
- ハガキに印刷する前に、同じサイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などの確認をしてください。
- 裏面（または表面）に印刷したハガキの反対面に印刷する場合は、ハガキの反りを直してからプリンタにセットしてください。

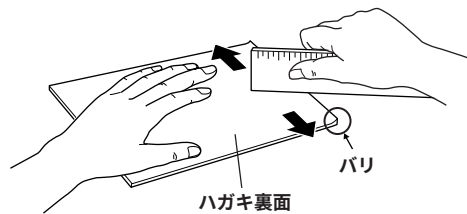
給紙の仕方



ハガキの「バリ」除去について

ハガキによっては、裏面に「バリ」（裁断時のかえり）が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には以下の方法に従って除去してください。

ハガキを水平な所に置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に1～2回こすり、「バリ」を除去します。



- 「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。
- ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなるおそれがあります。万一用紙を給紙しなくなった場合は、給紙ローラをクリーニングしてください。

📖 本書「用紙トレイ給紙ローラのクリーニング」189ページ

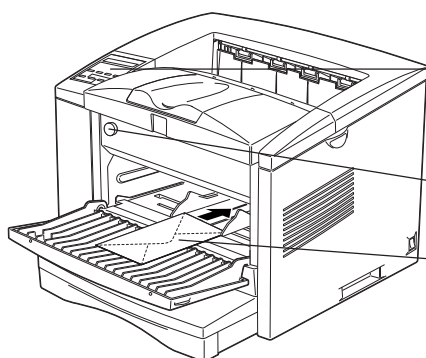
封筒への印刷

封筒の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の封筒を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。



以下の封筒は使用しないでください。プリンタの故障や印刷不良などの原因になります。

- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで一度印刷した封筒
- 封の部分に両面テープによる糊付け加工が施されている封筒
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
- リボン、フックなどが付いている封筒
- 宛名用窓付きの封筒



操作パネルでの設定（[トレイヨウシサイズ]の設定）：
[Mon]、[C10]、[DL]、[C5]の中から使用する用紙サイズを設定

トレイ紙サイズスイッチの設定：
[パネルで設定]

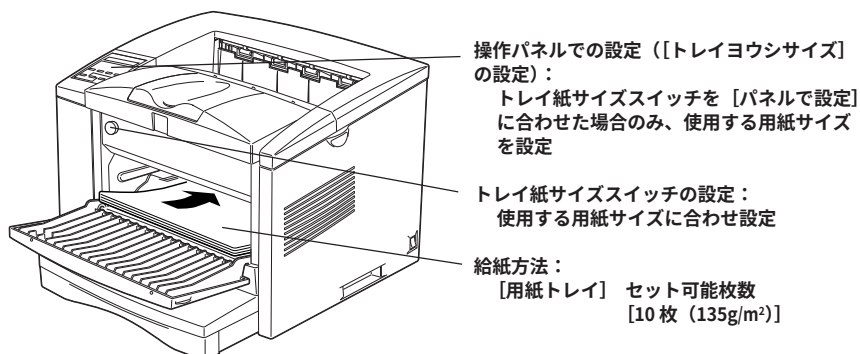
給紙方法：
[用紙トレイ] セット可能枚数 [10 枚]
印刷面を上にして封の付いている辺を左側にします

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	[MON] [C10] [DL] [C5]
		給紙装置	[用紙トレイ]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	[Monarch] [Commercial-10] [DL] [C5]
		給紙装置	[用紙トレイ]
	プリント	給紙装置	[用紙トレイ]



- 封筒の定形サイズは、Monarch (MON)、Commercial-10 (C10)、DL、C5の4つ（洋形封筒のみ）です。洋形封筒で定形サイズ以外の封筒を使用する場合はユーザー定義サイズで、使用する封筒のサイズを設定してください。
- 和封筒はご使用になれません。
- 封にのりの付いた封筒はご使用になれません。
- 封を確実に折り畳み、封の付いている辺を左に向けてセットしてください。印刷結果が思う向きにならない場合は、[逆方向から印刷]（Windows プリンタドライバの「レイアウト」ダイアログ） / [180度回転印刷]（Macintosh プリンタドライバの [用紙設定] ダイアログ）をご利用ください。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数mm上に反らせてセットしてください。

厚紙/レターヘッドへの印刷



プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	[用紙トレイ]
	環境設定 - 拡張設定	紙種	[厚紙]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	[用紙トレイ]
	詳細設定	紙種	[厚紙]



ポイント

- 印刷する面を上に向けて給紙してください。
- 135g/m² 以下のものを使用してください。

ラベル紙への印刷

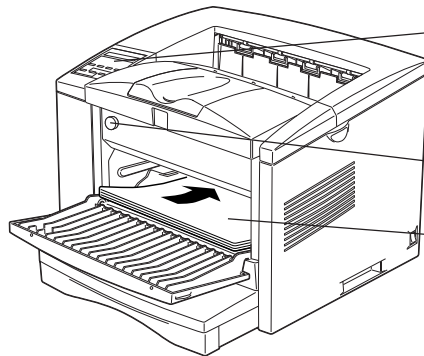
ラベル紙の品質は、製造メーカーによって異なります。

大量のラベル紙を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。



以下のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。

- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 一部がはがれているラベル紙
- 糊がはみ出しているラベル紙
- インクジェットプリンタ用のラベル紙
- 台紙全体がラベルで覆われていないラベル紙



操作パネルでの設定（[トレイヨウシサイズ]の設定）：

トレイ紙サイズスイッチを [パネルで設定] に合わせた場合のみ、使用する用紙サイズを設定

トレイ紙サイズスイッチの設定：
使用する用紙サイズに合わせ設定

給紙方法：

[用紙トレイ] セット可能枚数 [75 枚]
[用紙カセット] セット可能枚数 [20 枚]

用紙カセットの場合は、セットできないサイズがあります

📖 本書「用紙と給紙方法について」
4 ページ

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	[用紙トレイ] / [用紙カセット]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	[用紙トレイ] / [用紙カセット]



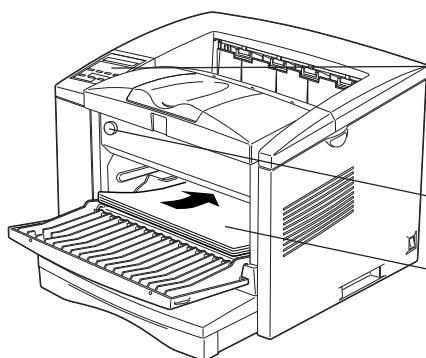
- ラベルが貼ってある面を上に向けてセットしてください。
- モノクロレーザープリンタ用またはコピー機用のものを使用してください。
- 紙が厚い場合は、プリンタドライバで紙種を [厚紙] に設定してください。
- オプションの大容量給紙ユニットにはセットできません。

OHPシートへの印刷



注意

- OHPシートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHPシートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後のOHPシートは熱くなりますのでご注意ください。
- カラー複写機やカラーページプリンタ専用のOHPシートは使用しないでください。



操作パネルでの設定（[トレイヨウシサイズ]の設定）：

トレイ紙サイズスイッチを「パネルで設定」に合わせた場合のみ、使用する用紙サイズを設定

トレイ紙サイズスイッチの設定：
使用する用紙サイズに合わせ設定

給紙方法：

[用紙トレイ] セット可能枚数 [75 枚]

[用紙カセット] セット可能枚数 [20 枚]

用紙カセットの場合は、セットできないサイズがあります

📖 本書「用紙と給紙方法について」
4 ページ

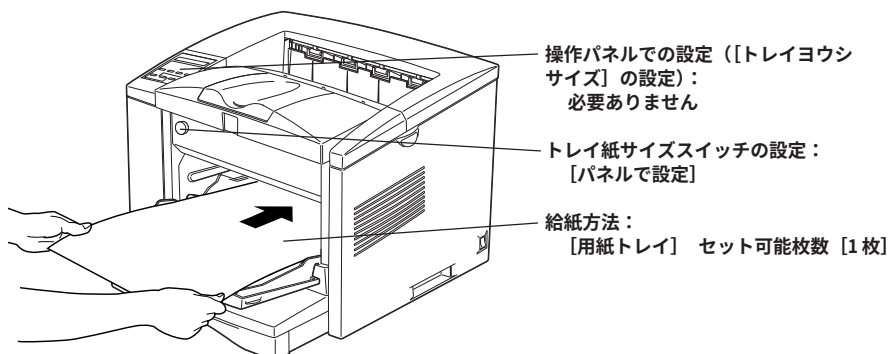
プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	[用紙トレイ] / [用紙カセット]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	[用紙トレイ] / [用紙カセット]



ポイント

- モノクロレーザープリンタ用またはコピー機用を使用してください。
- OHPシートに付属している説明書などで裏表を確認してください。裏表がある場合は、表面を上に向けてセットしてください。
- オプションの大容量給紙ユニットにはセットできません。

長尺紙への印刷



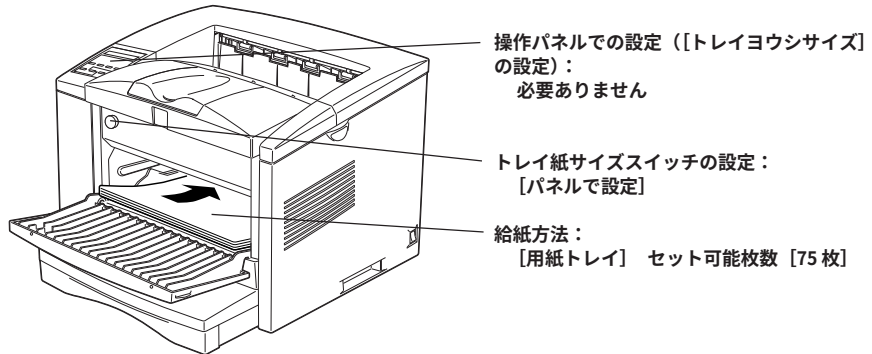
プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	ユーザー定義サイズで設定
		給紙装置	[用紙トレイ]
		解像度	[はやい]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	カスタム用紙で設定
	プリント	給紙装置	[用紙トレイ]
		解像度	[はやい]



ポイント

- 印刷する面を上に向けて、1枚ずつ手で支えて給紙してください。
- 紙が厚い (90g/m² ~ 135g/m²) 場合は、紙種を [厚紙] に設定してください。
- 印刷内容によっては、メモリの不足で印刷できないことがあります。この場合は、メモリを増設してください。
 本書「増設メモリ」164 ページ
- 印刷する文書は、縦向きに印刷する時は下余白を 15mm 以上、横向きに印刷する時は右余白を 15mm 以上あけて作成してください。
- アプリケーションソフトウェアで任意の用紙サイズを指定できない場合は、長尺紙への印刷はできません。
- 裁断角度が直角でない用紙は使用しないでください。斜めに給紙されるなど給紙不良の原因になります。

不定形紙への印刷



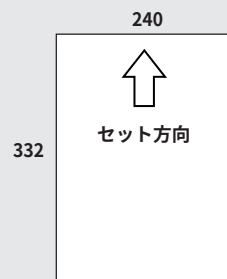
プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	ユーザー定義サイズで設定
		給紙装置	[用紙トレイ]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	カスタム用紙で設定
	プリント	給紙装置	[用紙トレイ]



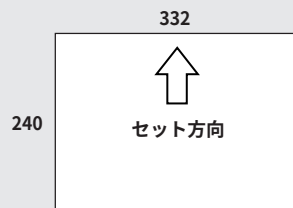
ポイント

- アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。
- 印刷する面を上に向けてセットしてください。
- 紙が厚い（90g/m²～135g/m²）場合は、紙種を[厚紙]に設定してください。
- 用紙のセット方向は、ユーザー定義サイズで設定した通りにプリンタにセットしてください。

<例>ユーザー定義サイズを「240×332mm」に設定した場合



<例>ユーザー定義サイズを「332×240mm」に設定した場合



第2章

Windowsからの印刷

Win

ここでは、Windows95/98/NT4.0からの印刷方法について説明します。

●印刷までの流れ	24
●印刷の手順	25
●プリンタドライバの設定	29
●印刷の基本設定	31
●レイアウトの設定	36
●フォームオーバーレイ印刷	41
●給紙装置の用紙設定 (WindowsNT3.51/NT4.0)	43
●プリンタの環境設定	44
●ユーティリティの起動	51
●EPSON プリンタウィンドウ!3	52
●印刷の中止方法	59
●プリンタを共有するには	61
●プリンタ接続先の設定	66
●プリンタソフトウェアの削除	72
●EPSON バーコードフォント	75



印刷までの流れ

Win

印刷データを作成します

1

アプリケーションソフトなどで印刷するデータを作成します。

プリンタの電源をオンにして用紙をセットします

2

☞ セットアップガイド「電源のオン」18 ページ

☞ 本書「用紙について」1 ページ

必要に応じて操作パネルの設定を行います

3

用紙トレイに「用紙トレイ紙サイズスイッチ」の設定値にないサイズの用紙をセットした場合や用紙タイプの選択機能を使用する場合は、必ず操作パネルでの設定が必要です。

☞ 本書「操作パネルでの設定方法」127 ページ

プリンタドライバで印刷条件を設定します

4

☞ 本書「プリンタドライバの設定」29 ページ

本書「印刷の基本設定」31 ページ

本書「レイアウトの設定」36 ページ

本書「フォームオーバーレイ印刷」41 ページ

本書「プリンタの環境設定」44 ページ

本書「ユーティリティの起動」51 ページ

操作パネルと重複する項目（用紙トレイサイズ以外）は、プリンタドライバの設定が優先されます。

印刷を実行します

5

☞ 本書「印刷の手順」25 ページ

本書「印刷の中止方法」59 ページ



印刷の手順

ここでは、Windows アプリケーションソフトでの印刷の設定方法と実行の手順について説明します。

Win

Windows95/98/NT4.0 での印刷手順

印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なります。詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

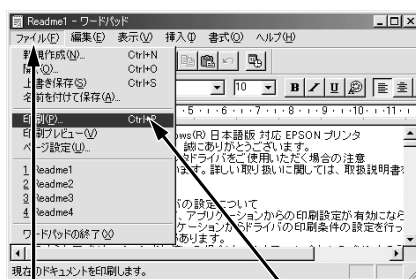
ここでは、Windows95/98/NT4.0に添付の「ワードパッド」を例に説明します。

<Windows95/98/NT4.0 「ワードパッド」の起動方法>

Windowsの **スタート** ボタンをクリックし、[プログラム] にカーソルを合わせ、さらに [アクセサリ] にカーソルを合わせ、[ワードパッド] をクリックします。

1 [ワードパッド] を起動し、印刷データを作成します。

2 [ファイル] メニューをクリックし、[印刷] をクリックします。



①クリックしてから

②クリックします

3 お使いのプリンタが選択されていることを確認し、**プロパティ** ボタンをクリックします。プリンタドライバを設定する必要がある場合は**OK**ボタンをクリックして印刷を実行します。



①確認して

②クリックします

設定の必要がなければ
クリックしてください

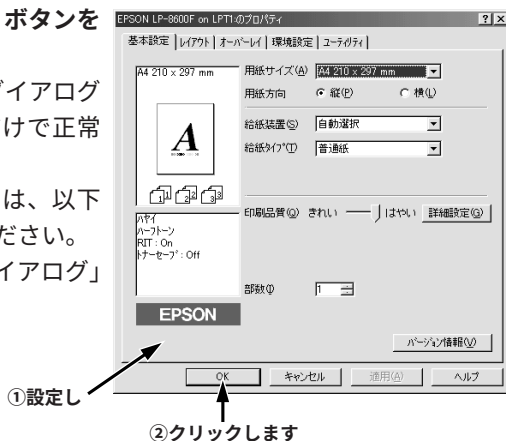
4 各項目を設定して **OK** ボタンをクリックします。

通常は、[基本設定] ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。

各項目の詳細については、以下のページを参照してください。

☞ 本書「[基本設定] ダイアログ」

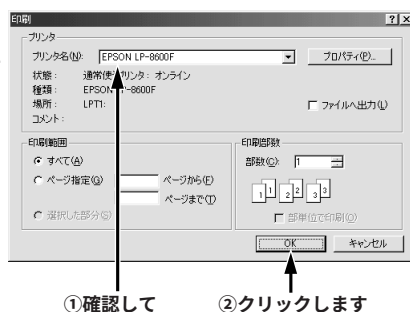
31 ページ



[用紙] はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせてください。

5 **OK** ボタンをクリックします。

印刷データがプリンタに送られ印刷が始まります。



Windows3.1/NT3.51 での印刷手順

Win

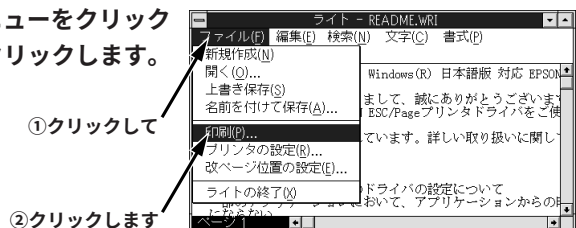
印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なります。
詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
ここでは Windows3.1/NT3.51 に添付の「ライト」を例に説明します。

<Windows3.1/NT3.51 「ライト」の起動方法>

プログラママネージャの [アクセサリ] グループの [ライト] アイコンをダブルクリックします。

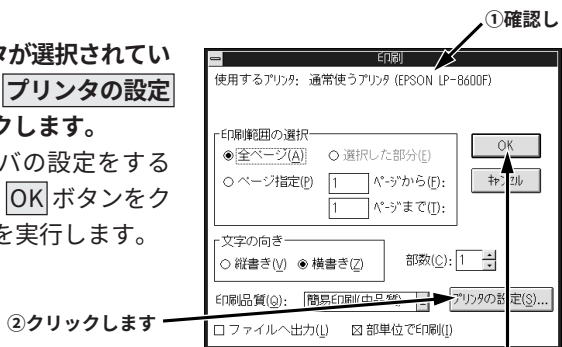
1 「ライト」を起動し、印刷データを作成します。

2 [ファイル] メニューをクリックし、[印刷] をクリックします。



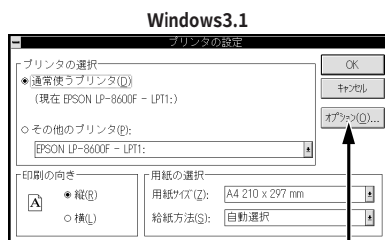
3 お使いのプリンタが選択されていることを確認し、**プリンタの設定** ボタンをクリックします。

プリンタドライバの設定をする必要がなければ、**OK** ボタンをクリックして印刷を実行します。

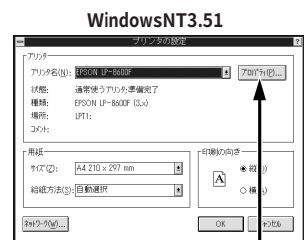


①確認し
設定の必要がなければ
クリックしてください

4 **オプション** (Windows3.1) / **プロパティ** (WindowsNT3.51) ボタンをクリックします。



クリックします



クリックします

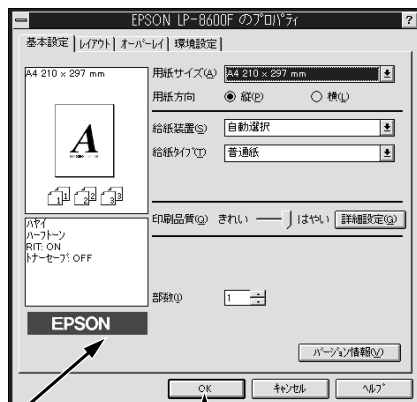
5 各項目を設定して **OK** ボタンをクリックします。

通常は [基本設定] ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。

各項目の詳細については、以下のページを参照してください。

本書「[基本設定] ダイアログ」

31 ページ



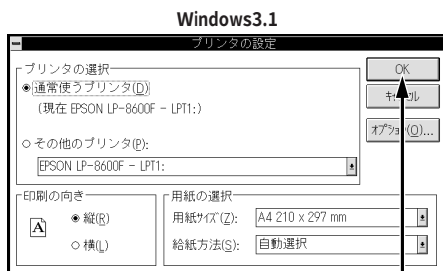
① 設定し

② クリックします

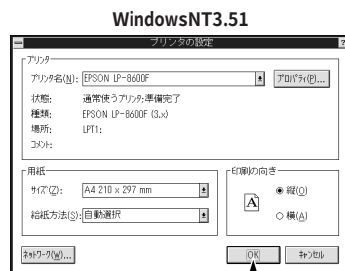


[用紙] はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせてください。

6 **OK** ボタンをクリックします。

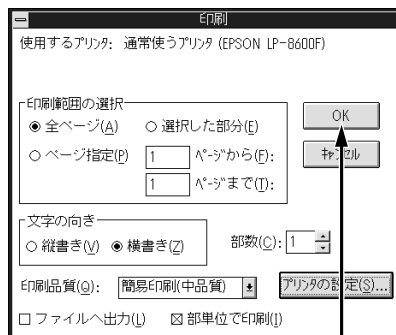


クリックします



クリックします

7 **OK** ボタンをクリックします。 印刷データがプリンタに送られ印刷が始まります。



クリックします



プリンタドライバの設定

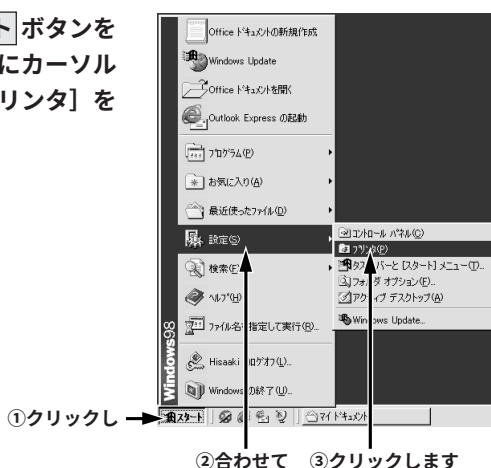
印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバの設定ダイアログを開いて変更します。設定ダイアログの開き方は、大きく分けて2通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

Win

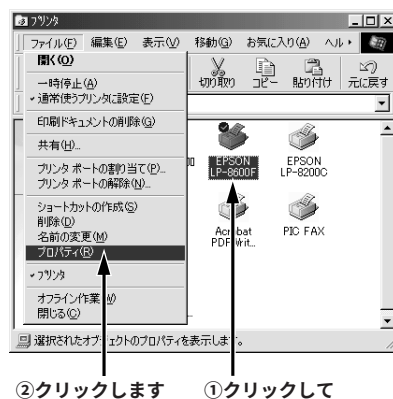
[プリンタ]から設定ダイアログを開く

- Windows95/98/NT4.0の [プリンタ] フォルダからプリンタドライバの設定ダイアログを開く方法は何通りかあります。ここでは、Windowsの [スタート] メニューから開く代表的な方法を説明します。

- 1 Windowsの **スタート** ボタンをクリックし、**[設定]** にカーソルを合わせてから、**[プリンタ]** をクリックします。



- 2 [プリンタ] フォルダ内のプリンタアイコンをクリックして、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。



- Windows3.1/NT3.51のメイングループのコントロールパネル内にある [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。Windows3.1の場合は [プリンタの設定] ダイアログから、WindowsNT3.51の場合は [プリンタの情報] ダイアログからプリンタドライバの設定ダイアログを開きます。詳しくは以下のページを参照してください。

☞ セットアップガイド「オプション装着時の設定」41 ページ

アプリケーションソフトから設定ダイアログを開く

アプリケーションソフトによって、プリンタドライバを開く方法は異なります。

- Windows95/98/NT4.0の標準的な方法は、[ファイル]メニューから[印刷]をクリックして[印刷]ダイアログを表示させ、**プロパティ** ボタンをクリックします。
- Windows3.1/NT3.51の標準的な方法は、[ファイル]メニューから[印刷]をクリックして[印刷]ダイアログを表示させ、**プリンタの設定** ボタンをクリックしてから[プリンタの設定]ダイアログで**オプション** ボタン (Windows3.1) / **プロパティ** ボタン (WindowsNT3.51) をクリックします。

以下のページの手順を参考にしてください。

📖 本書「印刷の手順」 25 ページ

プリンタドライバを設定する

本章は、お使いの機種 (LP-8600F/8400F/8300F) 特有の設定に関して以下の項目に分けて説明します。

📖 本書「印刷の基本設定」 31 ページ

本書「レイアウトの設定」 36 ページ

本書「フォームオーバーレイ印刷」 41 ページ

本書「プリンタの環境設定」 44 ページ

本書「ユーティリティの起動」 51 ページ



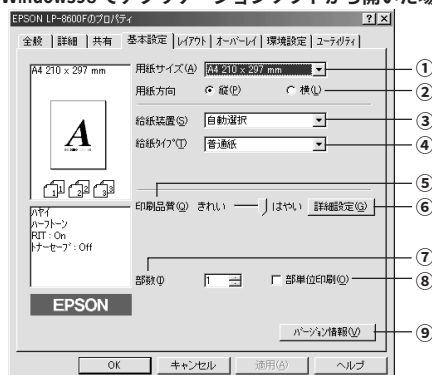
印刷の基本設定

[基本設定] ダイアログ

Win

プリンタドライバの[基本設定] ダイアログでは、印刷に関わる基本的な設定を行います。

<例> Windows98 でアプリケーションソフトから開いた場合



ポイント

WindowsNT4.0で[基本設定] ダイアログを開くには、[プリンタ] フォルダの[ファイル] メニューから[ドキュメントの既定値]を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタプロパティを開く必要があります。

① 用紙サイズ

作成する印刷データの用紙サイズを選択します。目的の用紙サイズが表示されていない場合は、スクロールバーの矢印▲▼をクリックして表示させてください。

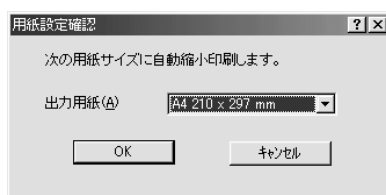


ポイント

作成した印刷データの用紙サイズと[用紙サイズ]は必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、まちがったサイズで印刷したり、印刷できない場合があります。

自動縮小印刷

：プリンタがサポートするサイズより大きいA3ノビ、A3W（ノビ）、A2を選択した場合、[用紙設定確認]ダイアログが開きます。このダイアログの[出力用紙]で選択した用紙サイズに合わせて、自動縮小して印刷します。



ユーザー定義サイズ：任意の用紙サイズを設定するには、[ユーザー定義サイズ] を選択します。開いた [用紙サイズ定義] ダイアログで、設定の単位を選択してから、用紙幅と用紙の長さを設定します。



設定した用紙サイズは、[用紙サイズ名] ボックスに名前を付け、**保存** ボタンをクリックすると保存できます。削除する場合は、リストからサイズ名をクリックして選択し、**削除** ボタンをクリックします。

② 用紙方向

印刷する用紙の方向を、[縦]・[横] のいずれかをクリックして選択します。

③ 給紙装置

給紙装置を選択します。

- 自動選択：印刷実行時に、[用紙サイズ] で選択したサイズおよび [給紙タイプ] で選択した用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置を探し、給紙します。
- 用紙トレイ：用紙トレイから給紙する場合は、[用紙トレイ] を選択します。



ポイント

- 用紙トレイは、セットされた用紙サイズを自動的に検知できないため、トレイ紙サイズスイッチにない用紙サイズは必ず操作パネルで用紙サイズを設定してください。
- 用紙トレイを選択する場合は、プリンタ本体のトレイ紙サイズスイッチの設定がセットした用紙サイズと一致していることを必ず確認してください。

用紙カセット 1：標準の用紙カセットから給紙する場合は、[用紙カセット 1] を選択します。

用紙カセット 2～3：オプションの増設カセットユニットにセットしている用紙カセットから給紙します。オプションの用紙カセットは、上から 2、3 の番号が割り当てられています。増設できる用紙カセットは、機種によって異なります。

LP-8600F：3 番まで増設可能

LP-8400F/8300F：2 番まで増設可能



ポイント

- 指定された用紙がセットされていない場合や正しく検知されていない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。
- [自動選択] を選択して拡大／縮小印刷を行うと、[レイアウト] ダイアログの [出力用紙] で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。

④ 給紙タイプ

〔給紙装置〕を〔自動選択〕に設定した場合は、給紙する用紙のタイプをリストから選択します。〔給紙タイプ〕を選択することにより、〔用紙サイズ〕と〔給紙タイプ〕で選択した用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。ただし、あらかじめ各給紙装置に用紙タイプの設定をする必要があります。

📖 本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」13 ページ

〔給紙装置〕を〔自動選択〕以外に設定した場合は、〔給紙タイプ〕は設定できません。



ポイント

操作パネルで用紙のタイプを設定していない場合は、〔指定しない〕を選択してください。

⑤ 印刷品質

印刷品質（解像度）は、〔はやい〕（300dpi）または〔きれい〕（600dpi）のどちらかに設定できます。印刷の解像度を1インチあたりのドット数（dpi）で表し、解像度を上げればきれいに印刷できます。



ポイント

- 〔きれい〕を選択すると印刷の表現力は向上しますが、印刷時間は長くなります。
- 印刷できなかつたり、メモリ関連のエラーが発生する場合は、〔はやい〕に変更してください。

⑥ 詳細設定 ボタン

グラフィックの印刷方法、RIT（輪郭補正機能）、トナーセーブを設定するには、〔詳細設定〕ボタンをクリックして、〔詳細設定〕ダイアログを開きます。詳しくは、以下のページを参照してください。

📖 「〔詳細設定〕ダイアログ」34 ページ

⑦ 部数

印刷する部数（1～999）を設定します。

⑧ 部単位で印刷

〔部単位で印刷〕をクリックしてチェックマークを付けると、2部以上印刷する場合に1ページ目から最終ページまでを1部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、⑦の〔部数〕で指定します。



ポイント

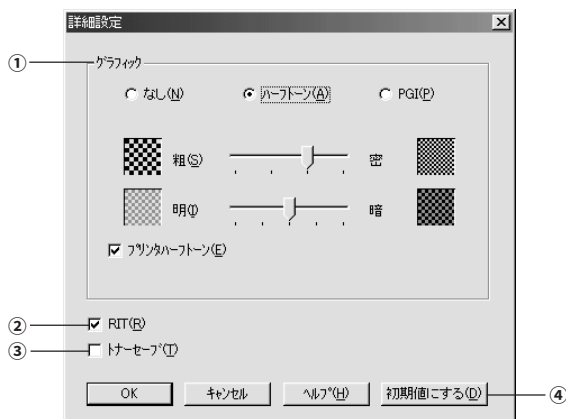
- プリンタのメモリを128MB以上に増設した場合に設定できます。
- アプリケーションソフト側で部単位印刷の設定ができる場合は、アプリケーションソフトでの設定をオフ（部単位印刷しない）にし、プリンタドライバ上の部単位印刷で設定してください。

⑨ バージョン情報 ボタン

ボタンをクリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を示すダイアログが開きます。

[詳細設定] ダイアログ

[基本設定] ダイアログで **[詳細設定]** ボタンをクリックすると、[詳細設定] ダイアログが開きます。以下の機能を設定できます。



① グラフィック

グラフィックの印刷方法を設定します。

なし : ビットイメージ以外のハーフトーン処理は行いません。グレースケールや中間色を表現できませんので、濃淡や色調のない画面になります。

ハーフトーン : グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。

PGI : PG^{*1} (Photo and Graphics Improvement) 処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を印刷するときは、PGI を有効にすると、よりきれいに印刷できます。

*1 PGI : 階調表現力を3倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷する EPSON 独自の機能。



- プリンタのメモリが少ないと、PGI で印刷できない場合があります。PGI 処理で印刷するには、メモリを増設するか、[印刷品質] を [はやく] (300dpi) に設定してください。
- アプリケーションソフトで独自のハーフトーン処理を行っている場合、PGI を有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は PGI 以外の設定にして印刷してください。

粗密 : ハーフトーンまたはPGI選択時の印刷粗密度を、スライドバーで調整できます。[密]側にスライドするとより細かく、[粗]側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。



ポイント

[密]にして印刷するとグラフィックの細かい微妙な部分まで再現できますが、印刷した用紙をさらにコピーすると、グラフィックの中間調がつぶれ真っ黒になります。コピーをする場合は、[密]にしないで印刷することをお薦めします。

明暗 : ハーフトーンまたはPGI選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。[明]側にスライドするとより明るく、[暗]側にスライドするとより暗くグラフィックが印刷されます。

プリンタハーフトーン : [ハーフトーン] を選択した場合にハーフトーン処理をプリンタ側で行うには、クリックしてチェックマークを付けます。



ポイント

WindowsNT3.51/NT4.0の場合、[プリンタハーフトーン]のチェックマークを外すと **ハーフトーン設定** ボタンをクリックしてハーフトーンの詳細な設定ができます。[ハーフトーンカラーの調整] ダイアログの各項目については、ヘルプを参照してください。

*1 RIT :
斜線や曲線などの
ギザギザをなめら
かに印刷する
EPSON 独自の輪
郭補正機能です。

② RIT

クリックしてチェックマークを付けると、RIT^{*1} (Resolution Improvement Technology) 機能が有効になります。大きな文字を印刷するときは、RITを有効にすると、よりきれいに印刷できます。



ポイント

RIT機能を有効にしてグラデーション(無段階に階調が変化する画像)を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。

③ トナーセーブ

クリックしてチェックマークを付けると、トナーセーブ機能が有効になります。文字の輪郭はそのままに黒ベタ部分の濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

④ 初期値にする ボタン

[詳細設定] ダイアログの設定を初期値に戻すには、**初期値にする** ボタンをクリックします。



レイアウトの設定

Win

[レイアウト]ダイアログ

プリンタドライバの [レイアウト] ダイアログでは、印刷するページのレイアウトに関わる設定を行います。

<例> Windows98 でアプリケーションソフトから開いた場合



ポイント

WindowsNT4.0で [レイアウト] ダイアログを開くには、[プリンタ] フォルダの [ファイル] メニューから [ドキュメントの既定値] を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタプロパティを開く必要があります。

① 拡大/縮小

拡大または縮小して印刷することができます。チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、拡大/縮小機能が有効になり、以下の項目が設定できます。

- | | |
|------|---|
| 出力用紙 | : プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大/縮小（フィットページ）印刷するには、その用紙サイズをリストから選択します。縮小拡大率をその下の [倍率] ボックスに表示します。 |
| 倍率 | : チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、50%～200%までの任意の倍率を1%単位で設定できます。この場合は、フィットページ印刷は行われません。 |
| 配置 | : フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するか、[左上合わせ] または [中央合わせ] のどちらかを選択します。 |

② 割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータ 1 枚の用紙に自動的に縮小し、割り付けて印刷します。

割り付けるページ数と順序を設定するには、**割り付け設定** ボタンをクリックします。



割り付けページ数 : 1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

割り付け順序 : 割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。ページ数、用紙の向き（縦・横）によって、選択できる割り付け順序の種類が異なります。

枠を印刷 : 割り付けたページの周りに枠線を印刷するには、クリックしてチェックマークを付けます。

③ スタンプマーク

印刷データに **秘** などのイメージを重ね合わせて印刷するには、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。

印刷するスタンプマークを設定するには、**スタンプマーク設定** ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。

📖 本書「スタンプマークを印刷するには」38 ページ

④ 逆方向から印刷

印刷データを 180 度回転して印刷する場合にクリックします。

スタンプマークを印刷するには

[レイアウト] ダイアログで **スタンプマーク設定** ボタンをクリックすると、**[スタンプマーク]** ダイアログが開きます。



① プレビュー部

選択しているスタンプマークのイメージが表示されます。

② スタンプ名

印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。

③ 1ページ目のみ印刷

クリックしてチェックマークを付けると、用紙の1ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

④ ビットマップ設定

追加 / 削除 ボタンをクリックし、[ユーザー設定] ダイアログでスタンプマークの名前を登録すると、スタンプマークのファイルを選択できるようになります。スタンプマークは一般のアプリケーションソフトウェアであらかじめ作成して、BMP^{*1} 形式で保存しておきます（最大保存数は20）。

*1 BMP：
画像データを保存
する際のファイル
形式の1つ。

ファイル : **設定** ボタンをクリックして BMP ファイルを指定すると、ファイル名とディレクトリ名が表示されます。

設定 : BMP ファイルを新しいスタンプマークとして登録する場合にクリックします。

⑤ 濃度設定

スタンプマークの印刷濃度を調整します。[濃度] スライドバーを [薄い] 側に移動するとより薄く、[濃い] 側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

⑥ サイズ設定

印刷するスタンプマークのサイズを調整します。スライドバーを「-」側に移動するとより小さく、「+」側に移動するとより大きくスタンプマークが印刷されます。

⑦ 位置

スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します。

⑧ オフセット

「位置」で選択した印刷位置からのオフセット量を調節します。

横 : 横方向のオフセット量を調節します。スライドバーを「左」側に移動するとより左に、「右」側に移動するとより右にスタンプマークが印刷されます。

縦 : 縦方向のオフセット量を調節します。スライドバーを「上」側に移動するとより上に、「下」側に移動するとより下にスタンプマークが印刷されます。



「サイズ設定」、「位置」、「オフセット」を設定する場合、スタンプマークが印刷可能領域を越えないように注意してください。

⑨ 追加/削除 ボタン

オリジナルのスタンプマークを登録したり削除するには、「追加/削除」ボタンをクリックして「ユーザー設定」ダイアログを開きます。登録/削除の手順については、以下の項目を参照してください。

オリジナルスタンプマークを登録/削除するには

1 アプリケーションソフトでスタンプマークを作成し、BMP形式で保存します。

2 「スタンプマーク」ダイアログを開いて、「追加/削除」ボタンをクリックします。



クリックします

- 3** [設定名] に任意の名称を入力して **保存** ボタンをクリックします。登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を [設定リスト] から選んで **削除** ボタンをクリックします。



②クリックします

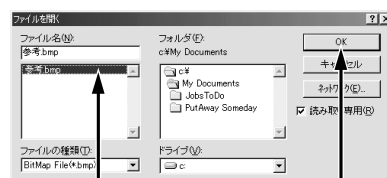
①入力して

- 4** **3** で登録したスタンプ名を選択して **設定** ボタンをクリックします。



①選択して ②クリックします

- 5** **1** で保存したファイルを選択し、**OK** ボタンをクリックします。これで [スタンプ名] のリストにオリジナルスタンプマークが登録されました。



①選択して

②クリックします

- 6** [スタンプマーク] ダイアログで **OK** ボタンをクリックします。画面左側のプレビュー部に登録したスタンプマークのイメージが表示されていることを確認してください。



フォームオーバーレイ印刷

フォームオーバーレイ印刷とは、一定のフォーム（書式）データとアプリケーションソフトで作成したデータを重ね合わせて印刷する機能です。

Win

本ドライバにはフォームデータは添付されていません。フォームデータの作成、編集などを行うには、オプションのフォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!3 以上）が必要です。詳細については、オプションの取扱説明書を参照してください。

[オーバーレイ]ダイアログ

<例> Windows98 でアプリケーションソフトから開いた場合



WindowsNT4.0で[オーバーレイ]プロパティを開くには、[プリンタ]フォルダの[ファイル]メニューから[ドキュメントの既定値]を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタプロパティを開く必要があります。

① フォームオーバーレイ

クリックしてチェックマークを付けると、[フォーム]のリストボックスで指定したフォームデータを重ね合わせて印刷します。

② フォーム

フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!3 以上）であらかじめ作成して登録しておいたフォーム名を、リストから選択します。選択したフォームデータを重ね合わせて印刷します。フォームを登録していない場合は、フォーム名は表示しません。

③ 詳細 ボタン

上記の [フォーム] リストでフォーム名を選択して **詳細** ボタンをクリックすると、[フォーム詳細] ダイアログが開きます。印刷するフォームをこのダイアログで選択できます。

上記の [フォーム] リストで [フォーム名称なし] を選択して **詳細** ボタンをクリックした場合は、[フォーム指定] ダイアログが開きます。フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!3 以上）で作成したフォームファイルやオプションのROMモジュールに登録したフォームを指定できます。



コンピュータのハードディスクに保存しているファイルを指定する場合は、[ファイル指定] をクリックして、ファイル名（保存場所のパスを含む）を入力します。（**参照** ボタンをクリックしてファイルを探し、直接指定することもできます。）

プリンタに装着したオプションのROMモジュールにフォームを登録している場合は、[ROM モジュール指定] を選択できます。[ROM モジュール指定] をクリックしてから、使用するフォームの登録番号をリストから選択してください。ROMモジュールの情報を登録している場合は、**情報印刷** ボタンをクリックして、ROMモジュールに登録しているフォームの情報を印刷して確かめることができます。



ポイント

オプションのフォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!3 以上）をインストールすると、オーバーレイデータが作成できるように標準の [オーバーレイ] ダイアログの機能が拡張されます。詳細については、オプションの取扱説明書を参照してください。

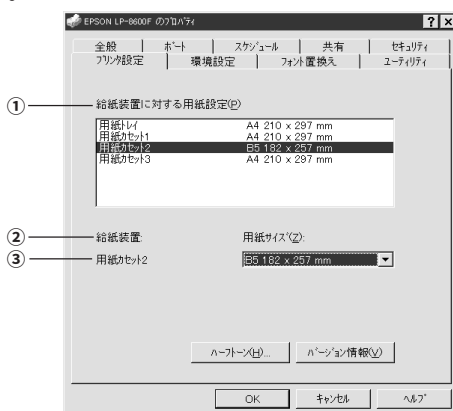


給紙装置の用紙設定(WindowsNT3.51/NT4.0)

[プリンタ設定] ダイアログ

Win

WindowsNT3.51の場合、プリントマネージャから[プリンタ情報]ダイアログを開いて[設定]ボタンをクリックすると、[プリンタ設定]ダイアログが開きます。WindowsNT4.0の場合は、[プリンタ]フォルダからプリンタプロパティを開くと[プリンタ設定]プロパティがあります。標準の給紙装置だけでなく、オプションとして取り付けられた給紙装置の用紙サイズを設定してください。



- Windows95/98 では設定しません。
- アプリケーションソフトからプリンタプロパティを開いた場合は、設定できません。
- [ハーフトーン] ボタンについては、WindowsNTのヘルプをお読みください。

①給紙装置に対する用紙設定

プリンタに装着している給紙装置とその用紙サイズを表示します。[用紙カセット1]と[用紙トレイ]は標準の給紙装置です。

そのほかの[用紙カセット2～3]は、オプションの増設カセットユニットを取り付けた場合にのみ表示されます。オプションの用紙カセットは、上から2、3の番号が割り当てられています。

LP-8600F : 3 番まで増設可能

LP-8400F/8300F : 2 番まで増設可能

②給紙装置

[給紙装置に対する用紙設定]リストでクリックして選択した給紙装置の名前が表示されます。

③用紙サイズ

[給紙装置に対する用紙設定]リストでクリックして選択した給紙装置に対して、リストから用紙サイズを選択して設定します。



プリンタの環境設定

Win

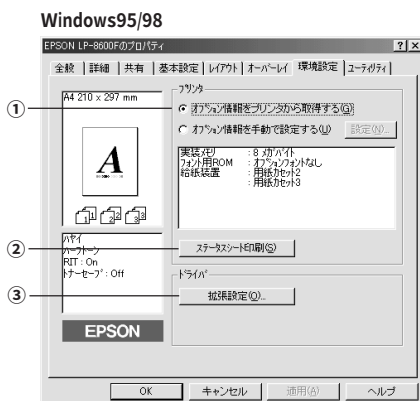
[環境設定] ダイアログ



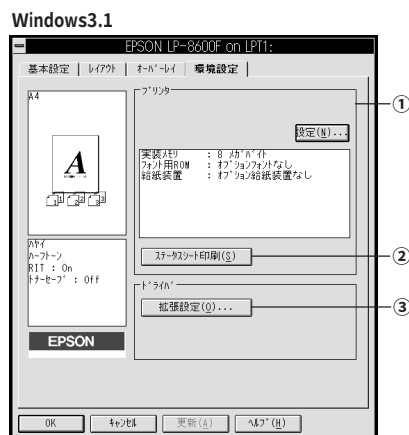
ポイント

いくつかの設定項目は、[マイコンピュータ] の [プリンタ] フォルダ / アイコンからプリンタドライバの [環境設定] ダイアログを開かないと設定できません。[プリンタ] フォルダ / アイコンから開く場合は、以下の手順に従ってください。

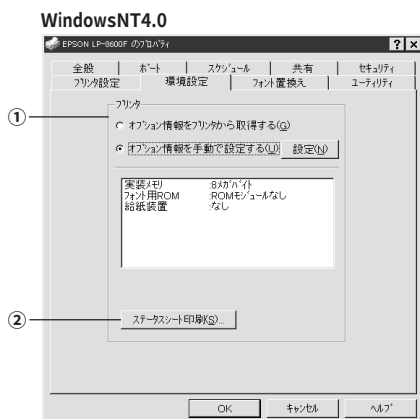
☞「[プリンタ] から設定ダイアログを開く」29 ページ



[プリンタ] フォルダから開いた場合



コントロールパネル内の [プリンタ] アイコンから開く



[プリンタ] フォルダの [ファイル] メニューから [プロパティ] を選択して開いた場合



[プリンタ] フォルダの [ファイル] メニューから [ドキュメントの既定値] を選択して開くか、アプリケーションソフトから開いた場合



ポイント

Windows NT3.51 の場合は、Windows NT4.0 とほぼ同じような設定ダイアログが開きます。ただし、自動でオプション情報をプリンタから取得できませんので、**設定** ボタンをクリックして手動でオプション情報を設定してください。

① プリンタオプション情報

[プリンタ] フォルダからプリンタドライバのプロパティを開くと、プリンタに装着しているオプションの最新情報を表示します。本機では、実装しているメモリ容量とオプション（給紙装置、フォントROMモジュール、フォームROMモジュール）の有無を表示します。

オプション情報は、次のいずれかの方法で取得します。

オプション情報をプリンタから取得する : EPSON プリンタウィンドウ3 をインストールしていれば、プリンタドライバが自動的にオプションの状態を確認します。

オプション情報を手動で取得する : **設定** ボタンをクリックして、[実装オプション設定] ダイアログを開き、取り付けているメモリの容量やオプションを手動で設定します。詳しくは、以下のページを参照してください。
 ☞ 本書「[実装オプション設定] ダイアログ」
 46 ページ



ポイント

アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いた場合は、最新のオプション情報に更新しません。また、**設定** ボタンをクリックすると、現在のオプション情報を表示するだけです。

② ステータスシート印刷 ボタン

プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートを印刷します。

③ 拡張設定 ボタン

印刷モード、TrueType フォントの置き換え、印刷位置を調整するオフセット値、紙種、白紙節約機能、用紙サイズのチェックの設定を行うには、**拡張設定** ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ 本書「[拡張設定] ダイアログ」 47 ページ

[実装オプション設定] ダイアログ

[プリンタ] フォルダから [環境設定] ダイアログを開き、[オプション情報を手動で取得する] をクリックして **設定** ボタンをクリックすると、[実装オプション設定] ダイアログが開きます。



① 実装メモリ

標準メモリと増設したメモリの容量の合計を、リストから選択します。単位はメガバイトです。

② オプション給紙装置

オプション給紙装置を装着していない場合は、[オプション給紙装置なし] をクリックして選択します。

オプション給紙装置を装着している場合は、装着した給紙装置名をクリックして選択します。複数選択できます。選択を解除するには、再クリックします。

③ オプションROMモジュール

オプションROMモジュールを装着していない場合は、[ROMモジュールなし] をクリックして選択します。

オプションROMモジュールを装着している場合は、装着したROMモジュール名をクリックして選択します。2つまで選択できます (LP-8300F は1つのみ)。選択を解除するには、再クリックします。

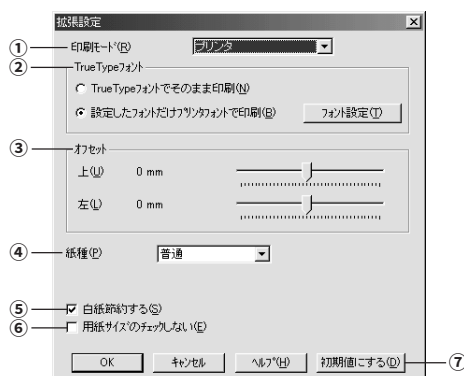


ポイント

OK ボタンを押すことにより、設定内容が有効になります。

[拡張設定] ダイアログ

[環境設定] ダイアログで **拡張設定** ボタンをクリックすると、[拡張設定] ダイアログが開きます。



① 印刷モード

印刷モードを選択します。OS によって、選択肢が異なります。

	Windows95/98	Windows3.1/NT3.51/NT4.0
ホスト ^{*1}	印刷処理をコンピュータ側で行う場合に選択します。	—
プリンタ	印刷処理をプリンタ側で行う場合に選択します。	—
標準	—	通常は[標準]のまま印刷します。
CRT 優先 ^{*2}	すべてのデータをイメージとして印刷します。グラフィックと文字を重ね合わせて正常に印刷できない場合に、選択してください。	

*1 : [ホスト] を選択している場合、フォームオーバーレイ印刷はできません。

*2 : [CRT 優先] を選択している場合、以下の制限があります。

- [基本設定] ダイアログの [詳細設定] で、[グラフィック] の設定を変更できません。
- 同じ [拡張設定] ダイアログで [TrueType フォント] の設定を変更できません。プリンタフォントを指定している場合は、TrueType フォントに置き換えられます。
- [印刷モード] を [標準] に設定した印刷結果と比べて、階調部分や明暗の印刷結果が異なります。

② TrueTypeフォント

TrueTypeフォントをそのまま印刷するか、プリンタのフォントに置き換えて印刷するかを選択します。

TrueType フォント : TrueType フォントをそのまま印刷します。
でそのまま印刷

設定したフォントだけ : TrueType フォントを、[フォントの置換設定] ダイアログで指定したプリンタフォントに置き換えることにより高速に印刷できます。[フォントの置換設定] ダイアログを開くには、**「フォント設定」** ボタンをクリックします。詳しくは以下のページを参照してください。
本書「TrueType フォントをプリンタフォントに置き換える」 50 ページ



ポイント

- Windows3.1/95/98の場合、[プリンタ] フォルダからプリンタドライバのダイアログを開いてください。アプリケーションソフトから開いても、フォント置き換えの設定を変更できません。
- WindowsNT3.51/NT4.0の場合、[プリンタ] フォルダからプリンタドライバのダイアログを開き、[フォント置換] タブでフォントの置き換えを指定します。[拡張設定] ダイアログの**「フォント設定」** ボタンをクリックしても、置き換えフォントのリストを表示するだけで、実際に置き換えるフォントを指定できません。

③ オフセット

印刷開始位置のオフセット値を[上]（垂直位置）と[左]（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置） : -9mm（上方向）～10mm（下方向）

左（水平位置） : -9mm（左方向）～10mm（右方向）

④ 紙種

用紙の種類を設定します。通常は[普通] を選択してください。

普通 : 普通紙、再生紙などを使用する場合に選択します。

厚紙 : 厚紙や OHP シートなど、紙厚が 90～135g/m² の用紙を使用する場合に選択します。



ポイント

使用する用紙に合わせて**「紙種」**を正しく設定しないと、印刷品質が劣化することがあります。

⑤ 白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。クリックしてチェックマークを付けると、白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

⑥ 用紙サイズのチェックをしない

クリックしてチェックマークを付けると、選択した給紙装置にセットされている用紙サイズと異なるサイズの用紙に印刷しても、用紙サイズエラーにはなりません。

⑦ 初期値にする ボタン

[拡張設定] ダイアログの設定を初期値に戻すには、**初期値にする** ボタンをクリックします。

TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換える

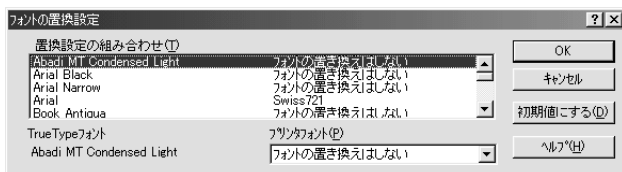
Windows3.1/95/98とWindowsNT3.51/4.0では、フォント置き換えを設定するダイアログが違います。お使いのOSに合わせて、以下の手順に従ってください。

1 [プリンタ] フォルダ/アイコンからプリンタドライバの設定ダイアログを開きます。

2 フォントを置き換えるためのダイアログを開きます。

Windows3.1/95/98 の場合

- ① [環境設定] タブをクリックして開き、**拡張設定** ボタンをクリックします。
- ② [指定したフォントだけプリンタフォントで印刷] をクリックし、**フォント設定** ボタンをクリックします。



WindowsNT3.51/4.0 の場合

[フォント置換え] タブをクリックします。



3 [置換設定の組み合わせ] リストの中から、TrueTypeフォントをクリックして選択します。

4 [プリンタフォント] リストから、置き換えるプリンタフォントをクリックして選択します。

5 3 と 4 を繰り返して置き換えるフォントをすべて設定したら、**OK** ボタンをクリックして作業を終了します。

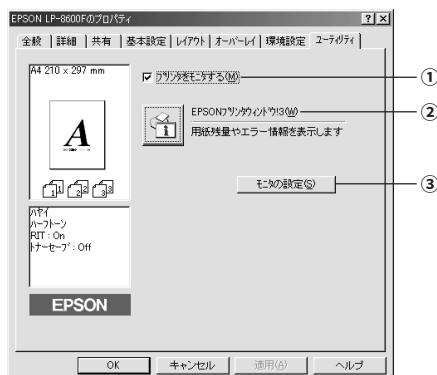


ユーティリティの起動

[ユーティリティ]ダイアログ

Win

プリンタドライバの[ユーティリティ]ダイアログでは、ユーティリティソフトのEPSON プリンタウィンドウ!3 に関わる設定を行います。



① プリンタをモニタする

クリックしてチェックマークを付けると、印刷時にプリンタのモニタを行い、プリンタのエラー状態のときにポップアップウィンドウを表示します。



WindowsNT4.0で、[プリンタ] フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いた場合は表示されません。[プリンタ] フォルダの[ファイル] メニューから[ドキュメントの既定値]を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いてください。

② EPSONプリンタウィンドウ!3

左側のアイコンボタンをクリックすると、プリンタの状態やインク残量がモニタできるEPSONプリンタウィンドウ!3が起動します。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞本書「EPSON プリンタウィンドウ!3」52 ページ

③ モニタの設定

EPSONプリンタウィンドウ!3の[モニタ設定]ダイアログを開いてモニタの設定をします。

☞本書「モニタの設定」56 ページ

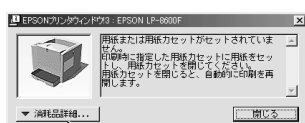


EPSONプリンタウィンドウ!3

Win

EPSONプリンタウィンドウ!3とは

EPSON プリンタウィンドウ!3 は、プリンタの状態をコンピュータ上で確認できる Windows95/98/NT4.0用のユーティリティです。プリンタの詳しい状態を知るには、[プリンタ詳細] ウィンドウを開きます。印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始め、問題があればポップアップウィンドウが開き、エラーメッセージを表示して対処方法を知ることができます。また、プリンタのプロパティや Windows のタスクバーから呼び出して、プリンタの状態を確認することもできます。



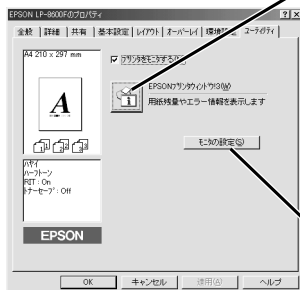
ポップアップウィンドウ

印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。紙詰まりなどの問題が起こった場合に、**対処方法** ボタンをクリックすると、対処方法が表示されます。

プリンタのプロパティから
EPSON プリンタウィンドウ!3
を呼び出すことができます。



[プリンタ詳細] ウィンドウ
プリンタの状態やトナー、
用紙などの消耗品の残量を
コンピュータのモニタ上で
知ることができます。

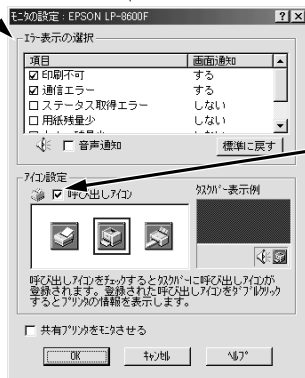


プリンタのプロパティからモニタの
設定画面を開くことができます。



呼び出し
アイコン

タスクバーの呼び出しアイ
コンからモニタの設定画面
を開くことができます。



ここをチェックする
と、タスクバーの呼
び出しアイコンから
EPSON プリンタ
ウィンドウ!3 を呼び
出すことができます。

[モニタの設定] ダイアログ
どのような状態をエラーとして表示する
かなど、EPSON プリンタウィンドウ!3 を
設定することができます。

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を確かめるために、3通りの方法で「プリンタ詳細」ウィンドウを開くことができます。この「プリンタ詳細」ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。

☞「[プリンタ詳細] ウィンドウ」54 ページ

【方法 1】

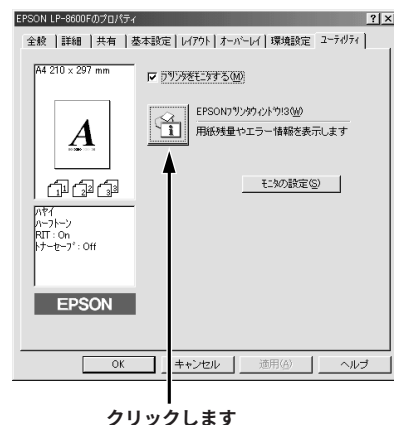
モニタの設定で呼び出しアイコンを設定した場合、Windows のタスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンでアイコンをクリックしてからプリンタ名をクリックします。

☞本書「モニタの設定」56 ページ



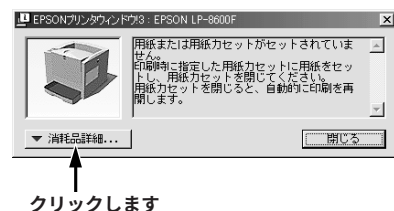
【方法 2】

プリンタのプロパティを開き、[ユーティリティ] の [EPSON プリンタウィンドウ!3] アイコンをクリックします。



【方法 3】

アプリケーションソフトから印刷を実行します。エラーが発生してプリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れたときに、**消耗品詳細** ボタンをクリックすると「プリンタ詳細」ウィンドウに切り替わります。



[プリンタ詳細] ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ!3 の [プリンタ詳細] ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。



① プリンタ

プリンタの状態をグラフィックで表示します。

② メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

☞ 本書「対処が必要な場合は」55 ページ

③ 閉じる

ウィンドウを閉じるときに **閉じる** ボタンをクリックします。

④ 用紙残量

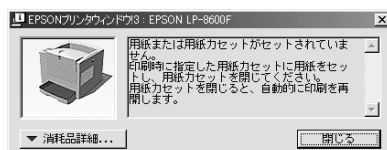
給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。オプションの給紙装置が装着されている場合は、その給紙装置（カセット）についての情報也表示します。

⑤ トナー残量

ETカートリッジのトナーがどれくらい残っているかの目安を表示します。

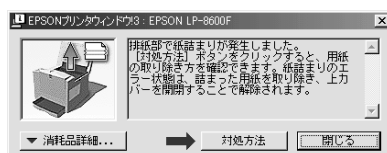
対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSONプリンタウィンドウ!3のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。



ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

- **消耗品詳細** ボタンをクリックすると「[プリンタ詳細] ウィンドウ」に切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。
[本書「\[プリンタ詳細\] ウィンドウ」54 ページ](#)
- **閉じる** ボタンをクリックできる場合は、ポップアップウィンドウを閉じることができます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。
- **対処方法** ボタンがある場合は、クリックすると順を追って対処方法を詳しく説明します。



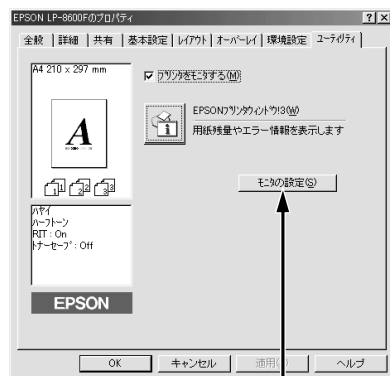
モニタの設定

EPSONプリンタウィンドウ!3のモニタ機能を設定します。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタするかなどを設定します。

[モニタの設定] ダイアログを開く方法は、2通りあります。

[方法1]

プリンタのプロパティを開き、**[ユーティリティ]** の **モニタの設定** ボタンをクリックします。



クリックします

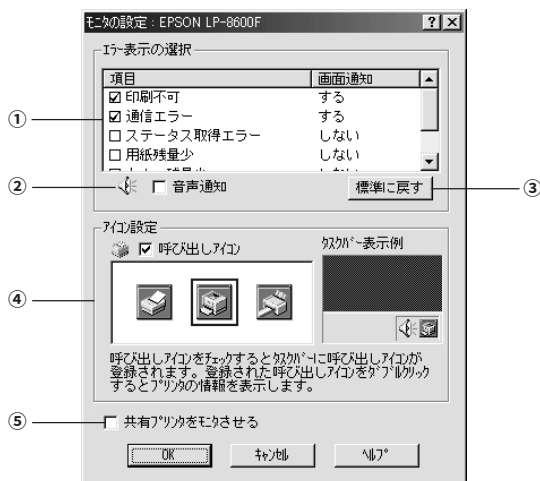
[方法2]

上記 [方法1] のモニタ設定時に呼び出しアイコンを設定した場合は、Windows のタスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ!3 の呼び出しアイコンを、マウスの右ボタンでクリックして、メニューから **[モニタの設定]** をクリックします。



クリックします

[モニタの設定] ダイアログ



① エラー表示の選択

プリンタがエラー状態に陥った場合、ポップアップウィンドウを表示して対処方法を説明します。どのようなエラー状態のときに画面通知するかを選択します。画面通知が必要な項目は、クリックしてチェックマークを付けます。

② 音声通知

チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、エラー発生時に音声でも通知します。



ポイント

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③ 標準に戻す

「エラー表示の選択」を標準（初期）設定に戻すには、「標準に戻す」ボタンをクリックします。

④ アイコン設定

「呼び出しアイコン」をクリックしてチェックマークを付けると、EPSONプリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせてクリックして選択できます。

タスクバーに設定したアイコンをマウスの右ボタンでクリックすると、メニューが表示されて「モニタの設定」ダイアログを開くことができます。

⑤ 共有プリンタをモニタさせる

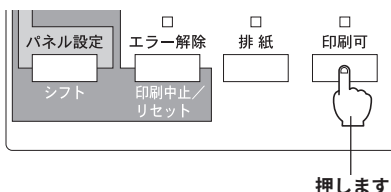
クリックしてチェックマークを付けると、ほかのコンピュータから共有プリンタをモニタさせることができます。

📖 本書「プリンタを共有するには」 61 ページ



印刷の中止方法

- 1 プリンタの「印刷可」スイッチを押します。
印刷可ランプが消灯し、印刷不可状態になります。

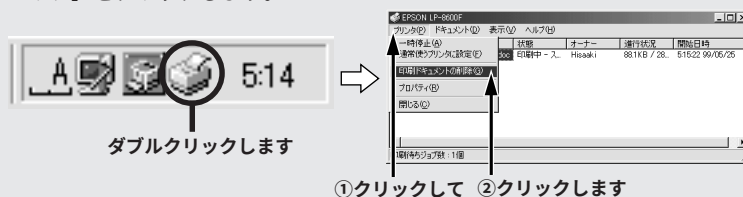


Win
95/98/NT4.0

コンピュータ上の印刷処理が続いているときは、以下の方法で削除します。

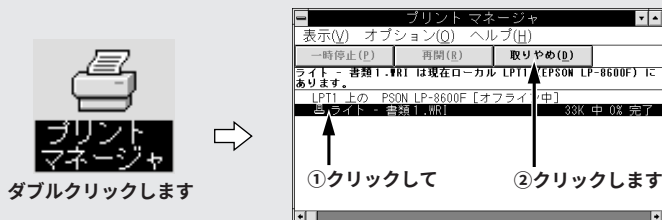
● Windows95/98/NT4.0 の場合

- ① 画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。
- ② [プリンタ] メニューの [印刷ドキュメントの削除] または [印刷ジョブのクリア] をクリックします。



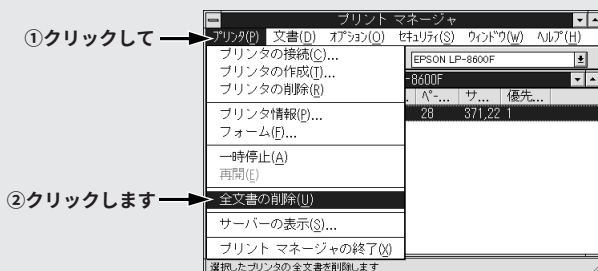
● Windows3.1 の場合

- ① プリントマネージャアイコンをダブルクリックします。
- ② 削除する印刷データをクリックして [取りやめ] をクリックします。



● WindowsNT3.51 の場合

- ① メイングループのプリントマネージャアイコンをダブルクリックします。
- ② お使いのプリンタの機種名 (LP-8600F/8400F/8300F) のアイコンをダブルクリックします。
- ③ [プリンタ] メニューの [全文書の削除] をクリックします。

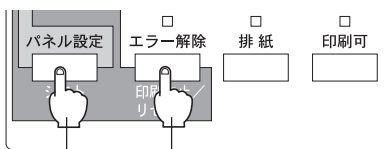


2

シフト スイッチと **エラー解除** スイッチを同時に押します。

受信データが消去されます。

リセット後データランプが点滅または点灯する場合は、印刷データがプリンタに残っています。他ユーザーの出力物でないことを確認して再度リセットしてください。



シフト (**パネル設定**) スイッチを押したまま **エラー解除** スイッチを押します



ポイント

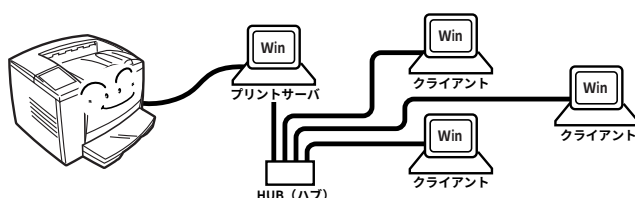
- 他のユーザーの印刷データまでリセットしてしまわないよう、[プリントマネージャ] でプリンタに印刷データを送っているユーザーを確認されることをお勧めします。
- 上記スイッチを5秒以上押すと電源投入時の状態まで初期化（リセットオール）されますのでご注意ください。



プリンタを共有するには

Windowsの標準ネットワーク環境でプリンタを共有する方法を説明します。

Windows95/98/NT4.0のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタを、ほかのコンピュータから共有することができます。特別なネットワークインターフェイスカードやプリントサーバ機器を使用しないで、Windowsの標準ネットワーク機能を利用します。この接続方法をピアトゥピア接続と呼びます。



プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。



ポイント

- 以下の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあること、プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。
- 画面は Microsoft ネットワークの場合です。

ここでは、プリンタを共有させるためのプリントサーバの設定方法を説明します。お使いの Windows に応じた設定手順に従ってください。

📖 本書「Windows95/98 の場合」 62 ページ

本書「WindowsNT4.0 の場合」 65 ページ

クライアントの設定方法については、以下のページを参照してください。

📖 セットアップガイド「Windowsのセットアップ (Windows3.1を除く)」
51 ページ

Windows95/98の場合

Windows95/98でプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

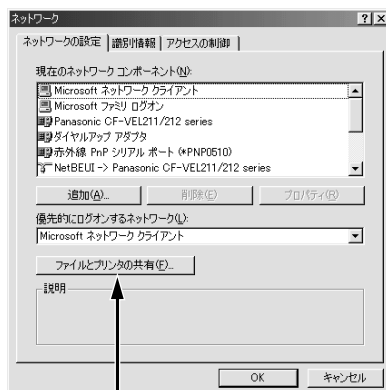
1 Windowsの **スタート** ボタンをクリックして、カーソルを **〔設定〕** に合わせ、**〔コントロールパネル〕** をクリックします。

2 **〔ネットワーク〕** アイコンをダブルクリックします。



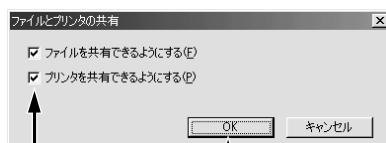
ダブルクリックします

3 **ファイルとプリンタの共有** ボタンをクリックします。



クリックします

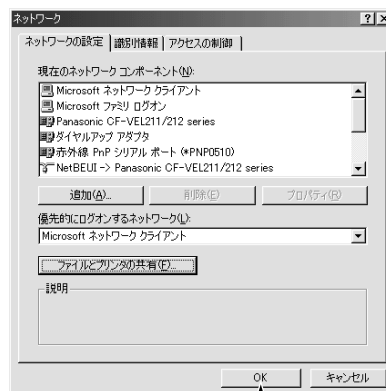
4 **〔プリンタを共有できるようにする〕** のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、**OK** ボタンをクリックします。



① クリックして

② クリックします

5 **OK** ボタンをクリックします。



クリックします



- [ディスクの挿入] メッセージが表示された場合は、Windows95/98のCD-ROMをコンピュータにセットし、**OK** ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、**1** でコントロールパネルを開いて **6** から設定してください。

6 コントロールパネル内の [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします

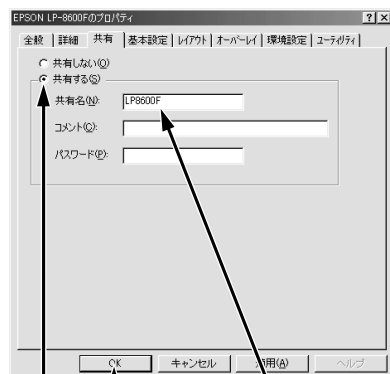
7 お使いのプリンタのアイコン (LP-8600F/8400F/8300F) を選択して、[ファイル] メニューの [共有] をクリックします。



① 選択して
② クリックし ③ クリックします

8

「共有する」を選択して、「共有名」を入力し、**OK** ボタンをクリックします。
必要に応じて、「コメント」と「パスワード」を入力します。



①選択して ③クリックします ②入力して



ポイント

エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）やー（ハイフン）を使用しないでください。

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。各クライアント側でも設定が必要ですので、以下のページを参照してください。

📖 セットアップガイド「Windowsのセットアップ（Windows 3.1を除く）」

51 ページ

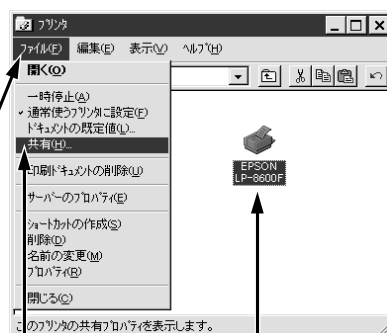
WindowsNT4.0 の場合

Win

WindowsNT4.0 のプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[設定]にカーソルを合わせ、[プリンタ]をクリックします。

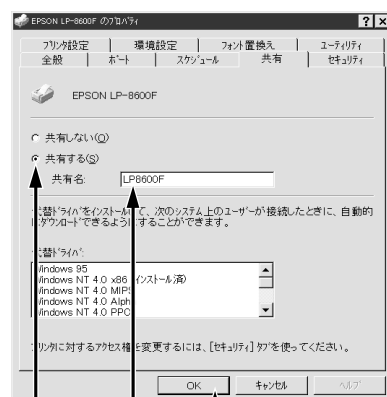
2 お使いのプリンタのアイコン(LP-8600F/8400F/8300F)を選択して、[ファイル]メニューの[共有]をクリックします。



③ クリックします

① 選択して

3 [共有する]を選択して、[共有名]を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



① 選択して ② 入力して ③ クリックします



ポイント

- エラーが発生する場合がありますので共有名には[] (スペース) やー (ハイフン) を使用しないでください。
- [代替ドライバ] は選択しないでください。

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。各クライアント側でも設定が必要です。以下のページを参照してください。

☞ セットアップガイド「Windowsのセットアップ (Windows3.1を除く)」

51 ページ



プリンタ接続先の設定

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートの設定を、必要に応じて変更します。コンピュータにローカル接続している場合は、組み込んだままの設定で使えますので変更は不要です。

ここでは、プリンタ側のエラー状態を示すメッセージ条件なども変更できます。



ポイント

- プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。
- プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。

Windows95/98の場合

1 Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[設定]にカーソルを合わせ[プリンタ]をクリックします。

2 お使いのプリンタのアイコン(LP-8600F/8400F/8300F)を選択して、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。

① 選択して
② クリックします

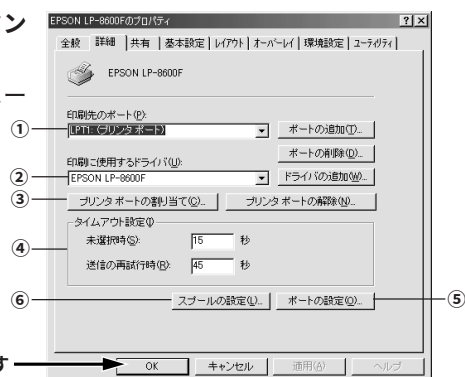


3 [詳細] タブをクリックします。



4 接続先などを設定し、[OK]ボタンをクリックします。

各項目の詳細な説明は、次ページを参照してください。



① 印刷先のポート

プリンタを接続したポート（インターフェイス）を選択します。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。



プリンタを、コンピュータのプリンタポートに接続している場合は、通常は「LPT1」に設定します。

PRN : EPSON PC シリーズ / NEC PC シリーズ標準の 14 ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。この PRN が表示されない場合は LPT1 を選択します。

LPT : 通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の LPT1 を選択します。

FILE : 印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

ポートの追加 ボタン:

新しいポートを追加したり、新しいネットワークパスを指定したりするときにクリックします。



ネットワークパスを指定してポートを追加することでネットワーク上に接続された本機に接続することができます。[参照](#) ボタンをクリックしてネットワーク構成図からプリンタを選択してください。

ポートの削除 ボタン:

ポートの一覧からポートを削除するときにクリックします。

② 印刷に使用するドライバ

プリンタドライバの種類が表示されます。お使いの機種 of プリンタドライバが選択されていることを確認してください。通常は、設定を変更しないでください。

ドライバの追加 ボタン:

プリンタドライバを、追加するときにクリックします。

③ プリンタポートの割り当て

ネットワークプリンタと接続している場合に使用できます。

プリンタポートの割り当て ボタン:

ポートをネットワークドライブに割り当てるときにクリックします。

プリンタポートの解除 ボタン:

ネットワークドライブに割り当てたポートを解除するときにクリックします。

④ タイムアウト設定

タイムアウトの時間を設定します。通常は変更する必要はありません。

未選択時

プリンタが印刷できる状態になるまで待つ時間を設定します。

ここで設定した時間を経過してもプリンタが印刷できない状態にならないと、エラーが表示されます。

送信の再試行時

プリンタが印刷途中でデータを受信できなくなったときに、データの送信を繰り返す時間を設定します。ここで設定した時間を経過してもプリンタがデータを受信できないと、エラーが表示されます。



ポイント

- ポートによってタイムアウト時間が変更できない場合があります。
- 通常は標準設定のままで使用できますが、印刷データが複雑な場合などに、エラーが表示されることがあります。そのようなときは、タイムアウト時間、特に「送信の再試行時」を長く設定してください。

⑤ ポートの設定 ボタン

通常は変更する必要はありません。

MS-DOS の印刷ジョブをスプール:

MS-DOS アプリケーションの印刷データを Windows でスプールします。

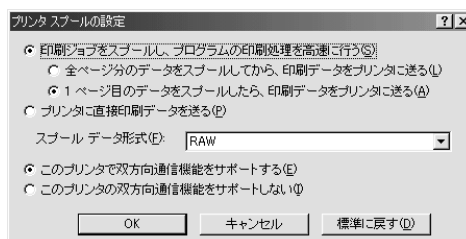
印刷前にポートの状態をチェック:

印刷先のポートが印刷可能な状態なのかどうかを、印刷を行う前にチェックします。

*1 スプール：データを一時的にディスクに保存し、そこからプリンタへデータを送るデータ転送の方法。これにより印刷中もコンピュータは別の作業をすることができ。

⑥ スプールの設定 ボタン

印刷データのスプール^{*1}方法の設定を変更する場合にクリックします。通常は変更する必要はありません。



印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う：

印刷データをWindowsからプリンタに直接送るため、高速に印刷されます。印刷品質（解像度）には影響ありません。印刷データスプール方法には、次の2つがあります。どちらかをクリックして選択します。

- 全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る
- 1ページ目のデータをスプールしたら、印刷データをプリンタに送る

プリンタに直接印刷データを送る：

印刷データをスプールせずに、直接プリンタに送ります。

このプリンタで双方向通信機能をサポートする：

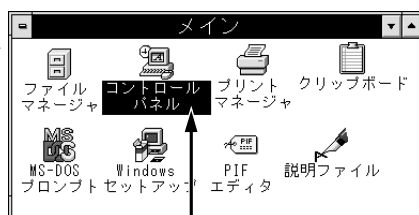
プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使うように設定します。EPSON プリンタウィンドウ³をお使いになる場合は、[サポートする] の○をクリックして●印を付けて選択します。

このプリンタで双方向通信機能をサポートしない：

プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使わないように設定します。

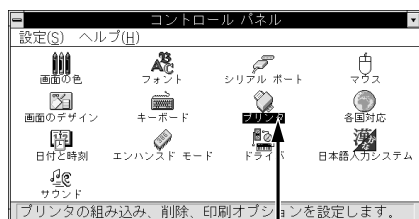
Windows3.1の場合

- 1 メイングループ内の「コントロールパネル」アイコンをダブルクリックします。



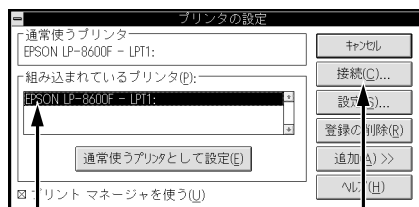
ダブルクリックします

- 2 コントロールパネル内の「プリンタ」アイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします

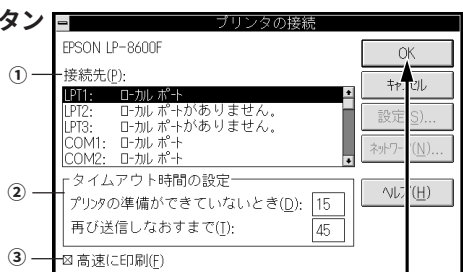
- 3 設定を変更するプリンタをクリックし、「接続」ボタンをクリックします。



①クリックして

②クリックします

- 4 接続先などを設定し、「OK」ボタンをクリックします。



クリックします

① 接続先

プリンタを接続したポート（インターフェイス）を選択します。各項目の詳細は以下のページをご覧ください。

📖 本書「プリンタ接続先の設定 / 印刷先のポート」 67 ページ



ポイント

プリンタを、コンピュータのプリンタポートに接続している場合は、**[LPT1]** を選択してください。

② タイムアウト時間の設定

タイムアウトの時間を設定します。

プリンタの準備ができていないとき

プリンタが印刷可能状態になるまでの時間を設定します。この時間を過ぎても印刷可能状態にならないと、エラーが表示されます。

再び送信しなおすまで

プリンタが印刷途中でデータを受信できなくなったときに、データの送信を繰り返す時間を設定します。この時間を過ぎてもデータを受信できない場合は、エラーが表示されます。



ポイント

- ポートによってはタイムアウト時間が変更できない場合があります。
- タイムアウト時間の設定はプリントマネージャを使用している場合に有効になります。
- 通常は標準設定のままで使用できますが、印刷データが複雑な場合など、エラーが表示されやすくなります。そのようなときは、タイムアウト時間、特に「再び送信しなおすまで」を長く設定してください。

③ 高速に印刷

通常はチェックボックスをチェックしたままにしてください。このボックスをチェックしていると、印刷データを Windows からプリンタに直接送るため、高速に印刷されます。印刷品質（解像度）には影響ありません。チェックしないと、DOS を経由して印刷されるので印刷時間が長くなります。



プリンタソフトウェアの削除

Win

ドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。ここでは、Windows95/98/NT4.0の標準的な方法でプリンタソフトウェア（プリンタドライバ/EPSON プリンタウィンドウ!3）を削除する手順を説明します。

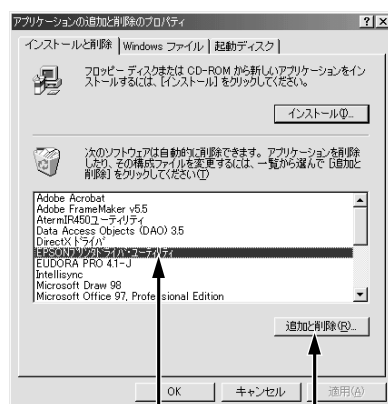


EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットして表示される画面からも削除することができます。

- 1 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。
- 2 Windowsの **スタート** ボタンをクリックし、**[設定]** にカーソルを合わせて、**[コントロールパネル]** をクリックします。
- 3 **[アプリケーションの追加と削除]** アイコンをダブルクリックします。
- 4 **[EPSONプリンタドライバ・ユーティリティ]** をクリックしてから、**[追加と削除]** ボタンをクリックします。



ダブルクリックします



①クリックして ②クリックします

プリンタソフトウェアを削除する

次ページへ進みます

EPSON プリンタウィンドウ!3 のみの削除

74 ページの **5** へ進みます

プリンタソフトウェアの削除

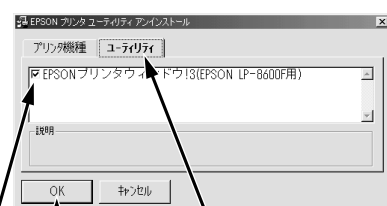
Win

- 5** [プリンタ機種] タブをクリックし、お使いのプリンタのアイコン (LP-8600F/8400F/8300F) を選択します。



①クリックし ②選択します

- 6** [ユーティリティ] タブをクリックし、EPSONプリンタウィンドウ!3 (選択した機種専用) にチェックマークが付いていることを確認して **OK** ボタンをクリックします。



②確認して ③クリックします ①クリックして

- 7** 削除確認のメッセージが表示されたら、**はい** ボタンをクリックします。
EPSON プリンタウィンドウ!3 (選択した機種専用) の削除が始まります。



クリックします

- 8** 削除確認のメッセージが表示されたら、**はい** ボタンをクリックします。
プリンタドライバの削除が始まります。



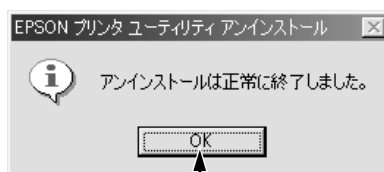
クリックします



ポイント

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら、**はい** ボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを [通常使うプリンタ] として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを [通常使うプリンタ] に設定します。メッセージが表示されたら、**OK** ボタンをクリックします。

- 9 終了のメッセージが表示されたら、**OK** ボタンをクリックします。これでプリンタドライバの削除（アンインストール）は終了です。

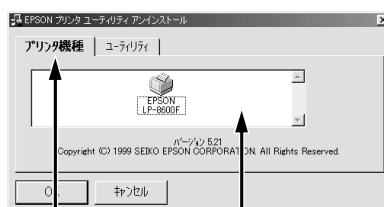


クリックします

プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

EPSON プリンタ ウィンドウ!3 のみの削除

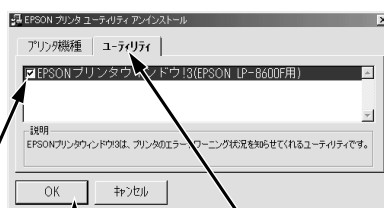
- 5 [プリンタ機種] タブをクリックし、余白部分をクリックして何も選択されていない状態にします。



① クリックし

② クリックします

- 6 [ユーティリティ] タブをクリックし、[EPSON プリンタ ウィンドウ!3 (選択した機種専用)] を選択して、**OK** ボタンをクリックします。



② 選択して

③ クリックします

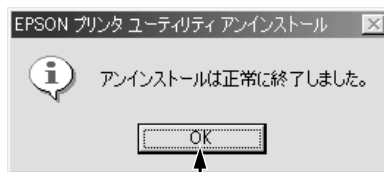
① クリックし

- 7 削除確認のメッセージが表示されたら、**はい** ボタンをクリックします。
EPSON プリンタ ウィンドウ!3 (選択した機種専用) の削除が始まります。



クリックします

- 8 終了のメッセージが表示されたら、**OK** ボタンをクリックします。これで EPSON プリンタ ウィンドウ!3 (選択した機種専用) の削除（アンインストール）は終了です。



クリックします

プリンタドライバやEPSONプリンタウィンドウ!3を再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。



EPSONバーコードフォント

EPSONバーコードフォントは、本機で印刷できるバーコードフォントです。バーコード印刷する必要がある場合に、Windows95/98/NT3.51/NT4.0にインストールしてご利用ください。

Win

*1 OCR-B：
光学的文字認識に
用いる目的で開発さ
れ JISX9001 に規定
された書体の名称。

通常バーコードを作成するには、データキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかに様々なコードやキャラクタを指定したり、OCR-B^{*1}フォント（バーコード下部の文字）を指定する必要があります。

EPSONバーコードフォントは、各種のバーコードを簡単に作成・印刷するためのフォントです。このフォントを使ってデータキャラクタとして必要な文字のみを入力すれば、バーコードに必要なコードやキャラクタは自動的に指定され、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルが簡単に作成・印刷できます。

バーコードフォントについて

EPSONバーコードフォントは、次の種類のバーコードをサポートしています。EPSONバーコードフォントは、本機に同梱のプリンタドライバ上でのみ使用可能です。

*2 チェックデジット：
読み取りの正確
性を保つために、
所定の計算式に
基づいて計算さ
れたキャラクタ。

バーコード の規格	フォント名称	OCR-B	チェック ^{*2} デジット	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN（短縮バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN（短縮バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN（標準バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN（標準バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-Aのバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-Eのバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128のバーコードを作成します。
Interleaved 2of5	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	
NW-7 (CODABAR)	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

注意事項

プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷するには、プリンタドライバで次のように設定してください。

- [基本設定] の [印刷品質] : きれい (600dpi)
- [基本設定] - [詳細設定] の [トナーセーブ] : チェックマークなし (OFF)
- [レイアウト] の [拡大 / 縮小] : チェックマークなし (OFF)

文字の装飾／配置について

- 文字の装飾 (ボールド／イタリック／アンダーライン等)、網掛けは行わないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転を行う場合、回転角度は90度、180度、270度以外は指定しないでください。
- 文字間隔の変更は行わないでください。
- アプリケーションソフトが文字間隔の自動調整機能や、スペース (空白) 部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大／縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。
(例 <=> ⇔ ⇌)

入力時の注意について

- Code39、Code128 において、一つの行に2つ以上のバーコードを印刷する場合、バーコードとバーコードの間はTABで区切ってください。スペース (空白) で区切る場合はバーコードフォント以外の書体を選択してスペースを入力してください。
バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があります、バーコードとして使用できません。
- アプリケーションソフトウェアで改行を示すマークの表示／非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお勧めします。
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。
バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。

バーコードフォントのインストール

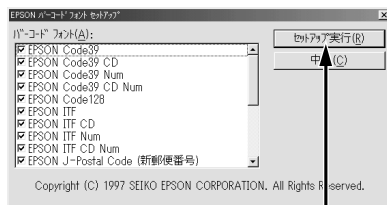
- 1 コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。
- 2 EPSON ESC/Pageプリンタソフトウェア CD-ROMをコンピュータにセットします。
- 3 **バーコードフォントのインストール**を選択して**次へ**ボタンをクリックします。



① 選択して ② クリックします

上記の画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] をダブルクリックして CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

- 4 **セットアップ実行** ボタンをクリックします。
使用しないバーコードフォントは、クリックしてチェックマークを外してください。インストールされません。



クリックします

これでEPSONバーコードフォントがWindowsのフォントフォルダにインストールされました。EPSONバーコードフォントの詳細、使用方法は、次ページ以降をご覧ください。

バーコードの作成

Win

ここでは Windows95/98 に添付のワードパッドを例に、EPSON バーコードフォントの印刷手順を説明します。

- 1** ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字を入力します。



文字はすべて半角（1Byte）で入力してください。

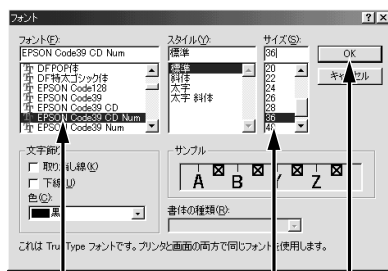
- 2** 入力した文字をマウスでドラッグして選択します。
選択した範囲が反転表示になります。



- 3** [書式] メニューをクリックし、[フォント] をクリックします。



- 4 [フォント]の一覧から印刷したいEPSONバーコードフォントを選択し
[サイズ]でフォントのサイズを設定し、**OK** ボタンをクリックします。



① 選択して

② 選択して ③ クリックします



WindowsNT4.0 では 96pt 以上のフォントサイズは使用できません。

ポイント

- 5 入力した文字が、モニタ上で次のようにバーコードフォント表示されていることを確認します。



- 6 印刷を実行します。
入力したデータがバーコードとして印刷されます。



ポイント

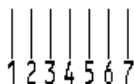
入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断した場合は、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

各バーコードについて

Win

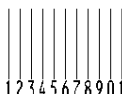
各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細/構成などについては、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

JAN-8（JAN 短縮バージョン）			
- JAN-8 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の短縮バージョン（8 桁）です。 - EPSONバーコードフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは7桁です。			
入力可能なキャラクタ		数字（0～9）	
入力するキャラクタの桁数		7桁	
キャラクタのサイズ		52～130pt（WindowsNT は96pt まで） 保証サイズは52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt	
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。			
• レフト／ライトマージン • レフト／ライトガードバー • センターバー • チェックキャラクタ • OCR-B			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 に変換	印刷
	1234567		

JAN-8 Short (JAN 短縮バージョン トランケーション)			
- JAN-8 Shortは JAN-8 のバーコードの高さを標準ポイントで 11mm にしたもので、それ以外は JAN-8 と同じ仕様です。 - バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。 - 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。			
入力可能なキャラクタ		数字 (0 ～ 9)	
入力するキャラクタの桁数		7 桁	
キャラクタのサイズ		36 ～ 90pt 保証サイズは 36pt、45pt (標準)、67.5pt、90pt	
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。			
• レフト／ライトマージン		• レフト／ライトガードバー	• センターバー
• チェックキャラクタ		• OCR-B	
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 Short に変換	印刷
	1234567		

JAN-13（標準バージョン）			
• JAN-13は「JIS X 0501」として規格化されたJANの標準バージョン（13桁）です。 • EPSON バーコードフォントでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは12桁です。			
入力可能なキャラクタ		数字（0～9）	
入力するキャラクタの桁数		12桁	
キャラクタのサイズ		60～150pt（WindowsNTは96ptまで） 保証サイズは60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt	
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。			
• レフト／ライトマージン • レフト／ライトガードバー • センターバー • チェックキャラクタ • OCR-B			
印刷例	入力時	EPSON JAN-13 に変換	印刷
	123456789012		

JAN-13 Short (JAN 短縮バージョン トランケーション)			
- JAN-13 Short は JAN-13 のバーコードの高さを標準ポイントで 11mm にしたもので、それ以外は JAN-13 と同じ仕様です。 - バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。 - 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。			
入力可能なキャラクタ		数字 (0 ~ 9)	
入力するキャラクタの桁数		12 桁	
キャラクタのサイズ		36 ~ 90pt。 保証サイズは 36pt、45pt (標準)、67.5pt、90pt	
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。			
• レフト／ライトマージン		• レフト／ライトガードバー	• センターバー
• チェックキャラクタ		• OCR-B	
印刷例	入力時	EPSON JAN-13 Short に変換	印刷
	123456789012	123456789012	1 234567890128

UPC-A			
• UPC-A は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Regular タイプです。 (UPC Symbol Specification Manual) • Regular UPC コードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。			
入力可能なキャラクタ	数字 (0 ~ 9)		
入力するキャラクタの桁数	11 桁		
キャラクタのサイズ	60 ~ 150pt (WindowsNT は 96pt まで) 保証サイズは 60pt、75pt (標準)、112.5pt、150pt		
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。			
• レフト／ライトマージン • レフト／ライトガードバー • センターバー • チェックデジット • OCR-B			
印刷例	入力時	EPSON UPC-A に変換	印刷
	12345678901		

UPC-E			
● UPC-E は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Zero Suppression (余分な 0 を削除) タイプです。(UPC Symbol Specification Manual)			
入力可能なキャラクタ	数字 (0 ～ 9)		
入力するキャラクタの桁数	6 桁		
キャラクタのサイズ	60 ～ 150pt (WindowsNT は 96pt まで) 保証サイズは 60pt、75pt (標準)、112.5pt、150pt		
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。			
● レフト／ライトマージン ● レフト／ライトガードバー ● チェックデジット			
● OCR-B ● ナンバーシステム「0」のみ			
印刷例	入力時	EPSON UPC-E に変換	印刷
	123456		

Code39			
• Code39は「JIS X 0503」として規格化されたものです。 • EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-Bの有無で4種類のフォントを用意しています。 • 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSONバーコードフォントはCode39の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。 • Code39ではスペースを“ ”（アンダーライン）に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したい場合は、“ ”（アンダーライン）を入力してください。 • Code39で1行に2つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間はTABで区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。			
入力可能なキャラクタ	英数字（A～Z、0～9） 記号（－ . スペース \$ / + %）		
入力するキャラクタの桁数	制限なし		
キャラクタのサイズ	OCR-B なしの場合：26pt 以上 保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt OCR-B ありの場合：26pt 以上 保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt (WindowsNT は 96pt まで)		
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。			
• 左／右クワイエットゾーン • スタート／ストップキャラクタ • チェックデジット			
印刷例	入力時	EPSON Code39 に変換	印刷
	1234567	1 2 3 4 5 6 7	
		EPSON Code39 CDNum に変換	印刷
		1 2 3 4 5 6 7	

Code128			
• Code128は「JIS X 0504」として規格化されたものです。 • EPSON バーコードフォントはコードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。 • 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントはCode128の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。 • アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。 • Code128で1行に2つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間はTABで区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。			
入力可能なキャラクタ		全ての ASCII 文字（95 文字）	
入力するキャラクタの桁数		制限なし	
キャラクタのサイズ		26～104pt（WindowsNT は 96pt まで） 保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt	
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。			
• 左／右クワイエットゾーン • スタート／ストップキャラクタ • チェックデジット			
• コードセットの変更キャラクタ			
印刷例	入力時	EPSON Code128 に変換	印刷
	1234567	1234567	

Interleaved 2of5			
• Interleaved 2of5 は、アメリカで規格化されたものです。(USS Interleaved 2-of-5) • EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-Bの有無で4種類のフォントを用意しています。 • 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントはInterleaved 2of5の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。 • Interleaved 2of5は、キャラクタを2個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に0を追加して偶数個になるようにします。			
入力可能なキャラクタ	数字(0～9)		
入力するキャラクタの桁数	制限なし		
キャラクタのサイズ	OCR-Bの有無により異なります。(WindowsNTは96ptまで) OCR-Bなしの場合：26pt以上 保証サイズは26pt、52pt、78pt、104pt OCR-Bありの場合：36pt以上 保証サイズは36pt、72pt、108pt、144pt		
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力不要です。			
• 左／右クワイエットゾーン • スタート／ストップキャラクタ • チェックデジット • 文字列先頭への0の挿入 (合計文字数が偶数でない場合のみ)			
印刷例	入力時	EPSON ITF に変換	印刷
	1234567		
		EPSON ITF CD Num に変換	印刷



新郵便番号（カスタマ・バーコード）			
• バーコードの詳細については、郵政省より発行の資料を参照してください。 • EPSON バーコードフォントで入力する場合、次のように新郵便番号（3桁）－新郵便番号（4桁）－住所表示番号（バーコードに変換後13桁まで）を入力します。 • 住所表示番号は入力時は桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後13桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が13桁に満たない場合は、13桁になるように末尾にコードを挿入します。 • アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。			
入力可能なキャラクタ		数字（0～9）、英文字（A～Z）、記号（－）	
入力するキャラクタの桁数		制限なし。ただし住所表示番号については、バーコードに変換後13桁を超える桁数の文字は省略されます。	
キャラクタのサイズ		8～11.5pt 保証サイズは8pt、9pt、10pt、11.5pt	
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。			
• バーコードの上下左右2mmの空白 • 入力時の－（ハイフン）の削除 • スタート／ストップコード • 住所表示番号の13桁調整 • チェックデジット			
印刷例	入力時	EPSON J-Postal Code に変換	印刷
	123-4567	1'2'3'4'5'6'7'	

第3章

Macintoshからの印刷

Mac

ここでは、Macintoshからの印刷方法とユーティリティについて説明します。

●印刷までの流れ	90
●印刷の手順	91
●用紙の設定	93
●印刷の設定	98
●EPSON プリンタウィンドウ!3	110
●EPSON プリントモニタ!3	114
●印刷の中止方法	116
●プリンタドライバの削除	117



印刷までの流れ

Mac

プリンタの電源をオンにして用紙をセットします

1

☞ セットアップガイド「電源のオン」18 ページ

☞ 本書「用紙について」1 ページ

必要に応じて操作パネルの設定を行います

2

用紙トレイに「用紙トレイ紙サイズスイッチ」の設定値にないサイズ of 用紙をセットした場合や用紙タイプの選択機能を使用する場合は、必ず操作パネルでの設定が必要です。

☞ 本書「操作パネルでの設定方法」127 ページ

セレクトタで機種名(LP-8600F/8400F/8300F)を選択します

3

☞ セットアップガイド「プリンタドライバの選択と設定」46 ページ

用紙を設定して印刷データを作成します

4

アプリケーションソフトを起動してから用紙サイズを設定します。その後、印刷データを作成します。

☞ 本書「用紙設定の手順」91 ページ

プリンタドライバで印刷条件を設定します

5

☞ 本書「印刷の手順」92 ページ

本書「印刷の設定」98 ページ

操作パネルと重複する項目（用紙トレイサイズ以外）は、プリンタドライバの設定が優先されます。

印刷を実行します

6

☞ 本書「印刷の手順」91 ページ

本書「EPSON プリントモニタ」114 ページ

本書「印刷の中止方法」116 ページ



印刷の手順

用紙設定の手順

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。ここでは、SimpleText を例に説明します。

Mac

アプリケーションソフトによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。



ポイント

用紙設定をする前に、お使いのプリンタ (LP-8600F/8400F/8300F) 用のプリンタドライバをセレクトで選択してください。

📖 セットアップガイド「プリンタドライバの選択と設定」46 ページ

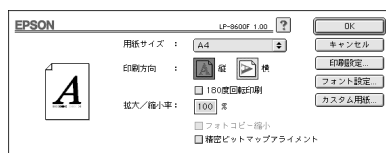
- 1 [SimpleText] アイコンをダブルクリックして起動します。



SimpleText

↑
ダブルクリックします

- 2 [ファイル] メニューから [用紙設定] (または [プリンタの設定] など) を選択します。



- 3 必要な項目を設定します。

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

📖 本書「[用紙設定] ダイアログ」93 ページ

本書「フォント設定の手順」95 ページ

本書「カスタム用紙の設定 / 変更」97 ページ

- 4 **OK** ボタンをクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。

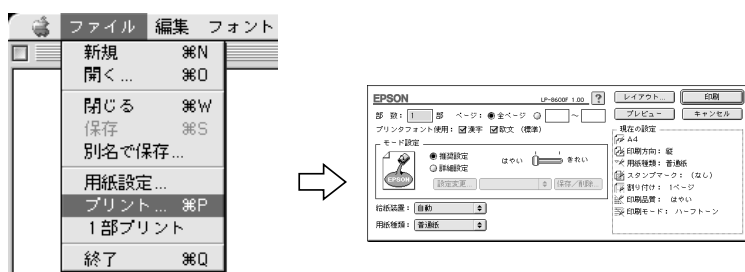
印刷の手順

印刷する際に、プリンタドライバ上で印刷部数などを設定します。

Mac

アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 [ファイル] メニューから [プリント] (または [印刷]) を選択します。



2 印刷に必要な項目を設定します。
設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

- 本書「[プリント] ダイアログ」98 ページ
- 本書「[詳細設定] ダイアログ」102 ページ
- 本書「[レイアウト] ダイアログ」107 ページ

3 **印刷** ボタンをクリックして、印刷を実行します。

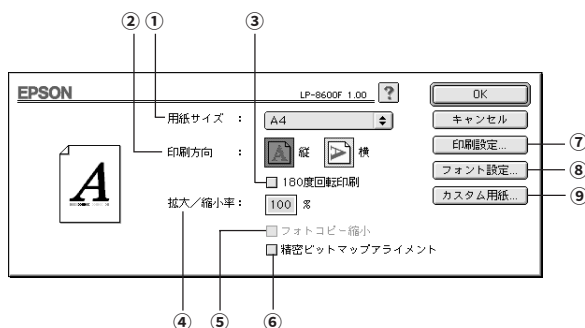


用紙の設定

[用紙設定] ダイアログ

[用紙設定] ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

Mac



① 用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをリストから選択します。

② 印刷方向

用紙に対する印刷の向きを、[縦]、[横] のいずれかをクリックして選択します。

③ 180度回転印刷

印刷データを 180 度回転して印刷する場合にクリックします。



「180 度回転印刷」を設定すると、フォントの置き換えはできません。

📖 本書「フォント設定の手順」95 ページ

ポイント

④ 拡大/縮小率

印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。拡大 / 縮小率を 25% ～ 400% まで、1% 単位で指定できます。

⑤ フォトコピー縮小

[拡大 / 縮小率] が 100% 未満の場合にクリックしてチェックマークを付けると、指定した縮小率で用紙中央に印刷します。この場合、次の [精密ビットマップアライメント] は選択できません。

⑥ 精密ビットマップアライメント

クリックしてチェックマークを付けると、印刷領域を約4%縮小して印刷のムラを押さえ、よりきれいに印刷します。この場合、印刷位置は用紙の中央になります。なお、[フォトコピー縮小] を選択している場合は、選択できません。

⑦ 印刷設定 ボタン

印刷に関する各種の設定を行います。印刷する直前に [プリント] ダイアログでも同様の項目を設定できます。設定できる項目については、以下のページを参照してください。

📖 本書「[プリント] ダイアログ」98 ページ

⑧ フォント設定 ボタン

Macintoshのディスプレイ上で表示されているフォントをプリンタに内蔵されているフォントに置き換えて高速に印刷します。設定方法については、以下のページを参照してください。

📖 本書「フォント設定の手順」95 ページ

⑨ カスタム用紙 ボタン

クリックすると [カスタム用紙] ダイアログが表示され、用紙のカスタム (不定形) サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、[用紙設定] ダイアログの [用紙サイズ] メニューから選択できます。

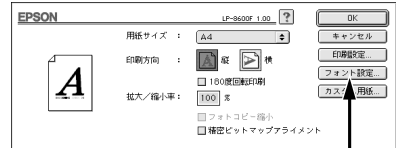
📖 本書「カスタム用紙の設定 / 変更」97 ページ

フォント設定の手順

フォントの置き換えは、Macintoshのディスプレイ上で表示されているフォントを、プリンタに内蔵されているフォントに置き換えて印刷する機能です。この機能を使用すると、印刷速度が速くなります。

Mac

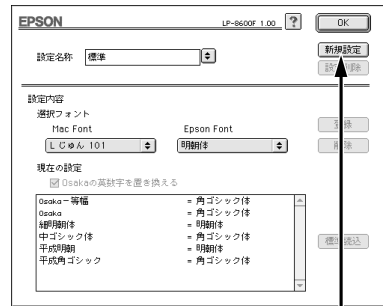
- 1** [用紙設定] ダイアログで
フォント設定 ボタンをクリック
します。



クリックします

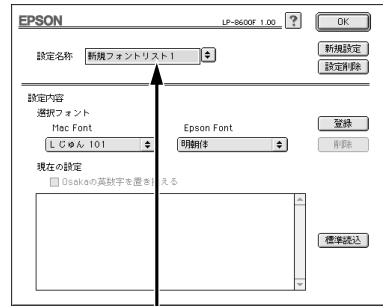
- 2** **新規設定** ボタンをクリックし
ます。

- すでに登録されている設定を変更する場合は、設定名称のポップアップメニューから選択し **4** へ進みます。
- すでに登録されている設定を削除するには、設定名称のポップアップメニューから選択し、**設定削除** ボタンをクリックします。



クリックします

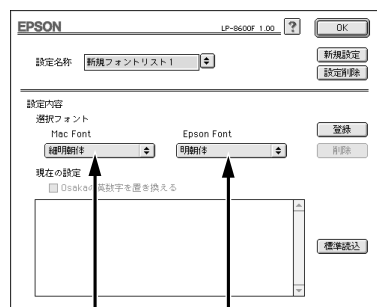
- 3** [設定名称] ボックスに、登録名
を入力します。



入力します

4 [Mac Font] リストから置き換え対象となるフォントを選択し、[Epson Font] リストから置き換えるプリンタフォントを選択します。

標準読み ボタンをクリックすると、標準で用意している置き換えフォントの設定を読み込むことができます。



① 選択して ② 選択します



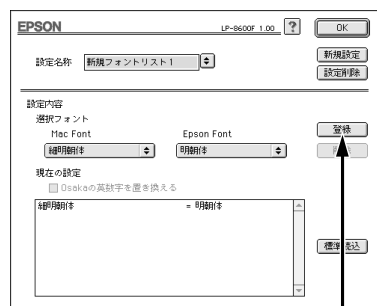
ポイント

【標準】 以外の置き換えフォント登録では、Osaka フォントに限り漢字フォントと英数字フォントを別々に置き換え設定できます。

- ① [Mac Font] リストから Osaka フォントを選択します。
- ② Osaka の英数フォントを置き換えるには、[Osaka の英数字を置き換える] をクリックしてチェックマークを付けます。Osaka の漢字フォントを置き換えるには、[Osaka の英数字を置き換える] をクリックしてチェックマークを外します。
- ③ [Epson Font] リストから置き換える英数フォントを選択します。

5 登録 ボタンをクリックします。

- [現在の設定] に登録されます。
- [現在の設定] に登録された置き換えの設定を削除する場合は、[現在の設定] の一覧から選択し、**削除** ボタンをクリックします。



クリックします

6 ほかに置き換えたいフォントがある場合は、4 と 5 を繰り返します。

7 OK ボタンをクリックします。

以上で、置き換えフォントの登録が保存されました。



ポイント

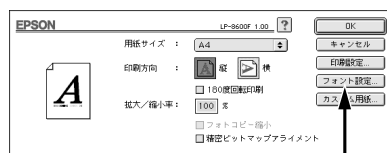
- 保存した置き換え方法を使用する場合は、[設定名称] のポップアップメニューから設定した名称を選択してください。
- 登録したフォント置き換えの設定は、[プリント] ダイアログや [詳細設定] ダイアログで [プリンタフォント使用] のチェックボックスをチェックしたときに有効になります。登録した置き換えフォントの設定は、[詳細設定] ダイアログからも選択できます。

カスタム用紙の設定/変更

不定形用の紙サイズを設定/登録したり、以前に登録した用紙サイズを変更できます。

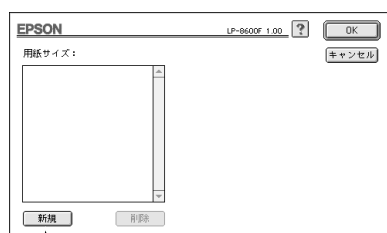
Mac

- 1 [用紙設定] ダイアログを開き、**カスタム用紙** ボタンをクリックします。



クリックします

- 2 **新規** ボタンをクリックします。



クリックします

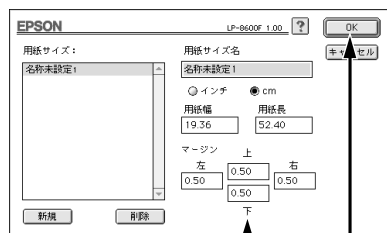


ポイント

- 登録できる用紙サイズの数、64 までです。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、[用紙サイズ] 一覧から変更したい用紙サイズを選択します。
- 用紙サイズ名をクリックしてから **削除** ボタンをクリックすると、その用紙サイズは削除されます。

- 3 用紙サイズ名、単位 (インチまたは cm)、用紙幅、用紙長、上下左右マージンを設定し、**OK** ボタンをクリックします。

設定できるサイズの範囲は以下の通りです。



① 設定して
② クリックします

用紙幅 : 9.01 ~ 29.70cm (3.55 ~ 11.69 インチ)
用紙長 [はやい] : 14.80 ~ 90.00cm (5.83 ~ 35.43 インチ)
[きれい] : 14.80 ~ 43.18cm (5.83 ~ 17.00 インチ)



ポイント

- [用紙長] の最大値は、[プリント] (または [詳細設定]) ダイアログの [モード設定] (または [印刷品質]) の設定によって異なります。
- 登録したカスタム用紙サイズは、[用紙設定] ダイアログの [用紙サイズ] リストから選択します。

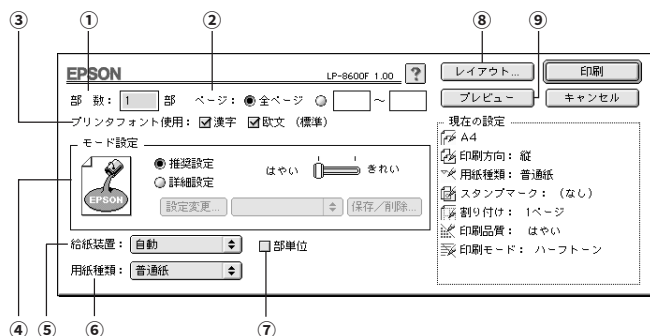


印刷の設定

[プリント]ダイアログ

印刷する際、[プリント] ダイアログで印刷に関わる各種の設定を行います。

Mac



① 部数

1～999の範囲で印刷部数を選択します。通常は1ページごとに指定した部数を印刷しますが、⑦の「部単位」を選択すると1部ごとにまとめて印刷します。

② ページ

すべてのページを印刷する場合は「全ページ」をクリックしてチェックマークを付けます。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを1～9999の範囲で入力します。

③ プリンタフォント使用

[フォント設定] ダイアログで登録した置き換えフォント設定に応じて、印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。置き換えフォントの登録については、以下のページを参照してください。

本書「フォント設定の手順」95ページ

漢字 : クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。

欧文 (標準) : クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。

④ モード設定

印刷条件として [推奨設定] または [詳細設定] のどちらかを選択できます。

推奨設定 : 一般的に推奨できる条件で印刷します。ほとんどの場合、この [推奨設定] でよい印刷結果が得られます。

[はやい] または [きれい] どちらかを選択できます。
[はやい] は文字文書の高速印刷に適しています。
[きれい] は、写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）のモノクロ印刷に適しています。

*1 プリセットメニュー：あらかじめ用意されている用途別の選択肢。リストボックスの中に、一覧で表示される。

詳細設定 : [詳細設定] をクリックすると、プリセットメニュー^{*1} のリストボックスと **設定変更** / **保存** / **削除** ボタンが有効になります。**設定変更** ボタンをクリックすると、[詳細設定] ダイアログが開きます。

⑤ 給紙装置

給紙装置を選択します。

自動 : 印刷実行時に、[用紙サイズ] で選択したサイズおよび [用紙種類] で選択した用紙種類の用紙がセットされている給紙装置を探し、給紙します。

用紙トレイ : 用紙トレイから給紙する場合は、[用紙トレイ] を選択します。



ポイント

- 用紙トレイは、セットされた用紙サイズを自動的に検知できないため、トレイ紙サイズスイッチにない用紙サイズは必ず操作パネルで用紙サイズを設定してください。
- 用紙トレイを選択する場合は、プリンタ本体のトレイ紙サイズスイッチの設定がセットした用紙サイズと一致していることを必ず確認してください。

用紙力セット 1 : 標準の用紙力セットから給紙する場合は、[用紙力セット 1] を選択します。

用紙カセット 2～3 : オプションの増設カセットユニットにセットしている用紙カセットから給紙します。オプション用紙カセットは、装着順に上から 2、3 の番号が割り当てられています。増設できる用紙カセットは、機種によって異なります。

LP-8600F : 3 番まで増設可能

LP-8400F/8300F : 2 番まで増設可能



ポイント

- 指定された用紙がセットされていない場合や正しく検知されていない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。
- 〔自動〕を選択して拡大／縮小印刷を行うと、〔レイアウト〕ダイアログの〔出力用紙〕で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。

⑥ 用紙種類

〔給紙装置〕を〔自動〕に設定した場合は、給紙する用紙の種類をリストから選択します。〔用紙種類〕を選択することにより、〔用紙サイズ〕と〔用紙種類〕で選択した用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。ただし、あらかじめ各給紙装置に用紙タイプの設定をする必要があります。

本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」13 ページ



ポイント

- 〔給紙装置〕を〔自動〕以外に設定した場合は、〔用紙種類〕は設定できません。
- 操作パネルで用紙のタイプを設定していない場合は、〔指定しない〕を選択してください。

⑦ 部単位

クリックしてチェックマークを付けると、2部以上印刷する場合に1ページ目から最終ページまでを1部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の〔部数〕で指定します。

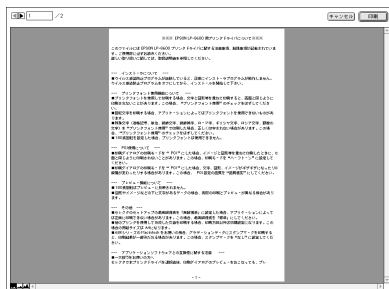
⑧ レイアウト ボタン

ボタンをクリックすると〔レイアウト設定〕ダイアログが表示され、レイアウトに関する設定ができます。詳細については、以下のページを参照してください。

本書「〔レイアウト〕ダイアログ」107 ページ

⑨ プレビュー ボタン

ボタンをクリックすると「プレビュー」ダイアログが表示され、印刷結果をモニタ上で確認できます。



Mac



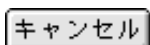
- [用紙設定] ダイアログで [180 度回転印刷] を設定しても、ページを 180 度回転してプレビュー表示しません。
- 文字が図形より下にあっても、文字が上にプレビュー表示されます。



: 表示するページを1ページごとに切り替えるボタンです。



/ 2 : 表示させるページ番号を直接入力します。



: 「プレビュー」ダイアログを閉じるボタンです。



: 印刷を開始するボタンです。



: 印刷データ（1 ページ単位）の全体を表示します。



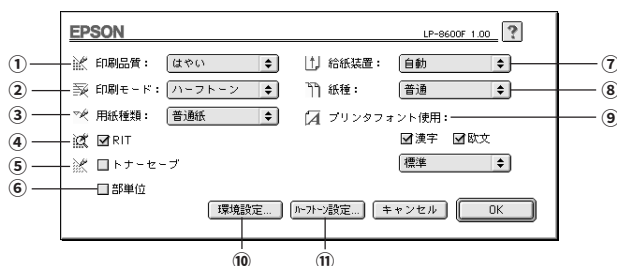
: 印刷結果と同等のサイズで表示します。



: 印刷データを拡大して表示します。

[詳細設定] ダイアログ

[プリント] ダイアログの [モード設定] で [詳細設定] をクリックして [設定変更] ボタンをクリックすると、[詳細設定] ダイアログが表示されます。印刷に関わるさまざまな機能を詳細に設定できます。



① 印刷品質

印刷品質とは印刷解像度のことで、[はやい] (300dpi) または [きれい] (600dpi) のどちらかに設定できます。



カスタム用紙で印刷する場合、用紙長が43.18cmより長いときは [きれい] は選択できません。

[きれい] を選択すると、きめ細かく印刷できますが、印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合や、印刷できない場合は、[はやい] に設定してください。



印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下の作業を行ってください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- [印刷品質] を [はやい] (解像度 300dpi) に設定する。
- メモリを増設する。
- アプリケーションソフトに割り当てたメモリを変更する。

② 印刷モード

グラフィックスイメージを処理する以下の印刷モードが選択できます。

白黒 : モノクロ印刷を行います。グレースケールや中間色は再現しません。

ハーフトーン : グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷します。イメージと図形などを重ねて印刷して、モニタ表示と同じように印刷されない場合、[ハーフトーン] を選択してください。

*1 PGI:
階調表現力を3倍
に高め、微妙な陰
影やグラデーションを鮮明に
印刷する EPSON
独自の機能。

PGI

: PGI^{*1}(Photo and Graphics Improvement)処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を印刷するときは、PGIを有効にすると、よりきれいに印刷できます。



ポイント

- プリンタのメモリが少ないと、PGIで印刷できない場合があります。PGI処理で印刷するには、メモリを増設するか、[印刷品質]を[はやり]に設定してください。
- アプリケーションソフトで独自のハーフトーン処理を行っている場合、[ハーフトーン]や[PGI]を有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は[白黒]に設定して印刷してください。

③ 用紙種類

[給紙装置]を[自動]に設定した場合は、給紙する用紙の種類をリストから選択します。[用紙種類]を選択することにより、[用紙サイズ]と[用紙種類]で選択した用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。ただし、あらかじめ各給紙装置に用紙タイプの設定をする必要があります。

☞ 本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」13 ページ

[給紙装置]を[自動]以外に設定した場合は、[用紙種類]は設定できません。



ポイント

操作パネルで用紙のタイプを設定していない場合は、[指定しない]を選択してください。

④ RIT

*2 RIT:
斜線や曲線などの
ギザギザをなめら
かに印刷する
EPSON 独自の輪
郭補正機能です。

クリックしてチェックマークを付けると、RIT^{*2}(Resolution Improvement Technology)機能が有効になります。大きな文字を印刷するときは、RITを有効にすると、よりきれいに印刷できます。



ポイント

RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。

⑤ トナーセーブ

クリックしてチェックマークを付けると、トナーセーブ機能が有効になります。文字の輪郭はそのままに黒ベタ部分の濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

Mac

⑥ 部単位

クリックしてチェックマークを付けると、2部以上印刷する場合に1ページ目から最終ページまでを1部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、[プリント] ダイアログの [部数] で指定します。

⑦ 給紙装置

給紙装置を選択します。

自動 : 印刷実行時に、[用紙サイズ] で選択したサイズおよび [給紙タイプ] で選択した用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置を探し、給紙します。

用紙トレイ : 用紙トレイから給紙する場合は、[用紙トレイ] を選択します。



ポイント

- 用紙トレイは、セットされた用紙サイズを自動的に検知できないため、トレイ紙サイズスイッチにない用紙サイズは必ず操作パネルで用紙サイズを設定してください。
- 用紙トレイを選択する場合は、プリンタ本体のトレイ紙サイズスイッチの設定がセットした用紙サイズと一致していることを必ず確認してください。

用紙カセット 1 : 標準の用紙カセットから給紙する場合は、[用紙カセット 1] を選択します。

用紙カセット 2～3 : オプションの増設カセットユニットにセットしている用紙カセットから給紙します。オプション用紙カセットは、上から 2、3 の番号が割り当てられています。増設できる用紙カセットは、機種によって異なります。

LP-8600F : 3 番まで増設可能

LP-8400F/8300F : 2 番まで増設可能



ポイント

- 指定された用紙がセットされていない場合や正しく検知されていない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。
- [自動] を選択して拡大／縮小印刷を行うと、[レイアウト] ダイアログの [出力用紙] で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。

⑧ 紙種

用紙の種類を設定します。通常は「普通紙」を選択してください。

普通紙 : 普通紙、再生紙などを使用する場合に選択します。

厚紙 : 厚紙や OHP シートなど、紙厚が 90 ～ 135g/m² の用紙を使用する場合に選択します。



ポイント

使用する用紙に合わせて「紙種」を正しく設定しないと、印刷品質が劣化することがあります。

⑨ プリンタフォント使用

「[フォント設定] ダイアログで登録した置き換えフォント設定に応じて、印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。置き換えフォントの登録については、以下のページを参照してください。

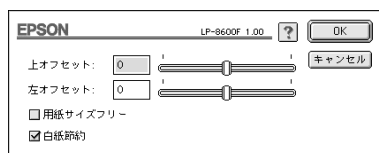
📖 本書「フォント設定の手順」95 ページ

漢字 : クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。

欧文 : クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。

登録してある置き換えフォントの設定は、リストから選択できます。

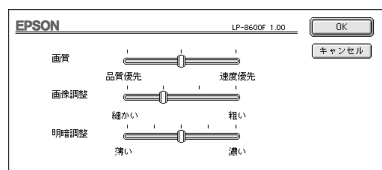
⑩ 環境設定 ボタン



- 上オフセット : 用紙の垂直方向印刷開始位置を 0.5 mm 単位で -10mm ~ 10mm の間で設定します。
- 左オフセット : 用紙の水平方向印刷開始位置を 0.5 mm 単位で -10mm ~ 10mm の間で設定します。
- 用紙サイズフリー : チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、プリンタで用紙サイズのチェックを行いません。
- 白紙節約 : チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、白紙ページを印刷しません。

⑪ ハーフトーン設定 / PGI設定 ボタン

ボタン名は [印刷モード] の設定によって変わります。[印刷モード] を [ハーフトーン] または [PGI] に設定した場合、**ハーフトーン設定** または **PGI設定** ボタンをクリックしてさらに細かい印刷条件を設定できます。

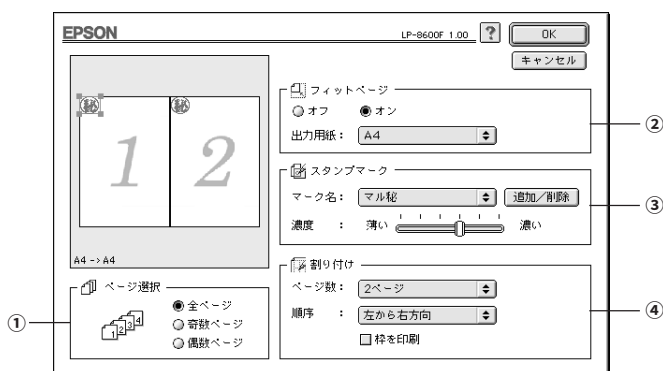


- 画質 : [印刷モード] で [PGI] を選択したときのみ、[画質] を 3 段階に調整できます。印刷時間を短くしたい場合は [速度優先] に、印刷品質を上げたい場合は [品質優先] に設定します。
- 画像調整 : [印刷モード] で [ハーフトーン] または [PGI] どちらかに設定した場合は、画像の粗密を、[細かい] から [粗い] の間で 4 段階に調整できます。
- 明暗調整 : [印刷モード] で [ハーフトーン] または [PGI] どちらかに設定した場合は、画像の明暗を、[薄い] から [濃い] の間で 5 段階に調整できます。

[レイアウト]ダイアログ

[プリント] ダイアログで [レイアウト] ボタンをクリックすると、[レイアウト] ダイアログが表示されます。レイアウトに関わるさまざまな設定を行います。

Mac



① ページ選択

印刷データの全ページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみ印刷するかを選択します。

② フィットページ

印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを自動的に拡大/縮小する機能です。フィットページ印刷をするには [オン] を選択し、[出力用紙] ポップアップメニューからプリンタにセットした用紙サイズを選択します。印刷を実行すると自動的に拡大 / 縮小して印刷します。



ポイント

- 拡大 / 縮小の倍率は [用紙設定] ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- [用紙設定] ダイアログの [拡大 / 縮小率] は無効になります。

③ スタンプマーク

印刷データに (秘) などのイメージを重ね合わせて印刷します。

プレビュー部 : ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。

マーク名 : 印刷するスタンプマークをリストから選択します。

*1 PICT :
Macintosh の標準
グラフィックファ
イル形式。

濃度 : スタンプマークの印刷濃度を、[濃度] バーで調整します。バーを [薄い] 側に移動するとより薄く、[濃い] 側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

追加 / 削除 ボタン : オリジナルのスタンプマークを追加したり削除するには、**追加 / 削除** ボタンをクリックします。スタンプマークは一般のアプリケーションソフトであらかじめ作成して、PICT^{*1}形式で保存しておきます。登録 / 削除の手順については、以下のページを参照してください。

📖 本書「オリジナルスタンプマークを登録 / 削除するには」109 ページ

④ 割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続した印刷データを、1 ページに納まるように縮小して印刷する機能を割り付け印刷といいます。割り付けるページ数、順序、枠線の有無を設定できます。

ページ数 : 1 ページに割り付けるページ数を選択します。

順序 : 割り付けたページを、どのような順番で配置するか選択します。ページ数、用紙の向き(縦・横)によって、選択できる割り付け順序の種類が異なります。

枠を印刷 : クリックしてチェックマークを付ける、割り付けた各ページの周りに枠線を印刷します。



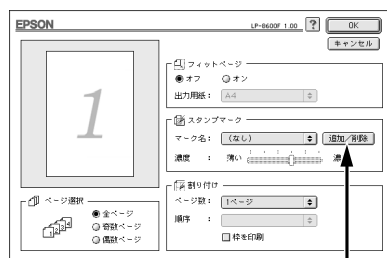
ポイント

割り付け印刷を行わない場合は、[ページ数] リストから [1 ページ] を選択します。

オリジナルスタンプマークを登録/削除するには

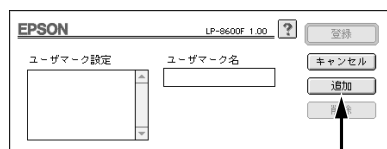
1 アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマークを作成し、PICT形式で保存します。

2 [レイアウト] ダイアログを開いて、**追加/削除** ボタンをクリックします。



クリックします

3 **追加** ボタンをクリックします。



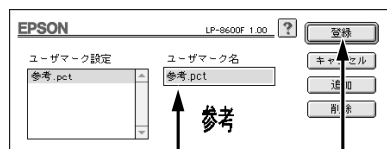
クリックします

4 保存した PICT ファイルを選択し、**開く** ボタンをクリックします。
作成 ボタンをクリックすると、ファイルのサンプル画像を表示します。



①選択し ②クリックします

5 [ユーザーマーク名] を入力して、**登録** ボタンをクリックします。
これでオリジナルスタンプマークがポップアップメニューに追加されました。



①入力して ②クリックします

Mac



EPSONプリンタウィンドウ!3

EPSONプリンタウィンドウ!3は、プリンタの状態をコンピュータ上で確認できるユーティリティです。印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始め、問題があればポップアップウィンドウが開き、エラーメッセージを表示して対応方法を知ることができます。

Mac

手動での起動と終了

[アップル] メニューに作成された [EPSONプリンタウィンドウ!3] のエイリアス^{*1}を選択して手動で起動し、[詳細] ウィンドウを直接開くこともできます。

^{*1} エイリアス：デスクトップ上やメニュー内など好きな場所から、アプリケーションソフトを起動することができるアイコンや機能。Windowsではショートカットと呼ばれる。



EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動する前に、監視したいプリンタが [セレクト] で選択されているか確認してください。

ポイント

1

[アップル] メニューから [EPSONプリンタウィンドウ!3] をクリックします。

EPSONプリンタウィンドウ!3が起動し、[詳細] ウィンドウが表示されます。

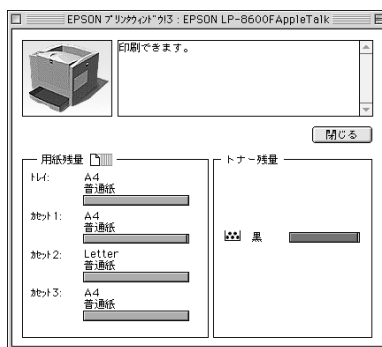


クリックします

2

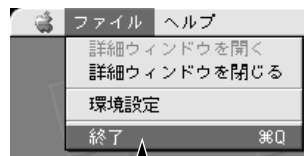
プリンタの状況を確認します。

本書「[詳細] ウィンドウ」
111 ページ



3

[ファイル] メニューから [終了] をクリックすると、EPSONプリンタウィンドウ!3が終了します。



クリックします



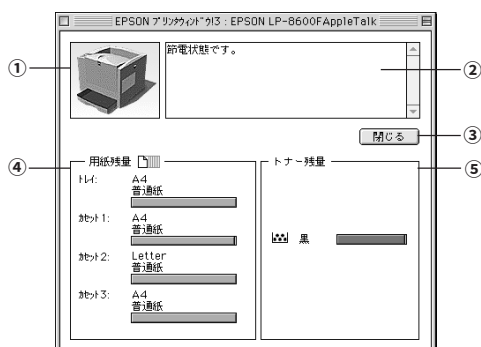
EPSONプリンタウィンドウ!3の [ファイル] メニューから、[詳細]、[環境設定] の各ウィンドウを開いたり閉じたりできます。

ポイント

[詳細] ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ!3 の [詳細] ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

Mac



① プリンタ

プリンタの状態をグラフィックで表示します。

② メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

本書「対処が必要な場合は」112 ページ

③ 閉じる

ウィンドウを閉じるときに **閉じる** ボタンをクリックします。

④ 用紙残量

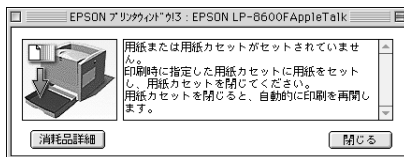
給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（給紙タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。オプションの給紙装置が装着されている場合は、その給紙装置（カセット）についての情報也表示します。

⑤ トナー残量

ETカートリッジのトナーがどれくらい残っているかの目安を表示します。

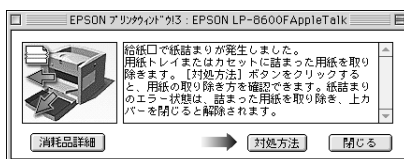
対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSONプリンタウィンドウ!3のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解除されると自動的にウィンドウが閉じます。



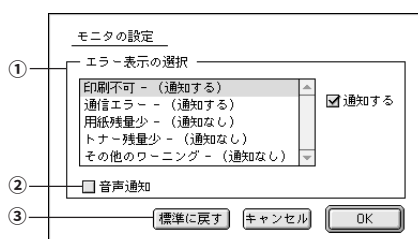
ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

- **消耗品詳細** ボタンをクリックすると「[詳細] ウィンドウ」に切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。
⇒本書「[詳細] ウィンドウ」111 ページ
- **閉じる** ボタンをクリックできる場合は、ポップアップウィンドウを閉じることができます。メッセージを読んだからウィンドウを閉じてください。
- **対処方法** ボタンがある場合は、クリックすると順を追って対処方法を詳しく説明します。



[環境設定] ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ³ を起動して、[ファイル] メニューから [環境設定] をクリックすると、[環境設定] ウィンドウが表示されます。EPSON プリンタウィンドウ³ の動作環境を設定できます。



① エラー表示の選択

プリンタがエラー状態に陥った場合、どのようなエラー状態のときに通知するかを選択します。通知が必要な項目は、リスト内のエラー状況を選択して、**通知する** ボタンをクリックします。

② 音声通知

チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、エラー発生時に音声でも通知します。



お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③ 標準に戻す

[エラー表示の選択] を標準 (初期) 設定に戻すには、**標準に戻す** ボタンをクリックします。



EPSONプリントモニタ!3

EPSONプリントモニタ!3は、Macintoshでバックグラウンドプリントを行うためのユーティリティです。このユーティリティは、プリンタドライバと同時にインストールされ、バックグラウンドプリントを実行すると自動的に起動します。

Mac

バックグラウンドプリントを行うには

バックグラウンドプリントとは、Macintoshがほかの作業を行いながら同時にプリンタで印刷を行うことです。Macintoshツールバー一番左の[アップル]メニューから[セレクト]を選び、[バックグラウンドプリント]の[入]をクリックしてください。



クリックします



ポイント

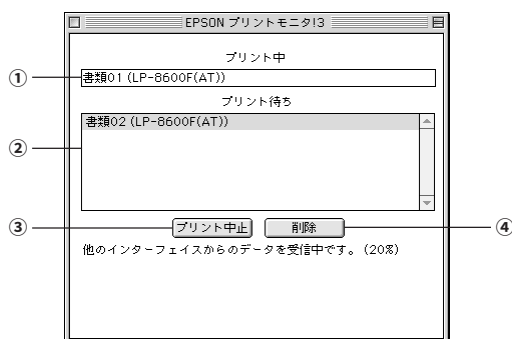
[バックグラウンドプリント] を [入] に設定すると、印刷実行中もMacintoshで他の作業ができますが、Macintoshによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が延びることがあります。印刷速度を優先する場合は、[バックグラウンドプリント] を [切] に設定してください。

印刷状況を表示する

[セレクト] で [バックグラウンドプリント] を [オン] にした場合、印刷実行時に EPSON プリントモニタ!3 が使用できます。

EPSON プリントモニタ!3 は、印刷中にツールバー一番右の [アプリケーション] メニューから開くことができます。ウィンドウが閉じているときは、[ファイル] メニューの [開く] を選択します。

Mac



① プリント中

現在バックグラウンドで印刷中のファイル名が表示されます。

② プリント待ち

印刷待ちをしている印刷ファイル名が表示されます。

③ プリント中止 ボタン

進行中の印刷を中止するには、[プリント中] に表示されている印刷ファイル名をクリックして、[プリント中止] ボタンをクリックします。



印刷を一時停止したり再開するには、EPSONプリントモニタ!3の [ファイル] メニューから [一時停止] や [印刷再開] を選択します。

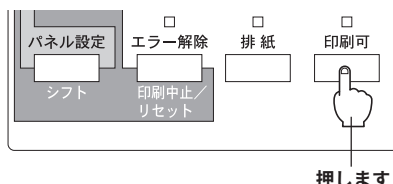
④ 削除 ボタン

印刷待ちをしている印刷ファイルを削除するには、[プリント待ち] に表示されている印刷ファイル名をクリックして、[削除] ボタンをクリックします。



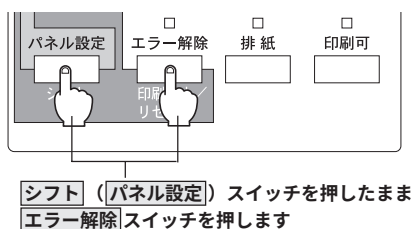
印刷の中止方法

- 1** プリンタの**印刷可**スイッチを押します。
印刷可ランプが消灯し、印刷不可状態になります。



Macintoshが印刷処理を続行しているときは、**コマンド (⌘) キー**を押しながら**ピリオド (.)**キーを押して、印刷を中止します。

- 2** **シフト**スイッチと**エラー解除**スイッチを同時に押します。
受信データが消去されます。
リセット後データランプが点滅点灯する場合は、印刷データがプリンタ内に残っています。他ユーザーの出力物でないことを確認して再度リセットしてください。



ポイント

シフトスイッチと**エラー解除**スイッチを5秒以上押し続けると、電源投入時の状態まで初期化(リセットオール)されますのでご注意ください。

📖 本書「リセットオールについて」158ページ



プリンタドライバの削除

何らかの理由でプリンタドライバを再インストールする場合や、プリンタドライバをバージョンアップする場合は、すでにインストールしているプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

1 起動しているアプリケーションソフトを終了します。

2 EPSON ESC/Pageプリンタソフトウェア CD-ROMを Macintosh にセットします。

3 [プリンタドライバのインストール] フォルダをダブルクリックして開きます。



ダブルクリックします

4 お使いのプリンタ（LP-8600F/8400F/8300F）のインストーライコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします

5 インストーラの画面左上にあるメニューから [削除] を選択します。



クリックして選択します

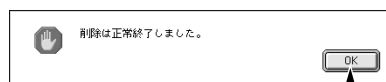
6 **削除** ボタンをクリックします。プリンタドライバの削除が始まります。



クリックします

Mac

7 **OK** ボタンをクリックします。



クリックします

8 **終了** ボタンをクリックします。
これでプリンタドライバの削除は終了です。



クリックします

第4章

DOSからの印刷

DOS

ここでは、DOS からの印刷について説明しています。

- DOS アプリケーションソフトでのプリンタ設定 .. 120
- EPSON Remote! (DOS/NetWare) 123



DOSアプリケーションソフトでのプリンタ設定

DOS

本プリンタをDOSアプリケーションソフトで使用する場合、プリンタドライバをインストールする必要はありません。

DOSアプリケーションソフトの場合、アプリケーションソフト上でプリンタの機種名を選択することにより、そのプリンタが使用可能になります。



ポイント

不適切なプリンタ機種名を選択した場合や、他のプリンタドライバで代用する場合は、本プリンタの機能を100%利用できない場合があります。

設定項目の名称や設定方法は、ご使用のアプリケーションソフトによっても異なりますが、多くの場合「プリンタ名の選択・設定」、[プリンタ設定]などの項目でプリンタ名を指定するようになっています。

詳しくはお使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

海外版アプリケーションソフトを使用する場合

海外版アプリケーションソフトを使用する場合は、次の優先順位でプリンタ名を選択します。

1	LQ-850/1050
2	LQ-510/1010
3	LQ-800/1000
4	LQ-1500



ポイント

- 画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されないときは、プリンタモードをESC/Pモードにしてください。
- 1行目の印刷位置が上すぎる場合は、プリンタの給紙位置の設定を22mmにしてください。
- 半角の記号がカタカナになる場合は、操作パネルで文字コード表を拡張グラフィックスにしてください。
📖 本書「設定項目の説明」134ページ
- アプリケーションソフトに関するお問い合わせはアプリケーションソフトの販売元または開発元にお問い合わせください。

国内版アプリケーションソフトを使用する場合

- 1 DOS アプリケーションソフトを起動します。
- 2 DOSアプリケーションソフトを操作して、プリンタの機種名を設定する画面を表示します。
使用しているDOSアプリケーションソフトの取扱説明書を参照して実行してください。
- 3 お使いのプリンタの機種名を選択します。
お使いのプリンタの機種名がない場合は、次の優先順位でプリンタ機種名を指定します。

DOS

ESC/Page プリンタが選択
できる場合

1	LP-8300/8400/8600
2	LP-8200
3	LP-9000
4	LP-1600
5	LP-8000/8000S/8000SE/8000SX
6	LP-8500
7	ESC/Page
8	LP-1500/1500S/2000/3000
9	LP-7000/7000G

ESC/Page プリンタが選択
できない場合

1	ESC/P-24-J84 ^{*1,*2}
2	VP-1000/4800/3000 ^{*1,*2}
3	ESC/P-24-J83 ^{*1,*2}
4	VP-135K/130K ^{*1,*2}
5	上記プリンタが見つからない場合は、PC-PR201Hなどのプリンタを選択します。 ^{*1,*3}

*1 : 1行目の印刷位置が上すぎる場合は、プリンタの給紙位置の設定を22mmにしてください。

半角の記号がカタカナになる場合は、文字コード表を拡張グラフィックスにしてください。

*2 : 画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されないときは、プリンタモードをESC/Pにしてください。

*3 : PC-PR201H を選択した場合、プリンタモードはESC/PS（購入時設定）でなければ印刷できません。

プリンタモードは、基本的にESC/PS（購入時設定のまま）で使用してください。
画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されない場合に限り変更してください。

DOSアプリケーションソフトでの印刷実行の流れ

DOS

1

レイアウトを指定して、文書を作成します。

文書を作成する前に、まず作成する文書のレイアウト（用紙サイズ、向きなど）をアプリケーションソフト上で指定します。アプリケーションソフトによって手順が異なりますので、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

2

印刷の設定をします。

印刷する用紙サイズや向き、給紙装置などを、アプリケーションソフト上で設定します。アプリケーションソフトで設定できないときは、EPSON Remote!でプリンタの設定を変更します。

📖 本書「EPSON Remote!(DOS/NetWare)」123 ページ

	設定方法	
	アプリケーション ^{*1}	EPSON Remote!
印刷前に必ず設定する項目	給紙方法、用紙サイズ、用紙方向	
必要に応じて設定する項目	コピー枚数、縮小、解像度	トレイ用紙サイズ

^{*1}：ソフトウェアで設定できないときは、操作パネルまたはEPSON Remote!で設定します。

3

印刷を実行します。

アプリケーションソフトから印刷を実行します。



EPSON Remote! (DOS/NetWare)

EPSON Remote!は、プリンタの設定をコンピュータから変更することができるユーティリティソフトです。DOS 版、NetWare 版の2種類を用意しています。ここではその概略を説明し、インストール方法や設定方法など詳しくは、EPSON ESC/Page プリンタソフトウェア CD-ROMに収められているそれぞれのテキストファイルを参照してください。

テキストファイルの確認方法

EPSON Remote!の取り扱いについてはCD-ROM内の「EPMANUAL.TXT」ファイルに記載されています。CD-ROMをコンピュータにセットしアプリケーションソフトなどでご確認いただくか、以下のコマンドを実行してご確認ください。

D:\>TYPE EPMANUAL.TXT | MORE

↑

CD-ROMまたはフロッピーディスクを
セットしたドライブ名です。

(□はスペースを意味します。)

キーを押すと、次ページに進みます。



フロッピーディスクの場合は「DISK8」をコンピュータにセットしてください。

ポイント

DOS版またはNetWare版EPSON Remote!

DOS 環境または NetWare 環境で利用できる EPSON Remote!は、それぞれの環境でプリンタの各種設定をコンピュータから変更することができるユーティリティソフトです。

- EPSON Remote!は、コンピュータを使用している環境に応じて、DOS 版、NetWare 版のどちらかを選んで使用します。

DOS 版 (98 用、DOS/V 用)	DOSアプリケーションソフトを使って印刷する場合に使用します。印刷の基本的な設定はアプリケーションソフトで行います。しかし、ソフトによっては一部設定が変更できないことがあります。そのような場合に、EPSON Remote!をご利用ください。
NetWare 版	NetWare 環境下で印刷する場合に使用します。NetWare 版 EPSON Remote!には、EPSON PC シリーズ / NEC PC-9800 シリーズ用の MS-DOS 版と、DOS/V コンピュータ用の DOS/V 版があります。クライアント側のシステムに合わせて選択してください。



NetWare 版 EPSON Remote!は、スーパーバイザ（ネットワーク管理者）による設定とクライアントマシン設定が必要です。インストールする場合は必ずスーパーバイザにご相談ください。

ポイント

- EPSON Remote!は、設定する内容や目的に応じて次のユーティリティを選択することができます。

DOS 版（98 用、DOS/V 用）	スタートアップユーティリティ
	設定ユーティリティ
	簡易設定ユーティリティ
NetWare 版	設定ユーティリティ
	簡易設定ユーティリティ

スタートアップユーティリティ

プリンタの初期設定値（電源投入時の設定）を変更するユーティリティです。すべての設定が変更できます。変更した内容はプリンタに記憶され、電源をオフにしても設定は保持されます。

設定ユーティリティ

使用頻度の高い項目に絞ったユーティリティです。設定した内容はプリンタに記憶され、電源をオフにしても設定は保持されます。



ポイント

スタートアップユーティリティと設定ユーティリティで同じ項目を設定した場合、後から設定した内容が有効になります。

簡易設定ユーティリティ

設定ユーティリティで設定した内容を実行ファイルとして保存しておき、印刷前に実行することができます。印刷する前にファイルの実行コマンドを実行するだけで、プリンタの各種設定を一度に変更できます。設定を変更しても、リセット / 電源オフ / プリンタモード変更のいずれかの操作によって変更前の状態に戻ります。

第5章

操作パネルでの設定

ここでは、操作パネルの設定について説明しています。

●操作パネルについて	126
●操作パネルでの設定方法	127
●設定項目の説明	134
●節電の設定方法	154
●ステータスシートの印刷	155
●16進ダンプ印刷	156
●リセット / リセットオールについて	157



操作パネルについて

操作パネル上のランプ、スイッチの名前と機能を説明します。

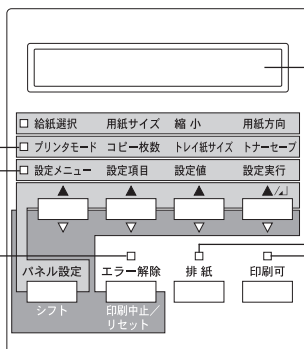
ランプ/ディスプレイ

操作パネル上のランプ、ディスプレイで現在のプリンタの状態がわかります。

ワンタッチ設定モードランプ
上：パネル設定モードがワンタッチ設定モード1のときに点灯します。
下：パネル設定モードがワンタッチ設定モード2のときに点灯します。

階層設定モードランプ
パネル設定モードが階層設定モードのときに点灯します。

エラー解除ランプ
エラー解除スイッチで解除可能なエラーが発生したときに点滅します。



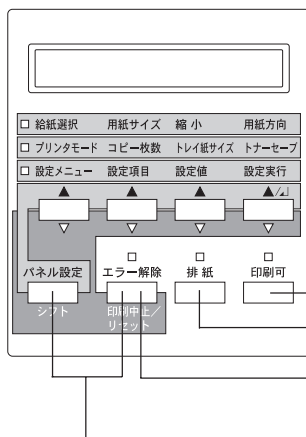
液晶ディスプレイ
各種メッセージや、パネル設定のためのメニュー、設定値などが表示されます。

データランプ
印刷データの受信中またはプリンタに印刷データが残っているときに点滅または点灯します。

印刷可ランプ
プリンタが印刷可状態のときに点灯します。

スイッチ

操作パネルのよく使うスイッチと、各スイッチの機能は以下の通りです。



印刷可スイッチ
印刷可 / 印刷不可状態を切り替えます。パネル設定モード中に押すと、パネル設定を終了し、印刷可状態にします。

排紙スイッチ
印刷不可状態でデータランプ点灯中にこのスイッチを押すと、プリンタ内に残ったデータを印刷、排紙します。

エラー解除スイッチ
エラー解除ランプ点滅中にこのスイッチを押すと、エラーを解除します。

印刷中止/リセットスイッチ (シフト + エラー解除 を同時に押します)

- 印刷を中止し、現在稼働中のインターフェイスで受信した印刷データを消去し (リセット)、同時にエラーも解除します。キャッシュに保存されたフォントや外字、フォームデータは記憶したままです。
- 約5秒間押し続けると、すべてのインターフェイスの受信データを消去しプリンタを初期化します (リセットオール)。キャッシュフォントや外字、フォームデータも消去します。

本書「リセット / リセットオールについて」157 ページ



操作パネルでの設定方法

ここでは操作パネルでの設定変更の方法について説明します。

操作パネルでの設定について

通常の印刷に必要な設定はプリンタドライバで実行できますので、基本的に操作パネルで設定する必要はありません。また、操作パネルとプリンタドライバの双方で設定できる項目は、プリンタドライバの設定が優先されます。

☞本書「設定項目の説明」134 ページ

設定項目の内容をご覧ください必要な場合のみ操作パネルで設定してください。

ただし以下の項目については通常の印刷であっても設定が必要です。

- 用紙トレイに「用紙トレイ紙サイズスイッチ」の設定値にないサイズ（A3、A4、B4、B5、Letter、ハガキ、Legal以外のサイズ）の用紙をセットした場合

→セットした用紙のサイズを設定してください。



ポイント

不定形紙・長尺紙の場合は設定する必要はありません。

- 用紙タイプの選択機能を使用する場合

→各給紙装置に用紙タイプを設定してください。

☞本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」13 ページ

操作パネルでの設定変更の注意事項

操作パネルで設定変更を行う場合、次の点に注意してください。

- 一部の項目および設定値については、それに関係するオプションが装着されているときのみ表示されます。
- 下記のメニューはプリンタの状態を表示するのみで、設定値は変更できません。

	設定メニュー	設定項目
現在のプリンタの状態を表示する項目	キョウツウメニュー	カセット1ヨウシサイズ カセット2ヨウシサイズ* カセット3ヨウシサイズ*
	キョウツウメニュー2	トナーザンリョウ ノベインサツマイスウ

*の付いている設定項目は、オプション装着時のみ表示されます（カセット3はLP-8600Fのみ）。

パネル設定モードの種類

操作パネルでの設定変更には、次の3つのモードがあります。
 ワンタッチ設定モード1/2は、使用頻度の高い項目の設定変更を簡単に行うためのモードです。
 階層設定モードは、すべての項目の設定変更を行うためのモードです。

モード	設定項目
ワンタッチ設定モード1	①給紙選択②用紙サイズ③縮小④用紙方向
ワンタッチ設定モード2	①プリンタモード②コピー枚数③トレイ紙サイズ④トナーセーブ
階層設定モード	すべての設定項目  本書「設定項目の説明」134 ページ

ワンタッチ設定モード1での設定方法

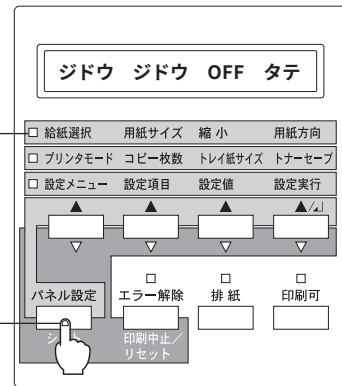
設定項目	設定項目の説明と注意事項
給紙選択	- 印刷時にどの給紙装置から給紙するか選択します。 〔ジドウ〕に設定すると、アプリケーションソフト側で指定している用紙サイズと同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から、給紙します。
用紙サイズ	- アプリケーションソフトで作成した印刷データの用紙サイズを選択します。 〔ジドウ〕に設定すると、〔給紙選択〕で設定した給紙装置にセットされている用紙のサイズが指定されたことになります。 〔給紙選択〕と〔用紙サイズ〕の両方を〔ジドウ〕に設定すると、アプリケーションソフト側の設定に従って給紙されます。アプリケーションソフト側で設定していない場合は、用紙カセット1にセットされている用紙が給紙されます。
縮小	印刷データを約80%にして印刷します。
用紙方向	〔用紙方向〕は、用紙に対して縦方向、横方向のどちらで印刷するかを指定する項目です。用紙を縦にセットするか、横にセットするかを指定する項目ではありません。

ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されている状態から、次の手順で操作します。

1 パネル設定 スイッチを1回押します。

ワンタッチ設定モード1
ランプが点灯します

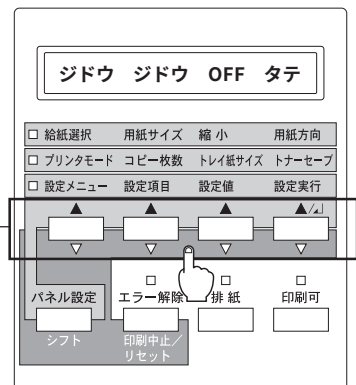
1回押します



2 設定を変更したい項目が割り当てられているスイッチを押します。

各スイッチを押すごとに、下表の順番で設定値が切り替わります。

いずれかのスイッチを
押して設定を変更します



スイッチ (割り当てられている設定項目)	設定値
設定メニュー スイッチ (給紙選択)	ジドウ→トレイ→カセット1→カセット2 ¹ →カセット3 ²
設定項目 スイッチ (用紙サイズ)	ジドウ→A4→A3→A5→B4→B5→ハガキ→LT→HLT→LGL→GLT→GLG→B→EXE→F4→MON→C10→DL→C5
設定値 スイッチ (縮小)	OFF→80%
設定実行 スイッチ (用紙方向)	タテ→ヨコ

*の付いている設定項目は、オプション装着時のみ表示されます(カセット3はLP-8600Fのみ)。



シフト スイッチを押しながらそれぞれのスイッチを押すと、上表と逆の順番に設定値が切り替わります。

3 設定を変更したら、「印刷可」スイッチを押します。

ワンタッチ設定モードが終了し、印刷可ランプが点灯して印刷可状態になります。

ワンタッチ設定モード2での設定方法

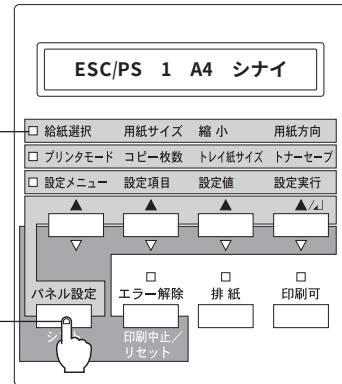
設定項目	設定項目の説明と注意事項
プリンタモード	• [プリンタモードメニュー] の [ワンタッチ] で設定したインターフェイスのプリンタモードを選択します。各モードの詳細は以下のページを参照してください。 本書「プリンタモードメニュー」 141 ページ • [プリンタモード] の初期設定は [パラレル] の [ESC/PS] です。コントロールコードがESC/PかPC-PR201Hかを自動判別するため、基本的には変更する必要はありません。 • 変更する必要があるのは次のような場合です。 ESC/P に変更する : 国内版DOSアプリケーションソフトを使用していて、画面とは違う文字が印刷される場合または、海外版DOSアプリケーションソフトを使用する場合 ESC/Page に変更する : 自作プログラムを使用する場合等
コピー枚数	• 印刷する枚数を設定します。(1 ~ 999)
トレイ紙サイズ	• 用紙トレイにセットした用紙サイズを [トレイ紙サイズスイッチ] で選択できない場合に設定します。 • 操作パネルで設定する場合、[トレイ紙サイズスイッチ] を [パネルで設定] に合わせてください。[パネルで設定] 以外に合わせると、操作パネルでの設定が有効になりません。 • [トレイ紙サイズスイッチ] の設定を [パネルで設定] 以外に合わせると、操作パネルの表示と実際の設定が異なって表示される場合があります。
トナーセーブ	• 黒ベタ部分の濃度を落とすことで、トナー消費量を節約します。

ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されている状態から、次の手順で操作します。

1 パネル設定 スイッチを2回押します。

ワンタッチ設定モード2
ランプが点灯します

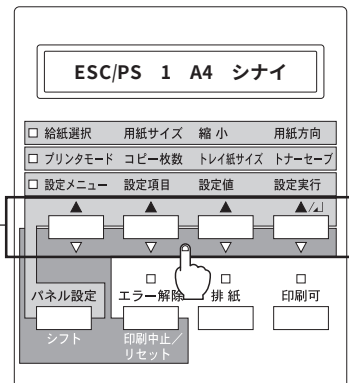
2回押します



2 設定を変更したい項目が割り当てられているスイッチを押します。

スイッチを押すごとに、下表の
順番で設定値が切り替わります。

いずれかのスイッチを
押して設定を変更します



スイッチ（割り当てられている設定項目）		設定値
設定メニュー	スイッチ（プリンタモード）	ESC/PS → ESC/P → ESC/Page → EP-GL* → AUTO
設定項目	スイッチ（コピー枚数）	1 ~ 999
設定値	スイッチ（トレイ紙サイズ）	A4 → A3 → A5 → B4 → B5 → ハガキ → LT → HLT → LGL → GLT → GLG → B → EXE → F4 → MON → C10 → DL → C5
設定実行	スイッチ（トナーセーブ）	シナイ → スル

*の付いている設定値は、オプションを装着している場合のみ表示されます。



シフト スイッチを押しながらそれぞれのスイッチを押すと、上表と逆の順番に設定値が切り替わります。

3 設定の変更が終了したら、「印刷可」スイッチを押します。

ワンタッチ設定モードが終了し、印刷可ランプが点灯して印刷可状態になります。

階層設定モードでの設定方法

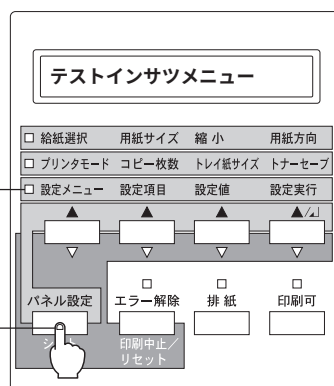
ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されている状態から、次の手順で操作します。

1 本書 134 ページ「設定項目の説明」を参照して、変更したい設定項目がどの設定メニューにあるかを確認します。

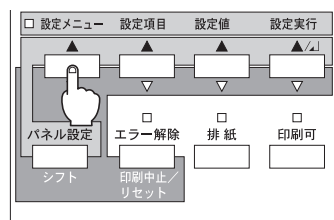
2 **パネル設定** スイッチを 3 回押します。
このときディスプレイには「テストインサツメニュー」と表示されます。

階層設定モードランプが点灯します

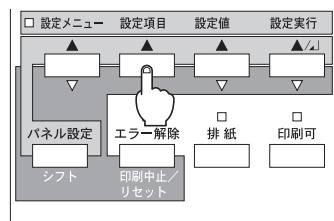
3 回押します



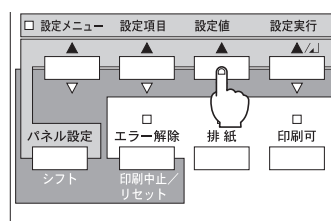
3 **1** で確認した設定メニューの名前が表示されるまで、**設定メニュー** スイッチを押します。



4 **1** で確認した設定項目の名前が表示されるまで、**設定項目** スイッチを押します。



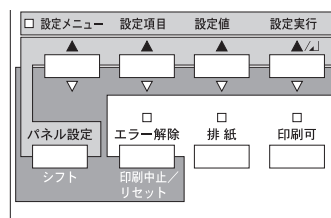
- 5 変更したい設定値が表示されるまで、**設定値**スイッチを押します。



ポイント

シフトスイッチを押しながら**設定値**スイッチを押すと、設定値の切り替わる順番が逆になります。

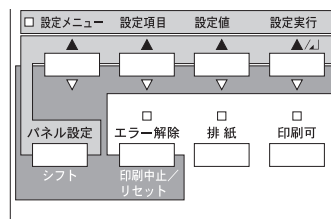
- 6 **設定実行**スイッチを押します。
変更した設定値が有効になります。



ポイント

設定実行スイッチを押さないと、設定値が有効になりません。必ず押してください。

- 7 **印刷可**スイッチを押します。
ディスプレイの表示が「インサツカノウ」になり、階層設定モードが終了します。





設定項目の説明

本機は、用途に合わせてさまざまな設定ができます。ここでは、設定変更できる項目と各項目の内容について説明します。



ポイント

- 操作パネルのディスプレイ上では、漢字やひらがなはすべてカタカナで表示されます。
- 機種によって利用できないオプション用の設定は表示されません。

で表示された項目は、プリンタドライバで設定可能な項目です。この項目の設定は、プリンタドライバの設定が優先されます。

設定メニュー	設定項目	参照ページ
テストインサツメニュー	ステータスシート	137
	オプション I/F 情報 ^{*1}	137
	ROM モジュール A 情報 ^{*2}	137
	ROM モジュール B 情報 ^{*2}	137
キョウツウメニュー	I/F 切り替え	137
	I/F タイムアウト	138
	節電	138
	トレイ用紙サイズ ^{*3}	138
	カセット 1 用紙サイズ	138
	カセット 2 用紙サイズ ^{*4}	138
	カセット 3 用紙サイズ ^{*4}	138
	トレイタイプ	139
	カセット 1 タイプ	139
	カセット 2 タイプ ^{*4}	139
	カセット 3 タイプ ^{*4}	139
	表示言語	139
キョウツウメニュー 2	設定初期化	139
	トナー残量	140
	トナー残量リセット	140
	のべ印刷枚数	140
プリンタモードメニュー	トナー交換エラー表示	140
	パラレル	141
	シリアル ^{*5}	141
	オプション ^{*1}	141
インサツメニュー	ワンタッチ	141
	給紙	142
	用紙サイズ	142
	用紙方向	142
	コピー枚数	142
	縮小	142
	解像度	142
	イメージ補正	143
	白紙節約	143
	自動排紙	143

設定メニュー	設定項目	参照ページ
デバイスメニュー	RIT	143
	トナーセーブ	143
	上オフセット	143
	左オフセット	144
	紙種	145
	用紙サイズフリー	145
	自動エラー解除 ページエラー回避	145 145
パラレルI/Fセッテイメニュー	ACK 幅	146
	双方向	146
	受信バッファ	146
シリアルI/Fセッテイメニュー ^{*5}	データ長	146
	ボーレート	146
	パリティビット	147
	ストップビット	147
	XON/XOFF ^{*6}	147
	ENQ/ACK ^{*6}	147
	DTR	147
	DSR	147
	受信バッファ	147
オプションI/Fセッテイメニュー ^{*1}	I/F ボード設定 ^{*7}	148
	IP アドレス設定 ^{*8}	148
	IP Byte 1 ^{*8}	148
	IP Byte 2 ^{*8}	148
	IP Byte 3 ^{*8}	148
	IP Byte 4 ^{*8}	148
	SM Byte 1 ^{*8}	148
	SM Byte 2 ^{*8}	148
	SM Byte 3 ^{*8}	148
	SM Byte 4 ^{*8}	148
	GW Byte 1 ^{*8}	148
	GW Byte 2 ^{*8}	148
	GW Byte 3 ^{*8}	148
	GW Byte 4 ^{*8}	148
	NetWare ^{*8}	149
	AppleTalk ^{*8}	149
	NetBEUI ^{*8}	149
	I/F ボード初期化 ^{*8}	149
	受信バッファ	149
ESC/PS キャンキョウメニュー	連続紙	150
	文字コード	150
	給紙位置	150
	各国文字	150
	ゼロ	150
	用紙位置	151
	右マージン	151
	漢字書体	151

設定メニュー	設定項目	参照ページ
ESC/Page キャンキョウメニュー	復帰改行	152
	改ページ	152
	CR	152
	LF	152
	FF	152
	エラーコード	152
	フォントタイプ	152
	フォームオーバーレイ ^{*9}	153
	フォーム番号 ^{*9}	153

- *1 : オプションのインターフェイスカード（レベル3のType-Bのみ）装着時のみ表示され、選択できます。
- *2 : オプションのROM モジュールが装着されていて、ROM モジュール内に情報があるときに表示され、印刷できます。フォントROM モジュール、EP-GL モジュール装着時は表示されません（LP-8300F は、ROM モジュール A のみ有効です）。
- *3 : プリンタ本体の [トレイ紙サイズスイッチ] を [パネルで設定] に合わせた場合、本項目で設定した用紙サイズが有効になります。
- *4 : オプションのカセットユニット装着時のみ表示されます。
カセット 3 の設定は、LP-8600F のみ有効です。
- *5 : LP-8300F にはシリアルインターフェイスはありませんので表示されません。
- *6 : XON/XOFF と ENQ/ACK は連動しており、一方が ON の時は、他方は表示されません。
また、EP-GL モジュール装着時は、ENQ/ACK=OFF になります。
- *7 : オプションのインターフェイスカードによっては表示され、印刷可能な状態になると設定が変更できなくなります。
- *8 : [I/F ボード設定] を [スル] に設定すると、設定が表示されて変更できるようになります。
オプションのインターフェイスカード（レベル3のType-Bのみ）装着時のみ表示され、選択できます。
- *9 : オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールが装着され、その ROM モジュールにフォームデータが登録されているときに表示され、選択できます。

テストインサツメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ステータスシート	現在のプリンタ設定の一覧（ステータスシート）を印刷します。
設定値		設定値はありませんので、 設定実行 スイッチを押して実行します。

設定項目	オプションI/Fジョウホウ	オプションのインターフェイスカード（レベル3のType-Bのみ）を装着したときだけ表示されます。オプションインターフェイスカードに関する情報を印刷します。
設定値		設定値はありませんので、 設定実行 スイッチを押して実行します。

設定項目	ROM モジュール A ジョウホウ	ROMモジュール用ソケットA/Bに装着されているオプションのROMモジュールにROMモジュール情報が存在するときだけ表示され、ROMモジュール情報を印刷します。
	ROM モジュール B ジョウホウ	
設定値		設定値はありませんので、 設定実行 スイッチを押して実行します。

キョウツウメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F キリカエ	自動切り替えモードか、単一のインターフェイスだけがデータを受信してプリンタを動作させるモードかのどちらかを指定します。単一のインターフェイスだけがプリンタを動作させるモードを選択した場合、他のインターフェイスはデータ受信を一切行いません。
設定値	ジドウ（初期設定値）	インターフェイス自動切り替えモードになります。
	パラレル	パラレルインターフェイスからのデータのみを受信します。
	シリアル	シリアルインターフェイスからのデータのみを受信します（LP-8300Fを除く）。
	オプション	オプションインターフェイスからのデータのみを受信します（オプション装着時）。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F タイムアウト	インターフェイスを自動切り替えで使用しているときの、タイムアウト時間を設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れたのち、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、タイムアウト時間中も別のインターフェイスはデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後にインターフェイスが切り替わります。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、作成途中でデータの受信が途切れていたページは、その時点で排紙されます。
設定値	20 ～ 600 ビョウ	(10 秒単位で設定可能 / 初期設定 60 ビョウ)

設定項目	セツデン	頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間（推奨設定 5 分）が経過すると節電状態になります。 節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまず数秒間ウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。
設定値	5 フン（初期設定）	節電状態になるまでの時間を 5 分に設定します。
	15 フン	節電状態になるまでの時間を 15 分に設定します。
	30 フン	節電状態になるまでの時間を 30 分に設定します。
	60 フン	節電状態になるまでの時間を 60 分に設定します。
	OFF	節電機能を使用しません。

設定項目	トレイヨウシサイズ	用紙トレイにセットした用紙サイズを指定または表示します。操作パネルで設定する場合には、プリンタ本体の [トレイ紙サイズスイッチ] を [パネルで設定] に合わせ、本項目で指定します。
設定値	A4（初期設定）、A3、A5、B4、B5、ハガキ、LT（Letter）、HLT（Half Letter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、GLG（Government Legal）、B（Ledger）、EXE（Executive）、F4、MON（Monarch）、C10（Commercial 10）、DL、C5	

設定項目	カセット 1 ヨウシサイズ	カセット 1（標準的用紙カセット）にセットされている用紙のサイズをディスプレイに表示します。
設定値		表示のみで変更はできません。[印刷可] スイッチを押して終了します。

設定項目	カセット 2 ヨウシサイズ	カセット 2（2 段めのオプション増設カセットユニット）にセットされている用紙のサイズをディスプレイに表示します。
設定値		表示のみで変更はできません。[印刷可] スイッチを押して終了します。

設定項目	カセット 3 ヨウシサイズ	カセット 3（3 段めのオプション増設カセットユニット）にセットされている用紙のサイズをディスプレイに表示します（LP-8600F のみ）。
設定値		表示のみで変更はできません。[印刷可] スイッチを押して終了します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	トレイタイプ	給紙装置ごとに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合に、各給紙装置ごと用紙のタイプを設定します。プリンタドライバで指定することにより同サイズの異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
設定値	普通紙、印刷済、レターヘッド、ボンド紙、再生紙、色付き、OHP フィルム、ラベル	

設定項目	カセット 1 タイプ	給紙装置ごとに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合に、各給紙装置ごと用紙のタイプを設定します。プリンタドライバで指定することにより同サイズの異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
設定値	普通紙、印刷済、ボンド紙、再生紙、色付き	

設定項目	カセット 2 タイプ カセット 3 タイプ	オプション増設カセットユニット装着時のみ表示されます。給紙装置ごとに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合に、各給紙装置ごと用紙のタイプを設定します。プリンタドライバで指定することにより同サイズの異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。 (カセット 3 の設定は、LP-8600F のみ有効)
設定値	普通紙、印刷済、ボンド紙、再生紙、色付き	

設定項目	ヒョウジゲンゴ	ディスプレイの表示を、日本語にするか、英語にするかを選択します。
設定値	ニホンゴ (初期設定)	日本語で表示します。
	English	英語で表示します。

設定項目	セッテイショキカ	プリンタのパネル設定値(インターフェイスの設定は除く ^{*1})をすべて初期化します(工場出荷時の設定に戻します)。
設定値		設定値はありませんので、 設定実行 スイッチを押して実行します。

*1 : インターフェイスの設定を含めたすべてのパネル設定値を初期化するには、**エラー解除**スイッチを押しながらプリンタの電源をオンにします。

キョウツウメニュー2

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	トナーザンリョウ	ET カートリッジ内のトナーの残量を表示します。 表示 E **** F : 100% ≥ トナー残量 > 75% E *** F : 75% ≥ トナー残量 > 50% E ** F : 50% ≥ トナー残量 > 25% E * F : 25% ≥ トナー残量 > 0% E F : トナー残量 = 0%
設定値		表示のみで変更はできません。 印刷可 スイッチを押して終了します。

設定項目	トナーザンリョウリセット	トナー残量算出用のカウンタをリセットします。
設定値		設定値はありませんので、 設定実行 スイッチを押して実行します。



ポイント

トナーザンリョウリセットは、ETカートリッジを交換したときにのみ実行してください。それ以外の場合に実行すると【トナーザンリョウ】の表示が誤ったものとなります。

設定項目	ノペインサツマイスウ	プリンタを購入してから現在にいたるまでに印刷した累計枚数をディスプレイに表示します。
設定値		表示のみで変更はできません。 印刷可 スイッチを押して終了します。

設定項目	トナーコウカン エラーヒョウジ	ET カートリッジのトナーがなくなったときに、メッセージを表示するかを設定します。
設定値	シナイ（初期設定）	トナー交換エラーを表示しません。
	スル	トナー交換エラーを表示します。

プリンタモードメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	パラレル シリアル オプション	プリンタが動作するモードをインターフェイスごとに設定します。LP-8300Fでは[シリアル]はありません。また、[オプション]はオプションのインターフェイスカード装着時のみ有効です。
設定値	ESC/PS (初期設定)	ESC/P スーパーモードになります。通常はこの設定で使用してください。 DOS アプリケーションソフトを使用する場合は、コンピュータから送られてきたコマンド(コントロールコード)がESC/Pであるか、PC-PR201Hであるかを自動判別します。 たいていのDOSアプリケーションソフトでは、ESC/Page モードへの移行がサポートされていますので、この設定で使用できます。
	ESC/P	ESC/P (VP-1000) エミュレーションモードになります。海外版DOSアプリケーションソフトを使用する場合や、国内版DOSアプリケーションソフトで、画面とは違う文字が印刷される場合などに設定します。
	ESC/Page	ESC/Pageモードになります。通常は設定する必要がありません。
	EP-GL	EP-GL モードになります。オプションの EP-GL モジュールが装着されている場合のみ表示され、選択できます。
	AUTO	受信したデータに合わせて、自動的にプリンタモードを設定します。
設定項目	ワンタッチ	ワンタッチ設定モード2の[プリンタモード]に割り当てるインターフェイスを選択します。
設定値	パラレル (初期設定)	パラレルインターフェイスに設定します。
	シリアル	シリアルインターフェイスに設定します (LP-8300Fを除く)。
	オプション	オプションのインターフェイスに設定します。(オプションのインターフェイスカード装着時のみ)

インサツメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	キューシ	給紙方法を選択します。
設定値	ジドウ（初期設定）	印刷時に指定したサイズの用紙がセットしてある給紙装置を自動的に探し、その給紙装置から給紙します。
	トレイ	用紙トレイから給紙します。
	カセット 1	標準の用紙カセット 1 から給紙します。
	カセット 2	オプション増設カセットユニットを装着している場合に 表示されます。 2 段目の用紙カセット 2 から給紙します。
	カセット 3	オプション増設カセットユニットを装着している場合に 表示されます。 3 段目の用紙カセット 3 から給紙します (LP-8600F のみ)。

設定項目	ヨウシサイズ	アプリケーションソフトで作成した書類(これから印刷する書類) の用紙のサイズを設定します。
設定値	ジドウ（初期設定）、A4、A3、A5、B4、B5、ハガキ、LT（Letter）、HLT（Half Letter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、GLG（Government Legal）、B（Ledger）、EXE（Executive）、F4、MON（Monarch）、C10（Commercial 10）、DL、C5	

設定項目	ヨウシホウコウ	用紙方向を選択します。[タテ] のとき、用紙の長辺を縦方向として印刷します。[ヨコ] のとき、用紙の長辺を横方向として印刷します。
設定値	タテ（初期設定）	印刷結果が縦長になる用紙方向で印刷します。 (ポートレート)
	ヨコ	印刷結果が横長になる用紙方向で印刷します。 (ランドスケープ)

設定項目	コピーマイスウ	同じデータを複数枚印刷する場合に、印刷する枚数を設定します。印刷するデータが何ページもある場合、ここで設定した枚数を印刷した後、次のページのデータを印刷します。
設定値	1～999（初期設定：1）	

設定項目	シュクショウ	印刷データを約 80% に縮小して印刷します。
設定値	80%	80% 縮小で印刷します。
	OFF（初期設定）	100% で印刷します。

設定項目	カイソウド	印刷の解像度の選択をします。
設定値	ハヤイ（初期設定）	300dpi で印刷します。
	キレイ	600dpi で印刷します。



ポイント

設定を [キレイ (600dpi)] にした場合、印刷するデータの容量が大きいと、メモリの不足で印刷ができないことがあります。このときは、[ハヤイ (300dpi)] で印刷してください。[キレイ (600dpi)] で印刷するためには、プリンタのメモリ増設が必要です。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	イメージホセイ	イメージデータ補正方式を選択します。
設定値	1 (初期設定)	標準の補正方式。
	2	ESC/P または ESC/PS モードのとき： 罫線が正しく印刷されないときに設定します。 ESC/Page モードのとき： 本機に対応していないドライバを使用していて、 グラフィックに問題があるときに設定します。

設定項目	ハクシセツヤク	印刷するデータがないまま排紙コマンド（FF=0CH 等）が送られた場合に、白紙ページを印刷しないようにし、用紙を節約します。
設定値	スル（初期設定）	白紙ページを印刷しません。
	シナイ	そのまま白紙ページを印刷（排紙）します。

設定項目	ジドウハイシ	印刷データによっては、最後に排紙コマンドを送らないものがあります。そのような場合、この自動排紙を行う設定にしておくことにより、I/F タイムアウトで設定した時間、プリンタが次のデータを受信しなかった場合に、プリンタ内に残っているデータを自動的に印刷して、排紙します。
設定値	スル（初期設定）	プリンタ内にデータがある場合、タイムアウト時間経過後、自動排紙します。
	シナイ	プリンタ内にデータが残っていても、自動排紙しません。

デバイスメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	RIT (Resolution Improvement Technology)	斜線や曲線などのギザギザをなめらかにする輪郭補正機能の ON/OFF を選択します。
設定値	ON (初期設定)	輪郭を補正します。
	OFF	輪郭を補正しません。

設定項目	トナーセーブ	トナーの消費量を削減します。トナーセーブを行うと、文字の輪郭内の黒ベタ領域をハーフトーンにし、輪郭部分（右、下）にエッジを付加します。
設定値	シナイ（初期設定）	トナーセーブ機能を使用しません。
	スル	トナー使用量を約 50%削減します。

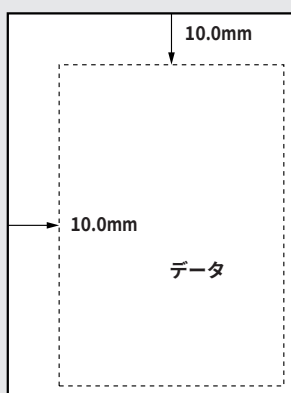
設定項目	ウエオフセット	用紙の上端に対して、印刷の開始位置を -30.0mm から 30.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm 以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部が印刷されないことがあります。
設定値	-30.0 ～ 30.0mm (0.5mm 単位)	(初期設定：0mm)

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ヒダリオffset	用紙の左端に対して、印刷の開始位置を -30.0mm から 30.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。
設定値	-30.0 ～ 30.0mm (0.5mm 単位)	(初期設定：0mm)



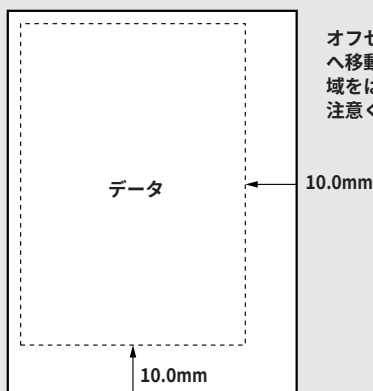
ポイント

例1) ウエオffset 10.0mm、ヒダリオffset 10.0mmに設定の場合



オフセットを設定しデータが各方向へ移動することで、データが印刷領域をはみだす場合がありますのでご注意ください。

例2) ウエオffset -10.0mm、ヒダリオffset -10.0mmに設定の場合



オフセットを設定しデータが各方向へ移動することで、データが印刷領域をはみだす場合がありますのでご注意ください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	カミシュ	紙の種類を選択します。
設定値	フツウ（初期設定）	普通紙、再生紙などを使用するときに選択します。
	アツガミ	ハガキ、封筒、ラベル紙などの特殊紙や厚紙を使用する場合に選択します。なお、用紙サイズをハガキか封筒サイズにした場合は、自動的にアツガミに切り替ります（表示は変わりません）。

設定項目	ヨウシサイズフリー	〔ヨウシコウカン xxxxx yyyy〕と〔ヨウシサイズエラー〕のエラーを表示するかしないかを設定します。
設定値	OFF（初期設定）	上記2つのエラーと警告を検出した場合、ディスプレイにメッセージを表示します。
	ON	上記2つのエラーと警告を表示しません。

設定項目	ジドウエラーカイジョ	エラーが発生したときに、自動的にエラー状態を解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。
設定値	シナイ（初期設定）	〔ページエラーオーバーラン〕、〔ヨウシコウカン〕、〔メモリオーバー メモリガタリマセン〕のエラーが発生したときに、エラー解除スイッチを押してエラー状態を解除しない限りプリンタの動作は停止し、処理を再開しません。
	スル	上記のエラーが発生したときに、メッセージを約5秒間表示後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。

設定項目	ページエラーカイヒ	複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷するとき、印刷動作に対し画像データ作成が追いつかないため、ページエラーが発生する可能性があります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。ただし、場合によっては印刷の所要時間が長くなりますので、通常の使用ではOFFに設定し、ページエラーが発生するときだけONに設定します。
設定値	ON	ページエラー回避機能を使用します。
	OFF（初期設定）	ページエラー回避機能を使用しません。



ポイント

ページエラー回避を〔ON〕にすると、〔メモリオーバー メモリガタリマセン〕エラーも回避できる場合があります。なお、ONにしても〔メモリオーバー メモリガタリマセン〕エラーが発生した場合は、メモリを増設してください（受信バッファの設定を〔サイショウ〕にすると、メモリを増設しなくてもエラーを回避できる場合があります）。

パラレルI/Fセッテイメニュー (パラレルインターフェイスの設定項目です)

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ACK ハバ	パラレルインターフェイスの ACK 信号のパルス幅を選択します。
設定値	ヒョウジュン	約 10 μ S に設定します。
	ミジカイ (初期設定)	約 1 μ S に設定します。

設定項目	ソウホウコウ	パラレルインターフェイスの双方向通信 (IEEE 1284 準拠) のモード設定を行います。
設定値	ニブル (初期設定)	双方向通信について、ニブルモードに対応します。
	ECP	双方向通信について、ECP モードに対応します。
	OFF	双方向通信を行いません。



ポイント

- [ニブル] [ECP] は、どちらも双方向通信のモードです。
- [ECP] に設定して使用するには、コンピュータのパラレルインターフェイスやアプリケーションソフトがECPモードに対応している必要があります。
- コンピュータやアプリケーションソフトで特に指定がない場合は [ニブル] に設定してください。

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン (初期設定)	搭載メモリを印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。



ポイント

【パラレルI/Fセッテイメニュー】の各項目の設定を変更した場合は、設定後に必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。

シリアルI/Fセッテイメニュー (シリアルインターフェイスの設定項目です)

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	データチョウ	シリアルインターフェイスの通信データ長を設定します。
設定値	8 ビット (初期設定)	データ長を 8 ビットにします。
	7 ビット	データ長を 7 ビットにします。

設定項目	ボーレート	シリアルインターフェイスのボーレート (通信速度) を設定します。
設定値	9600 (初期設定)、19200、38400、57600、76800、115200、300、600、1200、2400、4800bps	

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	パリティビット	シリアルインターフェイスのパリティチェックを設定します。
設定値	ナシ（初期設定）	パリティビットなし
	EVEN	偶数パリティ
	ODD	奇数パリティ

設定項目	ストップビット	シリアルインターフェイスのストップビットを選択します。
設定値	1 ビット（初期設定）	ストップビットを 1 ビットにします。
	2 ビット	ストップビットを 2 ビットにします。

設定項目	XON/XOFF	シリアルインターフェイスの通信時の XON/XOFF プロトコルを選択します。EP-GL モードで ENQ/ACK 設定が ON の場合は表示されません。
設定値	ON（初期設定）	XON/XOFF プロトコルを有効にします。
	OFF	XON/XOFF プロトコルを無効にします。

設定項目	ENQ/ACK	オプションの EP-GL モジュール装着時のみ表示されます。ENQ/ACK プロトコルを選択します。XON/XOFF 設定が ON の場合は表示されません。
設定値	OFF（初期設定）	ENQ/ACK プロトコルを無効にします。
	ON	ENQ/ACK プロトコルを有効にします。

設定項目	DTR	シリアルインターフェイスの通信時の DTR 信号の動作を選択します。
設定値	ON（初期設定）	DTR プロトコルを有効にします。
	OFF	DTR を常に "HIGH" (READY) に設定します。

設定項目	DSR	シリアルインターフェイスの通信時の DSR 信号の動作を選択します。
設定値	OFF（初期設定）	DSR 入力を常に "HIGH" (READY) とみなします。
	ON	DSR 入力 "LOW" のときは通信しません。

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	サイショウ（初期設定）	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。
	ヒョウジュン	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。



ポイント

【シリアル I/F セットイメニュー】の各項目の設定を変更した場合は、設定後に必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。

オプションI/Fセッテイメニュー (オプションインターフェイスの設定項目です)

オプションのインターフェイスカードを装着した場合のみ設定できる項目です。装着したインターフェイスによって、設定できる項目は異なります。(設定する必要のない項目は表示されません。)

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F ボードセッテイ	オプションのインターフェイスカードの設定を、操作パネルで行うか、行わないかを選択します。
設定値	シナイ	設定は行えません。プリンタが印刷可能な状態になると、自動的に [しない] に設定されてネットワークの設定項目は表示されなくなりますので、不用意に設定を変更できなくなります。
	スル	操作パネルでネットワークの設定を行うときに選択します。

設定項目	IP アドレスセッテイ	TCP/IP の IP アドレスの設定方法を選択します。[I/F ボードセッテイ] を [スル] に設定した場合に、選択できます。
設定値	パネル (初期設定)	[オプションI/Fセッテイメニュー] で設定した値を使用します。
	ジドウ	ネットワークから DHCP で IP アドレスを自動的に取得します。取得した IP アドレスは、プリンタに記憶されないため、電源をオフにすると無効になります。
	PING	ネットワークから DHCP で IP アドレスを自動的に取得します。取得した IP アドレスは、プリンタに記憶され、プリンタ電源のオン・オフまたはリセット後から有効となります。

設定項目	IP Byte 1 ～ IP Byte 4	TCP/IP の IP アドレスを、0 ～ 255 の範囲で設定します。[IP アドレスセッテイ] を [パネル] に設定した場合に、プリンタの電源をオン・オフまたはリセットした後から有効となります。
設定値	0 ～ 255	(初期設定値：0)

設定項目	SM Byte 1 ～ SM Byte 4	TCP/IP の Subnet Mask を、0 ～ 255 の範囲で設定します。[IP アドレスセッテイ] を [パネル] に設定した場合に、プリンタの電源をオン・オフまたはリセットした後から有効となります。
設定値	0 ～ 255	(初期設定値：0)

設定項目	GW Byte 1 ～ GW Byte 4	TCP/IP の Gateway アドレスを、0 ～ 255 の範囲で設定します。[IP アドレスセッテイ] を [パネル] に設定した場合に、プリンタの電源をオン・オフまたはリセットした後から有効となります。
設定値	0 ～ 255	(初期設定値：0)

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	NetWare	オプションのインターフェイスカードを装着したプリンタが NetWare 環境で使用できるかどうかを選択します。
設定値	ON (初期設定)	NetWare 環境で使用できます。
	OFF	NetWare 環境で使用できません。

設定項目	AppleTalk	オプションのインターフェイスカードを装着したプリンタが AppleTalk ネットワークで使用できるかどうかを選択します。
設定値	ON (初期設定)	AppleTalk ネットワークで使用できます。
	OFF	AppleTalk ネットワークで使用できません。

設定項目	NetBEUI	オプションのインターフェイスカードを装着したプリンタが NetBEUI を使用できるかどうかを選択します。
設定値	ON (初期設定)	NetBEUI を使用できます。
	OFF	NetBEUI を使用できません。

設定項目	I/F ボードショキカ	オプションのインターフェイスカードの設定を初期化します。
設定値		設定値はありませんので、 設定実行 スイッチを押して実行します。

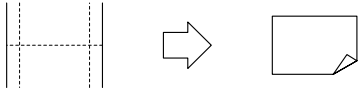
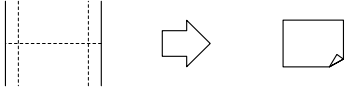
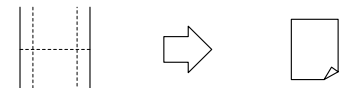
設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン (初期設定)	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。



ポイント

【オプション I/F セッテイメニュー】 の設定を変更した場合は、設定後に必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。

ESC/PSカンキョウメニュー (ESC/PSまたはESC/Pモードの設定項目です)

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	レンゾクシ	- ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。 - 連続紙用の印刷データを、単票用紙（カット紙）に縮小して印刷するかどうかを選択します。
設定値	OFF（初期設定）	縮小しません。
	F15 → B4 ヨコ	15インチ×11インチの連続紙へのデータをB4横長の用紙に縮小して印刷します。 
	F15 → A4 ヨコ	15インチ×11インチの連続紙へのデータをA4横長の用紙に縮小して印刷します。 
	F10 → A4 タテ	10インチ×11インチの連続紙へのデータをA4縦長の用紙に縮小して印刷します。 

設定項目	モジコード	- ESC/P用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 - 英数カナ文字コードを切り替えます。コード表については、別売のリファレンスマニュアルを参照してください。
設定値	カタカナ（初期設定）	カタカナコード表を選択します。
	グラフィック	拡張グラフィックスコード表を選択します。

設定項目	キュウシイチ	- ESC/P用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 - 用紙の印刷開始位置を選択します。
設定値	8.5mm（初期設定）	8.5mm にします。
	22mm	22mm にします。

設定項目	カックモジ	- ESC/PSモードでPC-PR201H用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 - 英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国に対応するかを選択します。
設定値	ニホン（初期設定）、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン	

設定項目	ゼロ	- ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。 - 英数カナ文字コードの「0」の書体を選択します。
設定値	0（初期設定）	「0」を選択します。
	ø	「ø」を選択します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ヨウシイチ	• ESC/PSモードでPC-PR201H用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 横方向の印字範囲（136 桁）の幅の中で、用紙をどの位置に合わせるかを選択します。中央を選択した場合は、さらにオフセット量を選択できます。アプリケーションソフトのプリンタ設定で P C - P R 2 0 1 H、シートフィーダを使用にしたときは、「チュウオウ」を選択してください。 なお、アプリケーションソフトの左右マージン設定によっては、左右の一部が印刷されない場合があります。このときは、アプリケーションソフトで左右マージンを大きく設定してください。
設定値	ヒダリ（初期設定）	左合わせに設定します。
	チュウオウ	中央合わせに設定します。
	チュウオウ -5	中央合わせで、オフセット量を -5mm にします。
	チュウオウ +5	中央合わせで、オフセット量を +5mm にします。

設定項目	ミギマージン	• ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 • 右マージンを選択します。
設定値	ヨウシハバ（初期設定）	使用する用紙の印刷可能領域いっぱいにします。
	136 ケタ	用紙サイズに関係なく 136 桁（13.6 インチ）にします。136 桁に満たない用紙に印刷するときは、用紙の印刷可能領域を超える部分を切り捨てます。

設定項目	カンジショタイ	• ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 • 漢字に使用する書体を選択します。
設定値	ミンチョウ（初期設定）	明朝体を選択します。
	ゴシック	角ゴシック体を選択します。
	セイカイショ *	正階書体を選択します。
	マルゴシック *	丸ゴシック体を選択します。
	キョウカショ *	教科書体を選択します。
	ギョウショ *	行書体を選択します。

* オプションのフォント ROM モジュールを装着した場合に表示されます。

ESC/Pageカンキョウメニュー (ESC/Pageモードの設定項目です)

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フッキカイギョウ	印刷データが右マージン位置を超えたときに、自動的に復帰改行して次の行の先頭から印刷を続けるかを選択します。
設定値	スル (初期設定)	自動復帰改行動作をします。
	シナイ	自動復帰改行動作をしません。
設定項目	カイページ	印刷データが改行のため下マージン位置を超えたときに、自動的に改ページして次のページに印刷を続けるかを選択します。
設定値	スル (初期設定)	自動改ページ動作をします。
	シナイ	自動復帰改行動作をしません。
設定項目	CR	CR の動作を選択します。
設定値	CR ノミ (初期設定)	CR (復帰) 動作のみを行います。
	CR+LF	CR (復帰) と同時に LF (改行) 動作も行います。
設定項目	LF	LF (改行) の動作を選択します。
設定値	CR+LF (初期設定)	LF (改行) と同時に CR (復帰) 動作も行います。
	LF ノミ	LF (改行) 動作のみを行います。
設定項目	FF	FF (改ページ) の動作を選択します。
設定値	CR+FF (初期設定)	FF (改ページ) と同時に CR (復帰) 動作も行います。
	FF ノミ	FF (改ページ) 動作のみを行います。
設定項目	エラーコード	文字コード表にない文字を受けたときの処理を選択します。
設定値	OFF (初期設定)	無視します。
	ON	スペースに置き換えます。
設定項目	フォントタイプ	「幅」対「高さ」が1対2の文字サイズが指定されたとき、2バイト系文字の全角フォントと半角フォントの優先度を選択します。
設定値	1 (初期設定)	15ポイント未満は半角フォントを優先し、15ポイント以上は全角文字を優先して印刷します。
	2	全角フォントを優先して印刷します。
	3	半角フォントを優先して印刷します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フォームオーバーレイ *	フォームオーバーレイを実行する/しないを選択します。オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールが装着され、そのROM モジュールにフォームデータが登録されているときに表示され、選択できます。
設定値	OFF (初期設定)	フォームオーバーレイを実行しません。
	ON	フォームオーバーレイを実行します。ここで設定すると、ESC/P モードでも実行されます。

設定項目	フォームバンゴウ *	実行するフォームオーバーレイの番号を選択します。フォームデータが書き込まれたフォームオーバーレイ ROM モジュールが装着されている場合に表示されます (オプション装着時)。
設定値	1 ~ 512	フォームオーバーレイ ROM モジュールを ROM モジュール用ソケット A/B 両方に装着している場合、フォームデータの番号はソケットA→ソケットBの順番で設定されます。(初期設定: 1)

* フォームデータの作成/使用方法や、フォームオーバーレイ ROM モジュールへの登録方法については、オプションの「フォームオーバーレイユーティリティ (EPSON Form!3以上)」、
「フォームオーバーレイ ROM モジュール」に添付の取扱説明書を参照してください。



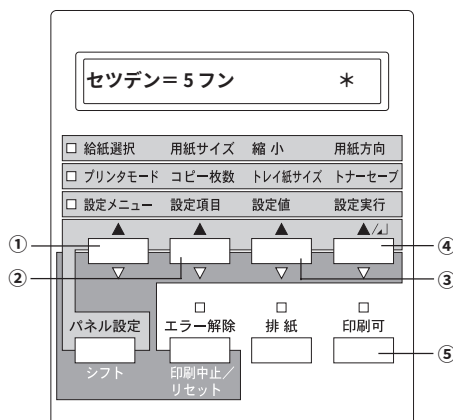
節電の設定方法

節電機能を使用すると、印刷待機時の消費電力を節約することができます。
設定の手順は次の通りです。



ポイント

- 初期設定値は、節電状態に入るまでの時間が5分に設定されています。
- 変更した設定は、すべてのインターフェイスに対して有効です。
- 節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行いますので、印刷開始まで数秒かかります。



1 **設定メニュー** スイッチを数回押して、ディスプレイに「キョウツウメニュー」を表示させます。

2 **設定項目** スイッチを数回押して、ディスプレイに「セツデン= 5 フン」を表示させます。

3 **設定値** スイッチを押し、設定を変更します。
設定値 スイッチを押すたびに、値が切り替わります。

5 フン→ 15 フン→ 30 プン→ 60 プン→ OFF

4 **設定実行** スイッチを押して設定値を確認します。
設定を確認（実行）すると、*（アスタリスクマーク）が表示されます。

5 **印刷可** スイッチを押します。
印刷可 ランプが点灯し、印刷可状態になります。



ステータスシートの印刷

ステータスシートは、プリンタの現在の状態や設定値を印刷したものです。ステータスシートを印刷することにより、プリンタの現在の情報が得られます。Windows の場合、ステータスシートはプリンタドライバからも印刷できます。

📖 本書「[環境設定] ダイアログ」44 ページ



ポイント

ステータスシートの印刷は、次の場合に行います。

- プリンタの動作に異常がないかを確認する場合。
- プリンタの現在の設定状態を確認したい場合。
- プリンタにオプションを装着した場合（装着したオプションが正しく認識されていれば、ステータスシートの印刷内容に、そのオプションが追加されます）。

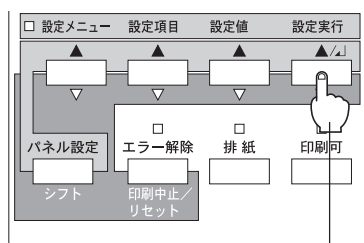
1

プリンタに用紙をセットして、電源をオン(I)にし、印刷可状態にします。印刷可ランプが点灯します。

2

設定実行 スイッチを押します。

ディスプレイに「ステータスシート」と表示されます。



1 回押します

3

もう一度 **設定実行** スイッチを押し、ステータスシートを印刷します。

- ディスプレイの表示が点滅し、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒時間がかかります）。
- 印刷が終了すると印刷可ランプが点灯します。

ステータスシートがうまく印刷されないときは、本書「困ったときは」を参照してください。

📖 本書「困ったときは」197 ページ



16進ダンプ印刷

16進ダンプは、コンピュータから送られてきたデータを16進数とそれに対応する英数文字で印刷する機能です。コンピュータからプリンタへ正しくデータが送られているかどうか確認できるので、自作プログラムのチェックなどに使うと便利です。

- 1** プリンタに用紙をセットして、電源がオフ(○)であることを確認します。
プリンタに用紙がセットされていない場合は、用紙をセットしてください。
- 2** **排紙**スイッチを押しながら、電源をオン(Ⅰ)にします。
ディスプレイに「ヘキサダンプ」と表示されるまで**排紙**スイッチを押し続けます。
スイッチから手を離すとディスプレイに以下のように表示され、16進ダンプモードに入ります。

ヘキサダンプ

- 3** コンピュータからプリンタへデータを送ります。
プリンタは送られてきたデータを16進数とそれに対応する英数文字などで印刷します。



印刷中は電源をオフ(○)にしないでください。用紙詰まりの原因になります。

ポイント

- 4** 印刷が終了したら、データランプが消灯していることを確認します。
データランプが点灯している場合、プリンタ内に印刷されていないデータが残っています。この場合は**印刷可**スイッチを押して印刷不可状態にした後、**排紙**スイッチを押すと、プリンタ内のデータが印刷されて排紙されます。
- 5** 16進ダンプの印刷が終了したら、16進ダンプモードを解除します。
電源をオフ(○)にする、またはリセットオールすると、次の電源オンからは通常のモードで起動します。



リセット/リセットオールについて

リセットについて

リセットを行うと、プリンタは印刷を中止します。

また、現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。キャッシュ^{*1}されたフォントは記憶しています。

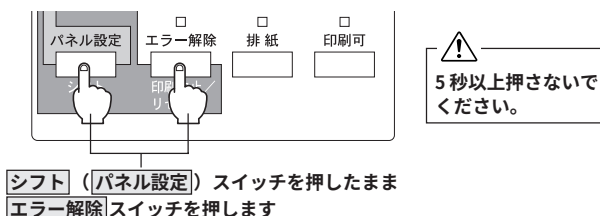
次のような場合、リセットを行ってください。

- 同一のデータを複数枚コピー印刷している時の、印刷のキャンセル
- 不正なデータ（画面とは違う文字など）が印刷され始めたときの、印刷の中止
- ディスプレイに「リセットシテクダサイ」と表示されたとき

*1 キャッシュ：一度印刷したフォントをメモリに記録しておき、再びそのフォントが必要な時は記録したフォントを使用することで印刷を高速化する手法。

リセットの仕方

シフト スイッチ（**パネル設定** スイッチ兼用）を押したまま **エラー解除** スイッチを押します。スイッチを5秒以上押したままにするとリセットオールされてしまいますので、注意してください。



ポイント

プリンタが印刷データの処理をしているとき、あるいは一部のDOSアプリケーションソフトで印刷中もしくは印刷データ待ちのときにパネル設定を変更すると、「リセットシテクダサイ」と表示されることがあります。このときに正しくリセットを行わないとパネル設定で変更した内容が有効になりません。設定の変更は印刷データ処理終了後、またはリセット後に実行してください。

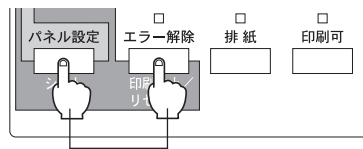
リセットオールについて

リセットオールを行うと、プリンタは印刷の中止を行います。
プリンタは電源をオン(1)にした直後の状態まで初期化され、すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データの破棄とキャッシュに保存されたフォントを消去します。
次のような場合、リセットオールを行ってください。

- いずれかのインターフェイスの[受信バッファサイズ]の設定を変更した場合

リセットオールの仕方

シフト スイッチ (**パネル設定** スイッチ兼用) を押したまま **エラー解除** スイッチを、ディスプレイに「リセットオール」と表示されるまで (約5秒間) 押したままにします。



シフト (**パネル設定**) スイッチを押したまま
エラー解除 スイッチをディスプレイに
「リセットオール」と表示されるまで (5 秒間)
押したままにします

第6章

オプションと消耗品について

ここでは、オプションと消耗品について説明しています。

- オプションと消耗品の紹介 160
- 通信販売のご案内 168
- 増設メモリ /ROM モジュールの取り付け 169
- インターフェイスカードの取り付け 176
- オプション装着時の設定 178



オプションと消耗品の紹介

パラレルインターフェiskeーブル

使用するパラレルインターフェiskeーブルは、コンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるパラレルインターフェiskeーブルは、次の通りです。

	メーカー	機 種	接続ケーブル	備考
DOS/V 系	EPSON	DOS/V 仕様機	PRCB4N	—
	IBM、富士通 東芝、他各社			
	NEC	PC-98NX シリーズ		
98 系	EPSON	EPSON PC シリーズデスクトップ	#8238	*1*2
		EPSON PC シリーズ NOTE	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用 ください。	*1*2
	NEC	PC-9821 シリーズ （ハーフピッチ 36 ピン）	PRCB5N	*1
		PC-9801 シリーズデスクトップ （14 ピン）	#8238	*1*2*3
		PC-9801 シリーズ NOTE （ハーフピッチ 20 ピン）	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用 ください。	*1*2*3

* 1：拡張漢字（表示専用 7921～7C7E）は印刷できません。

* 2：Windows95/98の双方向通信機能およびEPSONプリンタウィンドウ!3は、コンピュータの機能制限により対応できません。

* 3：ハーフピッチ 36 ピンのコンピュータには PRCB5N をご使用ください。



ポイント

- NEC PC-98LT/DO シリーズとは接続できません。
- NEC PC-9801LV/LX/LS/N シリーズはNEC製の専用ケーブルを使用してください。
- 富士通 FM/R、FM TOWNS は富士通製の専用ケーブルを使用してください。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。
- ECP モード対応コンピュータを ECP モードで接続する場合、PRCB4N をご使用ください。

シリアルインターフェースケーブル

パラレルインターフェースケーブルに他の周辺機器などを接続している場合には、シリアルインターフェースケーブルで接続することができます（LP-8300Fを除く）。シリアルインターフェイスでの接続には、クロスケーブル（リバースケーブル）が必要になります。



ポイント

クロスケーブルとはケーブルの両端で送信用/受信用の端子が入れ替わっているケーブルです。2台のコンピュータのシリアルインターフェイス同士を接続してデータのやりとりを行う場合などに使用します。

メーカー	コンピュータ	接続ケーブル
EPSON	EPSON PC シリーズデスクトップ (98 互換) 25 ピン-25 ピン	PRCB7 (RS-232C クロスケーブル)

上記以外のコンピュータについては、各コンピュータの取扱説明書を参照の上、お問い合わせください。



ポイント

シリアルインターフェイスで接続した場合、コンピュータ側とプリンタ側のシリアルインターフェイスに関する設定を合わせる必要があります。プリンタ側では、操作パネルで設定変更を行います。
📖 本書「操作パネルでの設定方法」127 ページ
コンピュータ側でのシリアルインターフェイスの設定については、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

用紙カセットユニット

オプションの用紙カセットユニットをプリンタ下部に装着できます。機種によって装着できるオプションが異なります。

LP-8600F: ユニバーサルカセットユニットを2段装着するか、ユニバーサルカセットユニットと大容量カセットユニットを2段に重ねて装着できます。

LP-8400F/8300F: 下記オプションどちらかを最大1段装着できます。

型番	商品名	備考
LPUC1	ユニバーサルカセットユニット (標準で付いているカセットユニットと同じ型です)	使用できる用紙サイズ: A3、A4、B4、B5、A5、 Letter (LT)、Legal (LGL) 用紙カセット容量: 最大 250 枚 (普通紙 64g/m ²)
LPDC6	大容量カセットユニット	使用できる用紙サイズ: A4 のみ 用紙カセット容量: 最大 500 枚 (普通紙 64g/m ²)

* LP-8600F に 2 段分の用紙カセットを装着するには、LPUC1 を 2 段重ねするか、LPDC6 の上に LPUC1 をセットし、その上にプリンタ本体を載せます。

型番	商品名	備考
LPSC1	ユニバーサルショートカセット (標準の用紙カセットまたはオプション (LPUC1/LPDC6) の用紙カセットと差し替えて使用します)	使用できる用紙サイズ: A4、A5、B5、Letter 用紙カセット容量: 最大 250 枚 (普通紙 64g/m ²)

インターフェイスカード

プリンタに標準装備されていないインターフェイスを使用したい場合や、インターフェイスを増設したい場合に使用します。

設定などについてはそれぞれのカードの取扱説明書を参照してください。

型番	名称	解説
PRIF4	シリアルI/Fカード (バッファ：32KB)	本機をシリアルで接続するためのオプションです。
PRIF5E	IEEE1284 双方向 パラレルI/Fカード	本機にIEEE1284規格準拠の双方向パラレルインターフェイスをもう1つ増設するためのオプションです。
PRIFNW1S	マルチプロトコル Ethernet I/Fカード	IPX/SPX (NetWare, Windows95/98/NT4.0/NT3.51)、TCP/IP (Windows95/98/NT4.0/NT3.51)、AppleTalk (Macintosh)、NetBEUI (Windows95/98/NT4.0/NT3.51、OS/2 Warp) に対応しています。
PRIFNW2S	100Base-TX マルチプロトコル Ethernet I/Fカード	本機をEthernet接続するためには、次のいずれかのケーブルが必要です。 PRIFNW1S: Ethernet 10BASE2: THIN (シン) 同軸ケーブル Ethernet 10BASE-T: ツイストペアケーブル PRIFNW2S: Ethernet シールドツイストペアケーブル(カテゴリー5)

Macintosh接続用オプション

アップルコンピュータ社 Macintosh シリーズにエプソンプリンタを接続して使用するためのオプションとして以下のものがあります。

型番	名称	解説
ELINK3	EPSON Link3	Macintoshの各機種に簡単に接続できるシリアル・パラレル変換アダプタです。 取り付け方についてはEPSON Link3の取扱説明書を参照してください。
PRIFNW1S	マルチプロトコル Ethernet I/Fカード	IPX/SPX (NetWare, Windows95/98/NT4.0/NT3.51)、TCP/IP (Windows95/98/NT4.0/NT3.51)、AppleTalk (Macintosh)、NetBEUI (Windows95/98/NT4.0/NT3.51、OS/2 Warp) に対応しています。
PRIFNW2S	100Base-TX マルチプロトコル Ethernet I/Fカード	本機をEthernet接続するためには、次のいずれかのケーブルが必要です。 PRIFNW1S: Ethernet 10BASE2: THIN (シン) 同軸ケーブル Ethernet 10BASE-T: ツイストペアケーブル PRIFNW2S: Ethernet シールドツイストペアケーブル(カテゴリー5)

EP-GLモジュール

EP-GLモジュールは、本来はプロッタ（図表出力装置）で出力するデータをプリンタで出力できるようにするためのROMモジュールです。

EP-GLモジュールを装着すると、プロッタ言語のEP-GLモードをエミュレートします。これにより本プリンタをHewlett-Packard社のHP-7550Aプロッタの代わりに使用することができます。

EP-GLモジュールは、本製品のROMモジュール用ソケットA/B*のどちらかに装着します。

* LP-8300FはソケットAのみ

型番	商品名
LPEPGL3	EP-GLモジュール



ポイント

EP-GLモジュールをご利用の際は、メモリの増設（最低32MB）をお薦めします。

標準搭載メモリでは「はやい（300dpi）」の設定でA3サイズまでの印刷が可能です。

増設メモリ

*1 DIMM：
Dual In-line
Memory Module
の略。
複数個のメモリ
チップを搭載した
基板。SIMMより
も高速にメモリ
にアクセスできる。

本プリンタは、市販のDIMM*¹を使用することにより、内部メモリを増設することができます。使用できるメモリの詳細については、FAXインフォメーションをご利用いただくかインフォメーションセンターまでお問い合わせください。お問い合わせ先は、巻末をご覧ください。

メモリの仕様	最大メモリ容量
DIMM • DRAMタイプ：SDRAM（シンクロナスDRAM） • 容量：32MB、64MB、128MB、256MB • 形状：168ピンDIMM（デュアルインラインパッケージジ） • データバス幅：64bit • SPD*²：あり	256MB

*2 SPD（Serial
Presence Detect）：
メモリの持つパ
フォーマンスや
メモリのタイプ
容量などの情報
をメモリ内に格
納しておく機能。
BIOSによっては
この情報に従っ
てパラメータを
自動設定するこ
とができる。

メモリを増設することにより、複雑な印刷データも高解像度で印刷できるようになります。また、コンピュータを印刷処理から早く解放したり、アウトラインフォント使用時の処理を高速化できます。



ポイント

- 標準のメモリ（8MB）と増設メモリの合計が最大メモリ容量（256MB）より大きい場合、最大メモリ容量を超えた分のメモリは使用されません。また、ステータスシートや操作パネルにも表示されません。
- 標準搭載のメモリを取り外すことはできません。

フォントROMモジュール

オプションのフォントROMモジュールです。機種によって装着できる枚数が異なります。

LP-8600F/8400F : 2枚装着できます。

LP-8300F : 1枚装着できます。

型番	商品名
LPFR1	正楷書体アウトラインフォントROMモジュール
LPFR2	行書体アウトラインフォントROMモジュール
LPFR3	教科書体アウトラインフォントROMモジュール
LPFR4	丸ゴシック体アウトラインフォントROMモジュール
LPFR5	太角ゴシック体・太明朝体アウトラインフォントROMモジュール
LPFR6	太丸ゴシック体アウトラインフォントROMモジュール
LPFR7	太行書体アウトラインフォントROMモジュール
LPFROCB	OCRフォント/バーコードROMモジュール

フォームオーバーレイユーティリティソフト

フォームオーバーレイとは、フォーム（書式）とデータを個々に作成し、両者を重ね合わせて印刷することを指します。フォームとデータを同時に印刷するため、フォームが印刷済みの用紙を用意しなくても帳票などを印刷することができます。

フォームオーバーレイユーティリティソフトは、フォームデータを作成、登録するためのユーティリティです。作成したフォームデータを使用しての印刷はWindowsプリンタドライバ上で行います。

型番	商品名
EPFORM4	EPSON Form!4 (Windows95/98/NT4.0上で使用可能)

フォームオーバーレイROMモジュール

オプションのフォームオーバーレイユーティリティ (EPSON Form!3以上) で作成したフォームデータ (書式のデータ) を登録するための ROM モジュールです。

フォームオーバーレイ ROM モジュールに登録したフォームデータは、Windows プリンタドライバ上および DOS アプリケーションソフト上で呼び出して使用できます。

フォームオーバーレイ ROM モジュールからフォームデータを呼び出す場合、ROM モジュールソケット A/B* どちらに装着してもかまいません。フォームオーバーレイ ROM モジュールにフォームデータを登録する場合は、ROM モジュール用ソケット A に装着したフォームオーバーレイ ROM モジュールに対してのみ可能です。

* LP-8300F はソケット A のみ

型番	商品名
LPFOLR1M	フォームオーバーレイ ROM モジュール (1MB)
LPFOLR4M	フォームオーバーレイ ROM モジュール (4MB)

リファレンスマニュアル

プリンタ制御コマンドの説明書です。コントロールコードを使用してプログラムを作成する方を対象としています。

商品名
ESC/Page リファレンスマニュアル
ESC/P リファレンスマニュアル

エプソン日本語ページプリンタ用「EPSON Remote モード」についての説明書です。EPSON Remote モード (P) コマンドを使用してプログラムを作成する方を対象としています。

商品名
EPSON Remote モード (P) リファレンスマニュアル



ポイント

上記マニュアルにつきましてはエプソン OA サプライ (株) にてお取り扱いをしています。巻末のFAX注文書にてご注文していただきますようお願い申し上げます。

ETカートリッジ

印刷用トナーとドラムが一体になったカートリッジです。
交換の仕方については「ETカートリッジの交換」(本書182ページ)を参照してください。ETカートリッジの寿命は約6,000枚(A4画占率5%)です。

型番	商品名
LPA3ETC4	ETカートリッジ
LPA3ETC4P	ETカートリッジ(2個パック)

専用キャビネット

消耗品や用紙の保管に最適な専用キャビネット(キャスタ付き)です。

型番	商品名	備考
LPCBN1	専用キャビネット	サイズ: 580mm(W) × 650mm(D) × 520mm(H) キャスタ付き



通信販売のご案内

EPSON製品の消耗品・オプション・マニュアルがお近くの販売店で入手困難な場合は、以下の通信販売をご利用ください。

お申し込み方法

巻末の「消耗品 FAX 注文書」をコピーし、必要事項をご記入のうえ FAX にてご注文ください。また、お電話・インターネットでのご注文もお受けしております。

エプソン OA サプライ株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-5-12 タカラビル 2F

ファックス番号 : 0120-55-7765 (フリーダイヤル FAX)
: 03-3258-7690

ご注文電話番号 : 0120-25-1528 (フリーダイヤル)
: 03-3255-1528

インターネット URL アドレス : <http://www2.i-love-epson.co.jp/eos/home>

※ 電話番号のおまちがいにご注意ください。また、消耗品、オプション、マニュアル以外のお問い合わせにはお答えしかねる場合がございますので、あらかじめご了承くださいようお願いします。

お届け方法

宅配便の代金引き換えにてお届けしております。

※商品がお手元に配達された時、その配達員にお代金を現金にてお支払いいただくシステムです。

お支払い方法

代金引き換え（商品引き換え払い）をお願いいたします。

※一部地域によって代金引き換えが不可能な場合等は、別途ご相談させていただきます。

料金システム

- ・ 商品合計金額が 5000 円未満の場合……………商品代金＋消費税＋送料
- ・ 商品合計金額が 5000 円以上の場合……………商品代金＋消費税のみ

※送料は消費税を含み、全国一律 525 円です。

※配送は国内に限らせていただきます。

なお、ご注文いただいた商品の在庫がない場合は、メーカーよりの取り寄せとなり、納品までにお時間がかかる場合がございます。

また、メーカーにて完売となりました商品につきましては、お取り寄せができませんので、あらかじめご了承くださいようお願いします。



増設メモリ/ROMモジュールの取り付け

ここでは、増設メモリ /ROM モジュールの取り付け方法について説明します。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。



増設メモリ/ROMモジュールの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

1

プリンタの電源をオフ(○)にします。

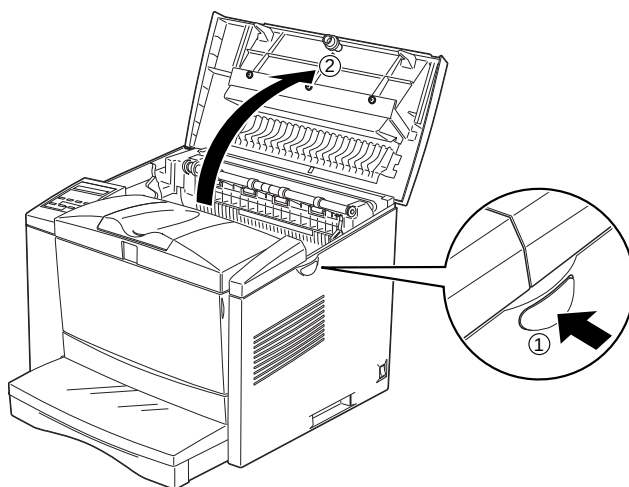
電源ケーブルとインターフェースケーブルが接続されている場合は取り外します。

⚠ 注意

- 作業の際には、必ず電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。また、電源ケーブルとインターフェースケーブルを必ずプリンタから取り外してください。
- インターフェースケーブルをプリンタから取り外す際には、必ずコンピュータの電源もオフにしてから取り外してください。

2

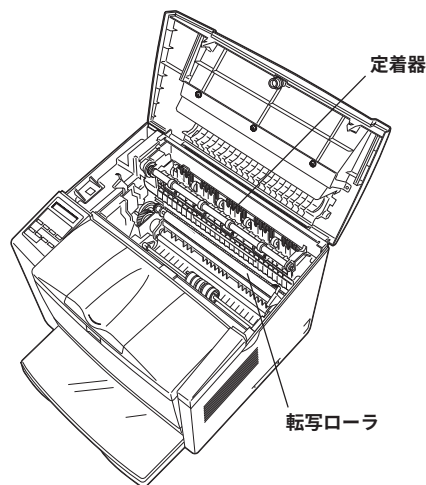
ラッチを押して、上カバーを開けます。



⚠ 注意

カバーを開けたとき、次の部分に手を触れないようご注意ください。

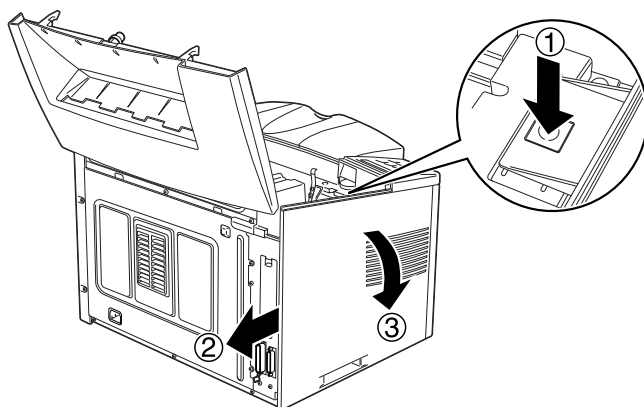
- 定着器部分（内部は高温のため火傷の原因になります）
- 転写ローラ部分（印刷品質劣化の原因になります）



3

プリンタ正面から見て左側のカバーを外します。

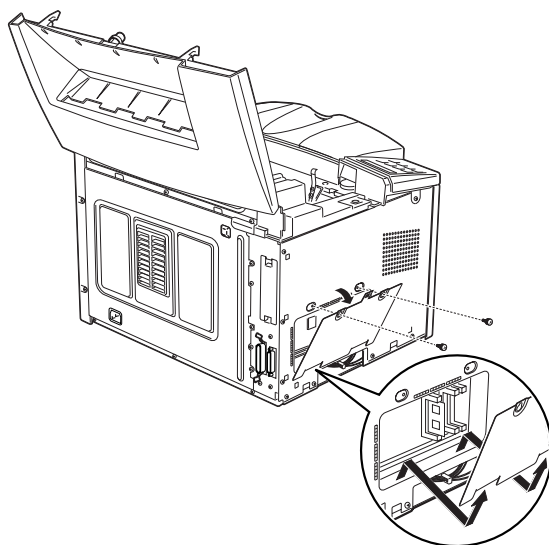
- ①のボタンを押すと、左カバーの上部が外れます。
- ②の方向にスライドさせます。
- ③の方向に倒すとカバーが外れます。



4

金属のカバーを取り外します。

プラスドライバーを使用して、止めネジ（2本）を外します。カバーの上側にあるつまみを持ち、手前に外します。



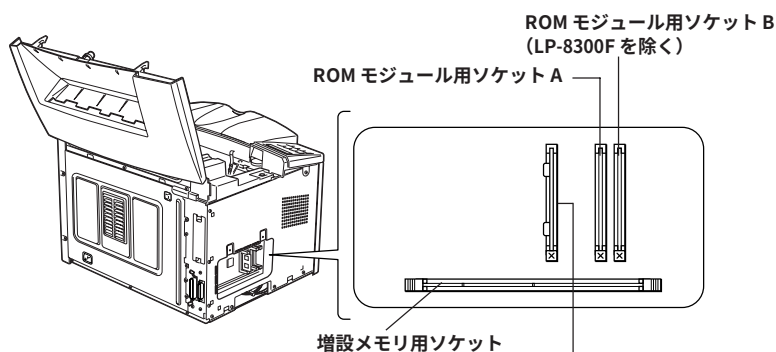
金属のカバーの止めネジを、プリンタ本体の中へ落とししたり紛失しないようにしてください。

5

増設メモリ用ソケットと、ROMモジュール用ソケット A/B は次の場所にあります。

増設メモリの取り付けの場合は **6** へ進んでください。

ROM モジュールの取り付けの場合は **7** へ進んでください。



この ROM モジュールは取り外さないでください。プリンタが動かなくなるおそれがあります。

6 増設メモリは次の手順で取り付けます。



- 増設メモリを装着する際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 増設メモリは、逆差ししないように注意してください。

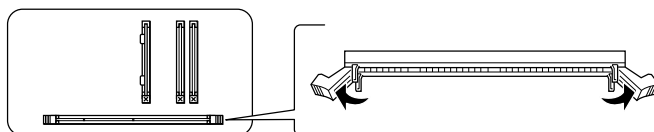


装着できる増設メモリの仕様については、以下のページを参照してください。

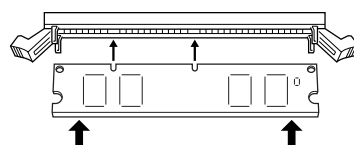
📖 本書「増設メモリ」164 ページ

増設メモリは、1枚取り付けられます。

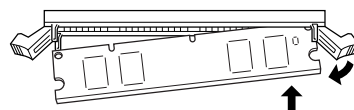
- ① 増設メモリ用ソケット両側のクリップを外側に開きます。



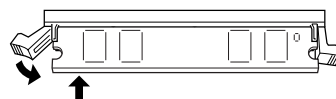
- ② 増設メモリ底部の2つのくぼみが、ソケット内側の凸部分に合うように、取り付け位置を決めます。



- ③ 増設メモリの片方をソケットに差し込み、クリップが起きあがるまで押し込みます。



- ④ 増設メモリのもう一方を差し込み、クリップを持ち上げて固定します。

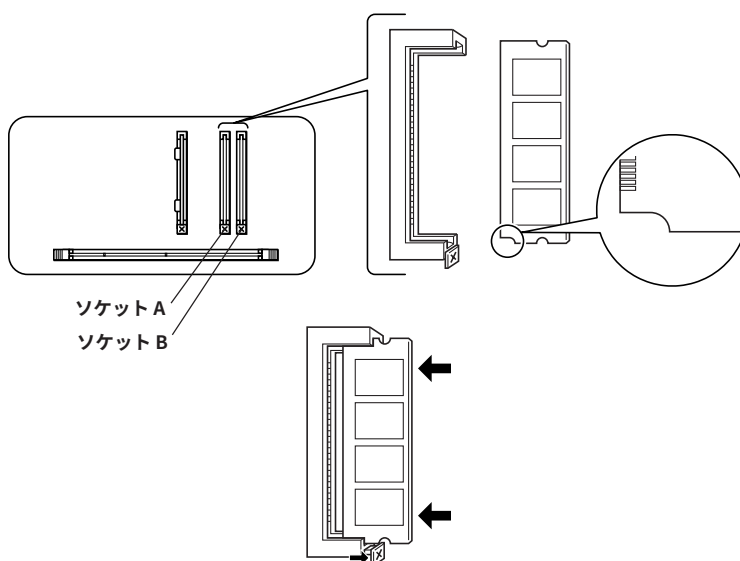


7 ROM モジュールは次の手順で取り付けます。



- ROM モジュールを装着する際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- ROM モジュールは、逆差ししないように注意してください。

- フォームオーバーレイROMモジュールにフォームデータを登録する場合はソケット A に取り付けます。それ以外の場合は、ソケット A または B のどちらに取り付けてもかまいません (LP-8300F の場合は、ソケット B はありません)。
- ROM モジュールをソケットにまっすぐ差し込み、図のボタンが上がるまで両端をゆっくりと均等に押し付けます。

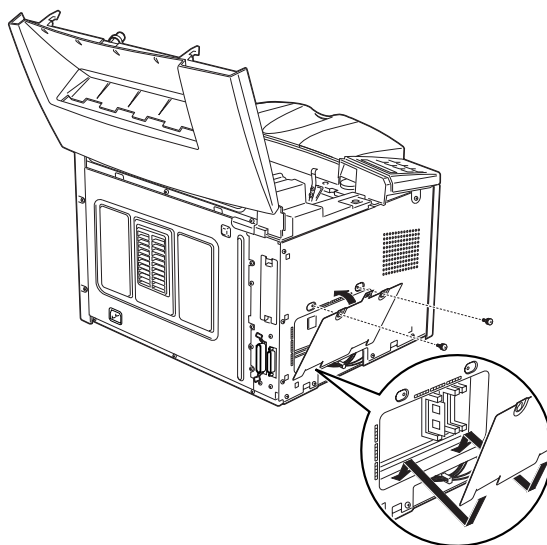


ROMモジュール用ソケットの隣にある基板は、絶対に取り外さないでください。取り外すと、プリンタが正常に動作しなくなるおそれがあります。

8

金属のカバーを取り付け、ネジで固定します。

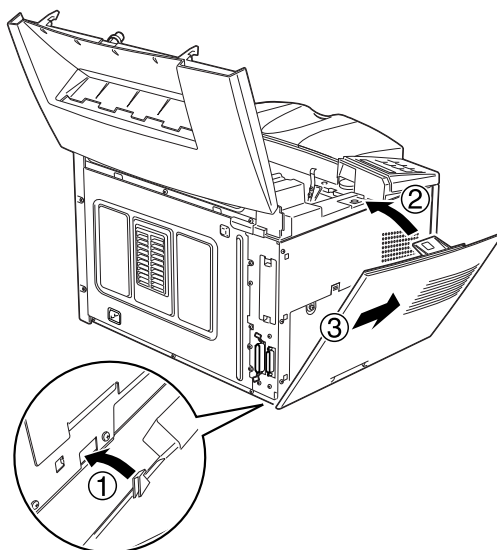
カバー下側のツメを本体部分に引っかけてから、カバーを取り付けます。
2本のネジでカバーを固定します。



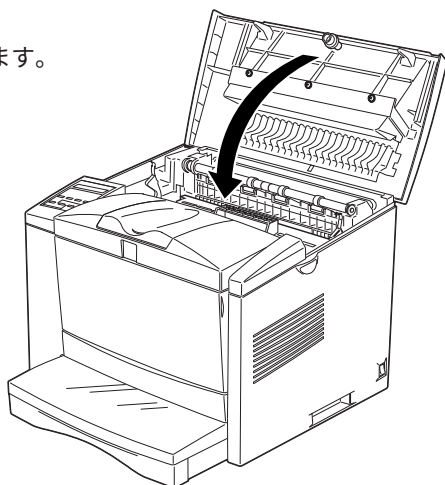
9

プリンタ左側のカバーを取り付けます。

- ① 左カバー下側のツメを、図のように穴に差し込みます。
- ② 左カバーをプリンタ本体に添えます。
- ③ 左カバーを図の方向にスライドさせ、左カバー上側の四角い穴に本体のボタンをはめ込むと同時に、左カバーを前面カバーに差し込みます。



- 10** 上カバーを閉じます。
カチッと音がするまで押し込みます。



- 11** インターフェースケーブルと電源ケーブルをプリンタに取り付け、コンセントに電源プラグを差し込みます。

- 12** 増設メモリを取り付けた場合、プリンタが増設メモリを正しく認識しているかを次の手順で確認します。

- ① プリンタの電源をオン(1)にします。
- ② プリンタの起動時に、液晶ディスプレイに [RAM CHECK XX.XMB] と表示されます。この [XX.XMB] の値が、[標準装備のメモリ容量^{*1} + 増設メモリの容量^{*2}] であることを確認します。

*1 : 標準装備のメモリ容量は 8MB です。

*2 : 256MB の増設メモリを装着した場合は、「256MB」と表示されます (「264MB」ではありません)。

RAM CHECK ××. × MB OK



ポイント

オプションのメモリを装置した場合は、オプションの設定をする必要があります。ステータスシートを印刷し実装メモリの数値を確認して、オプション装置の設定をしてください。

☞ Windows95/98/NT4.0 セットアップガイド

「オプション装着時の設定」 34 ページ

Windows3.1/NT3.51 セットアップガイド

「オプション装着時の設定」 41 ページ

本プリンタは、メモリが効率的に使用されるような設定をプリンタのコントローラが自動的に行っていますので、キャッシュバッファや受信バッファの容量の設定は基本的に不要です。



インターフェイスカードの取り付け

ここでは、インターフェイスカードの取り付け方法について説明します。
プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。



ポイント

インターフェイスカードによっては、本プリンタへの取り付けの前に、カード上のディップスイッチや、ジャンパスイッチの設定をする場合があります。インターフェイスカード付属の取扱説明書をよくお読みの上、それぞれの設定をしてください。本書では、設定を終えたインターフェイスカードを取り付ける手順について説明しています。

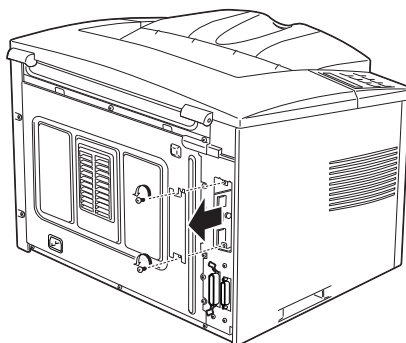
1

プリンタの電源をオフ(○)にします。

電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。

2

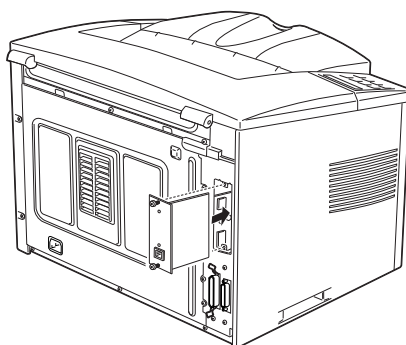
本体背面のコネクタカバーを取り外します。



3

インターフェイスカードを取り付けます。

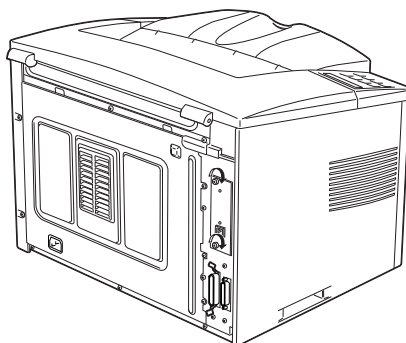
インターフェイスカードの左右両側をプリンタ内部のみぞに合わせて差し込みます。インターフェイスカードのコネクタと、プリンタ本体のコネクタがきちんと合うまで差し込んでください。



4

付属のネジで固定します。

カード両側のネジでインターフェイスカードを固定します。



5

ケーブル類を取り付け、電源をオン(1)にします。

6

ステータスシートを印刷して正しく取り付けられたか確認します。

正しく取り付けられているときは、例のように「インターフェイス」に「オプション」と印刷されます。

< 例 >

ハードウェア環境			
実装メモリ容量	XXXXXKB		
インターフェイス	パラレル	シリアル	オプション
給紙装置	用紙トレイ	カセット 1	オプション

本書「ステータスシートの印刷」155 ページ



ポイント

インターフェイスカードを使用するためには、インターフェイスカードの設定が必要です。詳細はインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。



オプション装着時の設定

メモリや給紙装置などのオプションを新たに装着した場合、Windows プリンタドライバで装着状況を確認させる必要があります。オプションを装着していない場合は、設定の必要はありません。

Macintosh の場合も設定は必要ありません。

ここではWindows95/98/NT4.0での設定手順を説明します。Windows3.1/NT3.51の場合は以下のページを参照して設定ダイアログを開いてください。

☞セットアップガイド「オプション装着時の設定」41 ページ



ポイント

- WindowsNT4.0の場合、管理者権限（Administrator）のあるユーザでログオンする必要があります。
- ここでは、Windows98のプロパティ画面（LP-8600F）を掲載しますが、手順は同じです。

1 Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[設定]にカーソルを合わせ、[プリンタ]をクリックします。

2 お使いの機種（LP-8600F/8400F/8300F）のアイコンを選択して、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。このときに、プリンタのオプション装着状況の確認を開始します。



②クリックして ③クリックします ①選択して

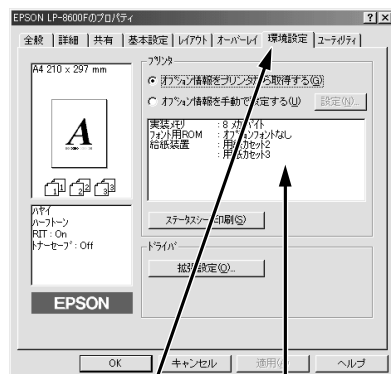


ポイント

- プリンタとコンピュータとの接続を確かめて、プリンタの電源をオンにしてから、プリンタのプロパティを開いてください。EPSON プリンタウィンドウ3をインストールしていれば、プリンタのオプションやセットされている用紙などの情報を自動的に設定できます。
- 通信エラーが発生した場合は、[OK]ボタンをクリックしてエラーダイアログを閉じてください。手動でオプション情報を設定できます。

3 [環境設定] タブをクリックし、オプション情報リストを確認します。

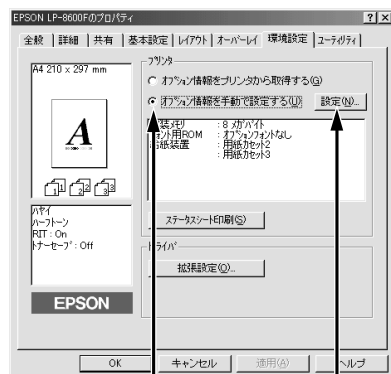
- [オプション情報をプリンタから取得] が選択された状態で自動的にオプション情報が取得できれば、装着したオプションをリストに表示します。**6** または **7** へ進みます。
- 装着しているオプションがリストに表示されない場合は、手動でオプション情報を設定します。**4** へ進みます。



①クリックして ②確認します

4 [オプション情報を手動で設定] をクリックして、[設定] ボタンをクリックします。

[実装オプション設定] ダイアログが開きます。

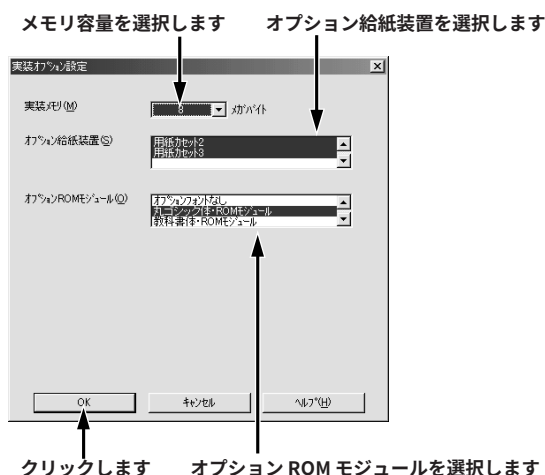


①クリックして ②クリックします

5

装着したオプションを選択して、**OK** ボタンをクリックします。

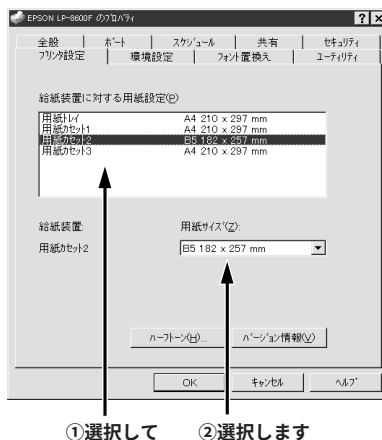
- [実装メモリ] リストから、増設したメモリの容量を含めてプリンタの総メモリ容量を選択します。
- [オプション給紙装置] リストで、装着したオプション給紙装置名をクリックして選択します。
- [オプションROM モジュール] リストで、装着した ROM モジュール名をクリックして選択します。



6

Windows NT4.0 の場合は、[プリンタ設定] タブをクリックし、給紙装置の用紙サイズを設定します。(Windows 95/98 の場合、この設定は必要ありません)

[給紙装置に対する用紙設定] リストで給紙装置を選択し、[用紙サイズ] リストからサイズを選択します。



7

OK ボタンをクリックしてプリンタのプロパティを閉じます。

以上でオプションの設定は終了です。

ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく装着されているか確認できます。

本書「ステータスシートの印刷」 155 ページ

第7章

メンテナンスの仕方

ここでは、メンテナンス方法について説明しています。

- ET カートリッジの交換 182
- プリンタの清掃 189
- プリンタの運搬 194



ETカートリッジの交換

ここでは、ET カートリッジの交換方法を説明しています。

ETカートリッジの交換時期

- 1つのETカートリッジで約6,000枚（A4、画占率5%）まで印刷できます。ただし、使用状況によりトナー消費量は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。
- EPSON プリンタウィンドウ!3は、トナー残量の目安を表示できます。あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。トナーが残り少なくなると交換を促すメッセージを表示しますので、新しいETカートリッジと交換することをお勧めします。印刷がかすれている場合は、ただちに新しいET カートリッジと交換してください。
☞ Windows 「EPSON プリンタウィンドウ!3」 52 ページ
Macintosh 「EPSON プリンタウィンドウ!3」 110 ページ
- 液晶ディスプレイに[トナーガ ノコリスクナクナリマシタ]と表示された場合は、まだ印刷が可能です。ET カートリッジ交換の必要はありません。ただし、トナー残量は目安ですので、印刷がかすれたり薄くなった場合は、交換してください。
- 液晶ディスプレイに[トナカートリッジコウカン]と表示された場合も、印刷は可能ですが、印刷結果から判断して交換してください。ただし[トナーコウカンエラーヒョウジ]を[スル]に設定している場合、1枚印刷するごとにエラーが発生します。

ETカートリッジ交換の注意

本プリンタで使用可能な ET カートリッジは次の通りです。

●型番：LPA3ETC4

LPA3ETC4P（2個パック）

- 上記以外の ET カートリッジを本プリンタで使用しないでください。
- 交換後、必ずトナー残量カウンタをリセットしてください。トナー残量カウンタをリセットしない場合、正確なトナー残量の検出ができないため、エラーが発生する場合があります。
- 液晶ディスプレイに[トナーカートリッジコウカン]と表示されて交換する場合は、操作パネルをそのままの状態（エラー状態）で交換してください。交換後、**エラー解除** スイッチを押すと自動的にトナー残量カウンタがリセットされます。



- トナーは人体に無害ですが、体や衣服に付着したときはすぐに洗い流してください。
- 寒い場所から暖かい場所に ET カートリッジを移動した場合は、室温に慣らすため1時間以上待ってから作業を行ってください。

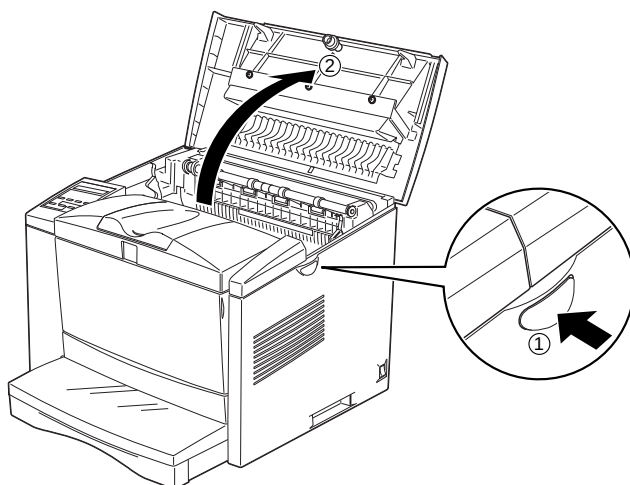
使用済みの消耗品のお取り扱いについて

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済みETカートリッジの回収方法については、新しいETカートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。

やむを得ず、使用済みETカートリッジを処分される場合は、ビニール袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

ETカートリッジの交換方法

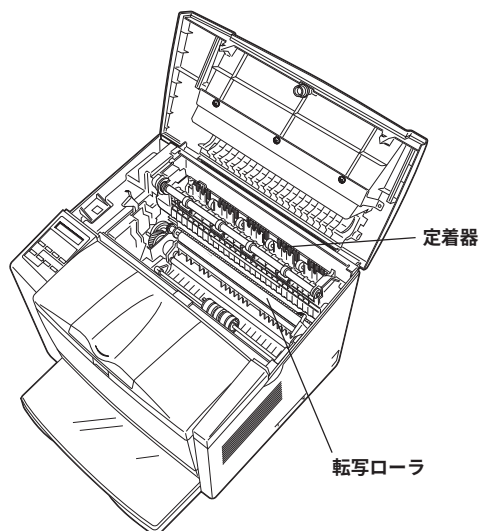
- 1** ラッチを押して、上カバーを開けます。



⚠ 注意

カバーを開けたとき、次の部分に手を触れないようご注意ください。

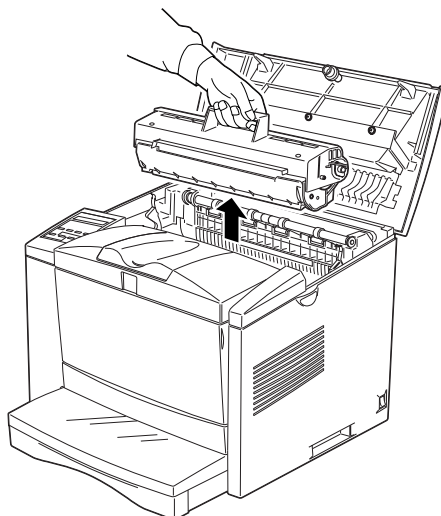
- 定着器部分（内部は高温のため火傷の原因になります）
- 転写ローラ部分（印刷品質劣化の原因になります）



2

使用済みの ET カートリッジを取り出します。

取っ手を持ち、使用済みの ET カートリッジを引き上げます。



⚠ 注意

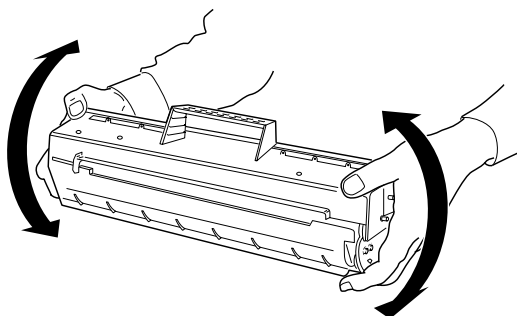
使用済みの ET カートリッジは火の中に入れてください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

3

新しいETカートリッジをよく振ります。

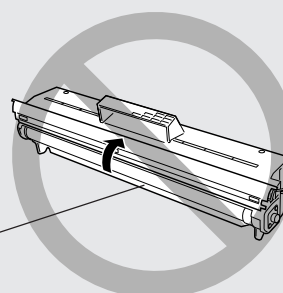
ETカートリッジの箱を開け、梱包袋から取り出します。

取り出したカートリッジを内部のトナーが均一な状態になるように図の向きに7～8回振ります。



感光体保護シャッタを絶対に開けないでください。また、内部の感光体(青色の部分)には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

保護シャッタ

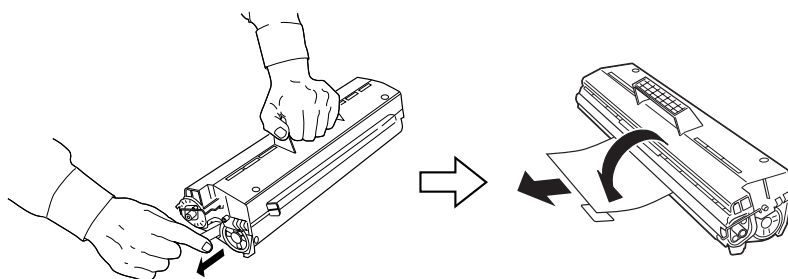


4

保護材を取り外します。

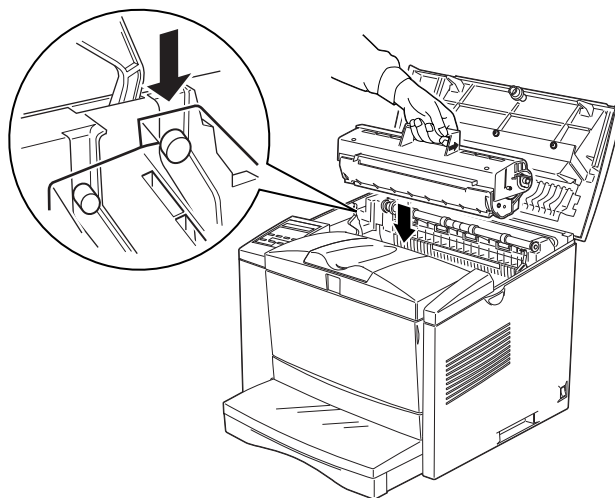
① ETカートリッジを平らな場所に置き、シールドテープを引き抜きます。

② テープをはがし、保護シートを引き抜きます。



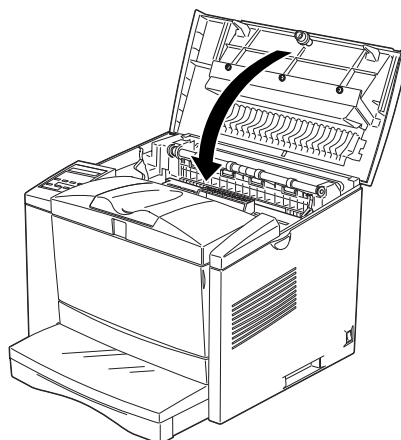
5 ETカートリッジに表示されている矢印をプリンタの上カバー側に向けてETカートリッジをセットします。

両側のガイドを合わせながら底に突き当たるまで確実にセットします。このとき、プリンタ内部のローラやギアなどには手を触れないでください。



6 上カバーを閉じます。

上カバーをカチッと音がするまでしっかりと閉じます。



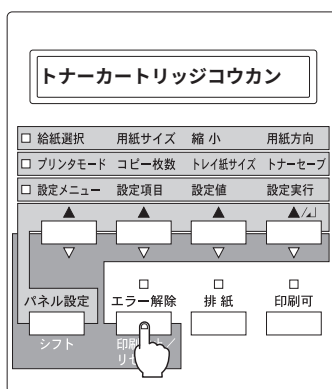
ETカートリッジを取り付けたまま、プリンタを運搬しないでください。トナーがプリンタ内部にこぼれ、印刷品質に影響を与えたり、故障の原因となります。

7

トナー残量カウンタをリセットします。

- [トナーカートリッジ コウカン]メッセージが表示されたままの状態
で交換した場合は、[エラー解除]スイッチを押すとトナー残量カウンタ
がリセットされます。
- 上記以外の場合は一度電源をオフ(○)にします。30秒以上経過してか
ら [印刷可] スイッチと [排紙] スイッチを同時に押したまま電源をオン
(I)にします。

液晶ディスプレイに「トナーザンリョウリセット」と表示されたら、ス
イッチを離します。

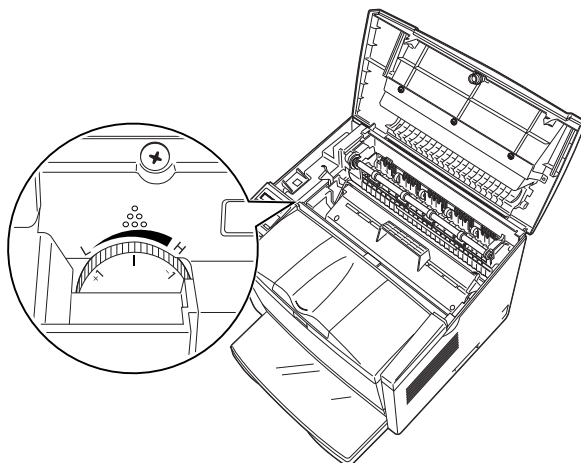


ETカートリッジの入っていた梱包袋は、プリンタの移動や輸送の際、ま
たは使用済みのカートリッジを捨てる際に必要となります。梱包袋は、
次回 ET カートリッジを交換するときまで大切に保管してください。

印刷濃度の調整

ET カートリッジを交換すると、印刷濃度が変化することがあります。必要
に応じて印刷濃度調整ボリュームで調整してください。

H側に回すと濃くなり、L側に回すと薄くなります。





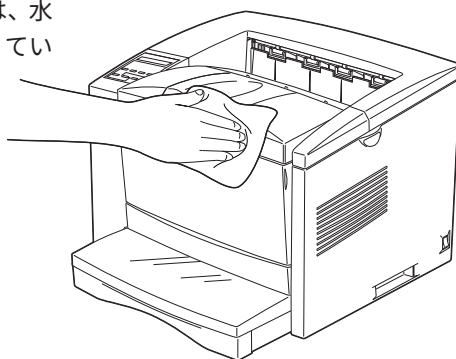
プリンタの清掃

プリンタを良好な状態で使っていただくために、ときどき次のようなお手入れをしてください。



- プリンタの清掃は、電源をオフ(○)にしてコンセントから電源ケーブルを抜いた後で、行ってください。
- ペンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形するおそれがあります。
- プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。
- 固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷が付くおそれがあります。

プリンタの表面が汚れたときは、水を含ませて固くしぼった布で、ていねいに拭いてください。



用紙トレイ給紙ローラのクリーニング

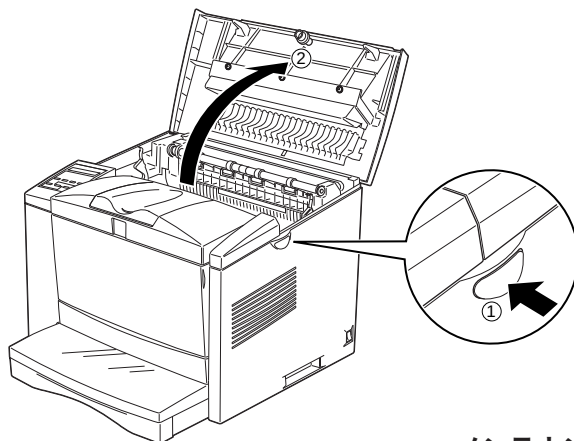
用紙トレイから給紙する場合、絵入りハガキなどに使用されている絵柄裏移り防止用の粉が、給紙ローラに付着し給紙できなくなることがあります。用紙トレイから給紙できなくなったときは、以下の手順に従って給紙ローラを固く絞った布でていねいに拭いてください。

LP-8600F : 給紙ローラは2個あります。

LP-8400F/8300F : 給紙ローラは1個あります。

1

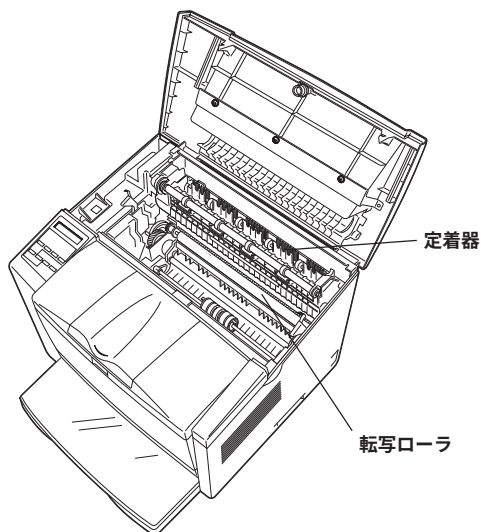
ラッチを押して、上カバーを開けます。



⚠ 注意

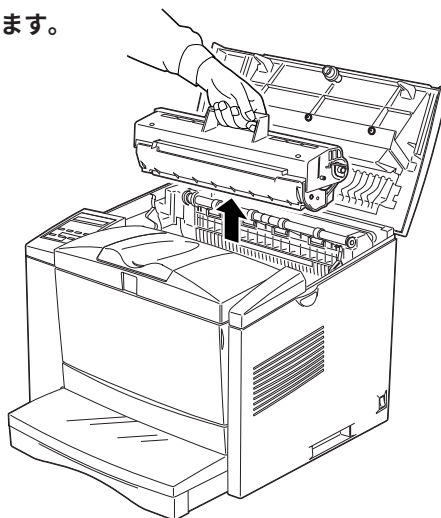
カバーを開けたとき、次の部分に手を触れないようご注意ください。

- 定着器部分（内部は高温のため火傷の原因になります。）
- 転写ローラ部分（印刷品質劣化の原因になります。）



2

ETカートリッジを取り出します。

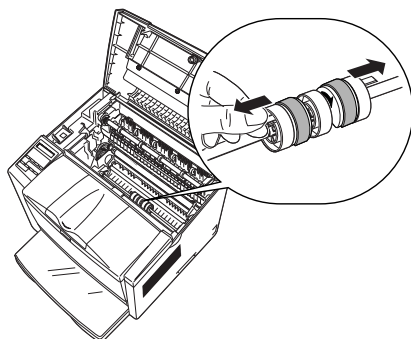


取り出したETカートリッジは、トナーがこぼれないように、水平に置いてください。

3 ガイドをずらしします。

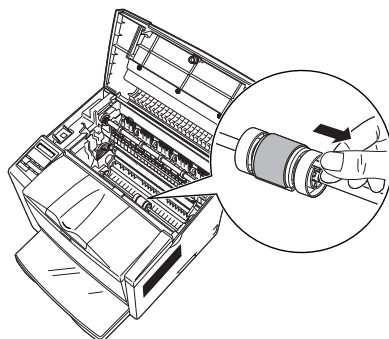
LP-8600F:

突起部をつまんで、左右2つのガイドを外側へずらしします。



LP-8400F/8300F:

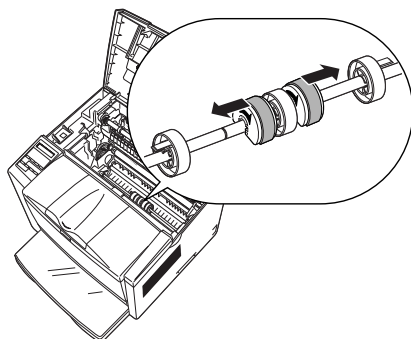
右側の突起部をつまんで、右側へずらしします。



4 給紙ローラを取り外します。

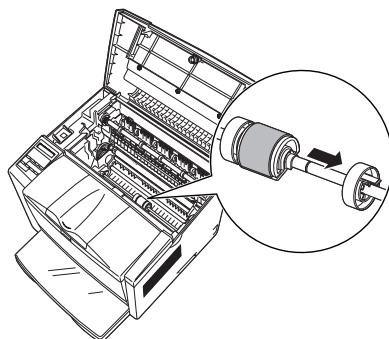
LP-8600F:

左右2つの給紙ローラを外側にずらして、取り外します。



LP-8400F/8300F:

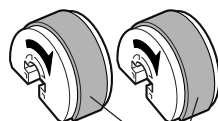
給紙ローラを右側へずらして取り外します。



5 給紙ローラを固く絞った布でていねいに拭きます。

LP-8600F:

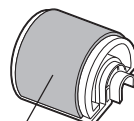
給紙ローラは2個あります。



ゴム製の部分を
ていねいに拭きます

LP-8400F/8300F:

給紙ローラは1個です。

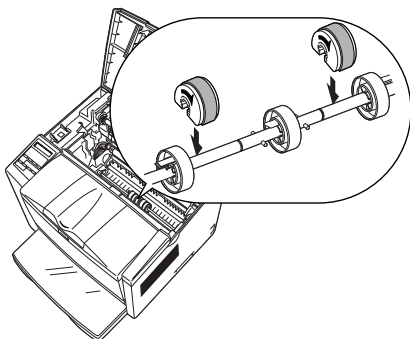


ゴム製の部分を
ていねいに拭きます

6 給紙ローラを取り付けます。

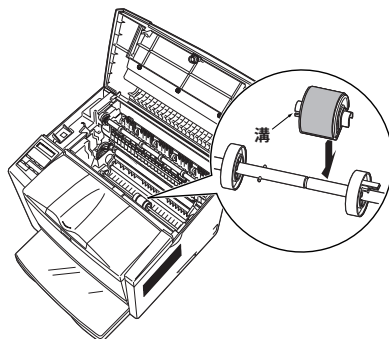
LP-8600F:

矢印の刻印のある面を左側にして、左右2つの給紙ローラを軸に取り付けます。



LP-8400F/8300F:

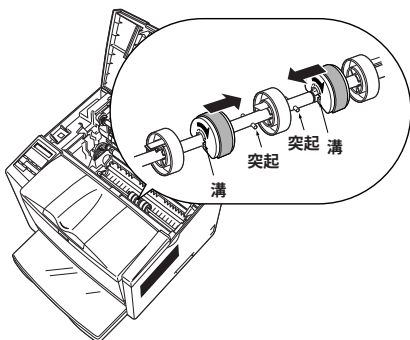
給紙ローラの図の部分に溝がある側を左側にして、軸に取り付けます。



7 給紙ローラを軸に固定します。

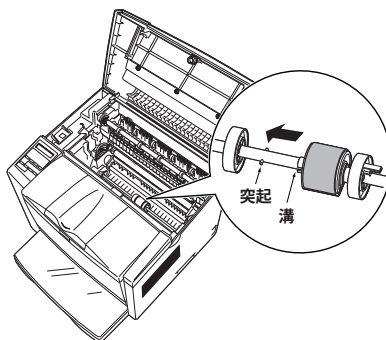
LP-8600F:

左右2つの給紙ローラを内側へずらして、軸上の突起を給紙ローラの溝にはめ込みます。



LP-8400F/8300F:

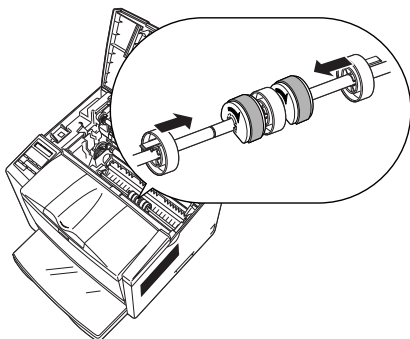
軸上の突起と給紙ローラの溝を合わせるように、給紙ローラを左へずらします。



8 ガイドをずらして給紙ローラを固定します。

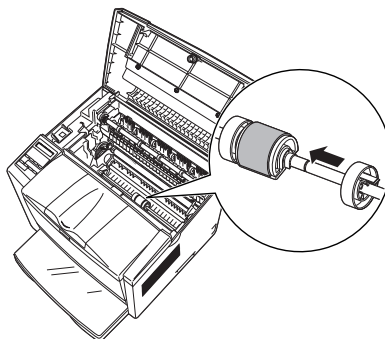
LP-8600F:

左右のガイドを内側へずらして、
左右2つの給紙ローラを固定し
ます。

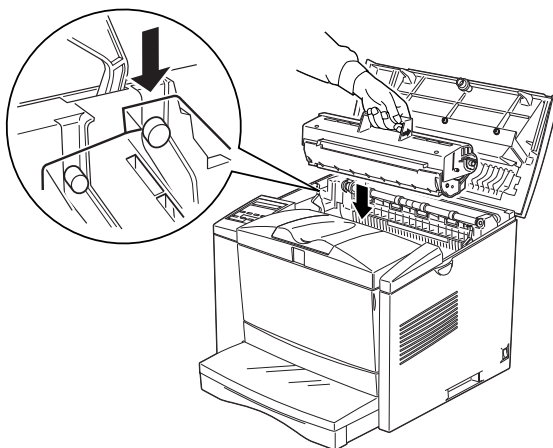


LP-8400F/8300F:

右側のガイドを、固定される位
置まで左へずらします。



9 ETカートリッジを取り付けます。



10 上カバーをカチッと音がするまでしっかりと閉じます。



プリンタの運搬

プリンタを運搬したり、移動するときには、以下のように作業を行ってください。

近くへ移動するときは

プリンタを設置していた台を代えたり、隣の部屋に移動する場合は、付属品をすべて取り外す必要はありません。

以下の部品のみを取り外して、振動を与えないように水平に置いていないに移動してください。

- 電源ケーブル
- インターフェースケーブル
- 用紙トレイ内の用紙（用紙トレイは閉じてください）
- 用紙カセット
- オプションの増設カセットユニット（装着時のみ）

遠くへ運搬するときは

プリンタを運搬するときは、取り付けである付属品などをすべて外し、もう一度梱包してください。

以下のものが取り付けられている場合は、取り外してください。

- 電源ケーブル
- インターフェースケーブル
- 用紙トレイ内の用紙（用紙トレイは閉じてください）
- 用紙カセット
- ET カートリッジ
- オプションの増設カセットユニット（装着時のみ）

輸送上の注意

プリンタ本体に梱包材を付けて、梱包箱に入れます。ページプリンタは精密機械ですので、梱包方法によっては輸送中に思わぬ破損を招くことも考えられます。下記の注意に従って、確実に梱包してください。

- 使用中 / 使用済みのETカートリッジは、常に水平を保ちながら取り扱ってください。トナーがこぼれることがあります。
- ETカートリッジは斜めや逆さまにして置かないでください。トナーがこぼれることがあります。
- 製品購入時に使用されていた梱包材を使用して購入時の状態で梱包してください。



- 必ずプリンタからETカートリッジを取り出してください。取り出したカートリッジは、製品購入時に梱包されていた箱かビニール袋などにいれて輸送してください。
- 必ず、製品購入時に取り付けられていた輸送用の保護具を取り付けて輸送してください。

第8章

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法について説明しています。

●故障かな?と思ったら	198
●電源が入らない	200
●印刷しない	201
●印刷しない (Windows)	204
●印刷しない (Macintosh)	206
●用紙に関するトラブル	208
●印刷結果が画面と異なる	211
●印刷品質に関するトラブル	214
●EPSON プリンタウィンドウ!3 でのトラブル (Windows)	219
●その他のトラブル	220
●操作パネルのメッセージについて	222
●用紙が詰まったときは	227



故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったらまず、以下の項目をチェックしてください。それでも症状が改善されない場合は、それぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

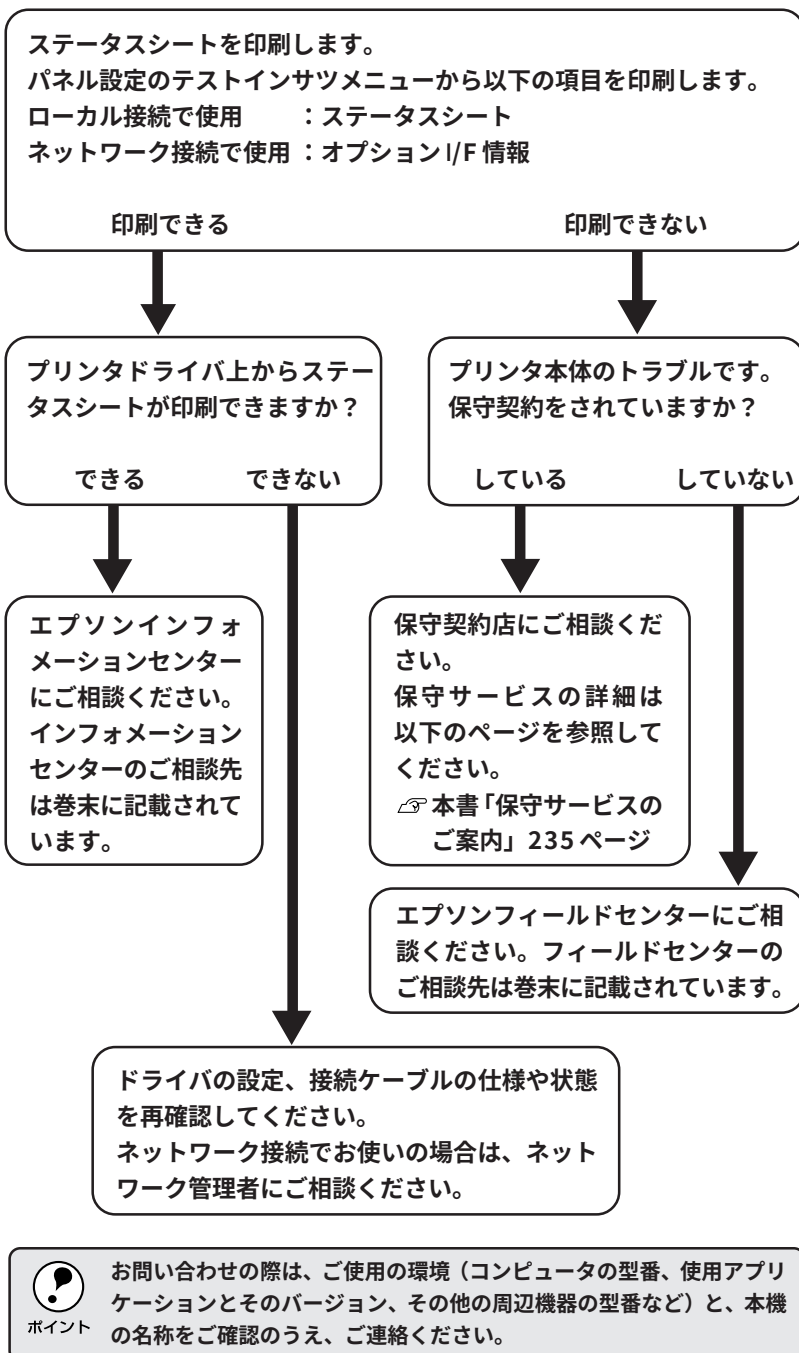
チェック項目

現在の症状がどれにあてはまるかを次の中から選びそれぞれのページをご覧ください。

- | | | |
|----|-----------------------------------|-----------|
| 1 | 電源が入らない | → 200 ページ |
| 2 | 印刷しない | → 201 ページ |
| 3 | 印刷しない(Windows) | → 204 ページ |
| 4 | 印刷しない(Macintosh) | → 206 ページ |
| 5 | 用紙に関するトラブル | → 208 ページ |
| 6 | 印刷結果が画面と異なる | → 211 ページ |
| 7 | 印刷品質に関するトラブル | → 214 ページ |
| 8 | EPSONプリンタウィンドウ!3 でのトラブル (Windows) | → 219 ページ |
| 9 | その他のトラブル | → 220 ページ |
| 10 | 操作パネルのメッセージについて | → 222 ページ |
| 11 | 用紙が詰まったときは | → 227 ページ |

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まずプリンタ本体の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。





電源が入らない

プリンタの電源が入らない



電源ケーブルが抜けていたり、ゆるんでいませんか？
電源ケーブルをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。



電源コンセントに問題があることがあります。
コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電気製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。



正しい電圧（AC100V）のコンセントに接続していますか？
コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。

以上の3点を確認の上で電源スイッチをオン(1)にしても電源が入らない場合は、保守契約店（保守契約をされている場合）、またはお買い求めいただいた販売店またはお近くのエプソンフィールドセンターへご相談ください。フィールドセンターへのご相談先は巻末に記載されています。





印刷しない



インターフェースケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェースケーブルがしっかり接続されているか確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。



インターフェースケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？

インターフェースケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルか確認します。

☞ セットアップガイド「コンピュータとの接続」21 ページ



プリンタが印刷できない状態です。

プリンタの操作パネル上にある液晶ディスプレイの表示を確認します。

液晶ディスプレイにエラーが表示されている場合は、以下のページを参照し、対処して、**印刷可** スイッチを押します。

☞ 本書「エラーメッセージ」223 ページ



コンピュータが画像を処理できません。

コンピュータのCPUやメモリによっては画像データを処理できない場合があります。解像度を下げて印刷するか、メモリを増設してください。



ネットワーク上の設定は正しいですか？

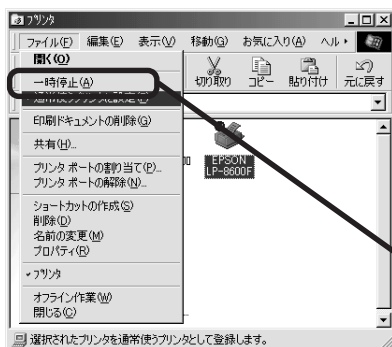
ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。



チェック

お使いの機種のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

お使いの機種のプリンタドライバが、コントロールパネルのプリンタフォルダにアイコンとして登録されていますか？ また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。



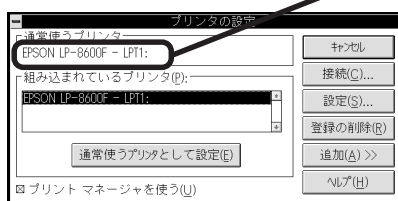
画面は Windows98 の場合です

(Windows95/98/NT4.0)

確認方法

- ① **スタート** ボタンをクリックしカーソルを **[設定]** に合わせ、**[プリンタ]** をクリックします。
- ② 使用するプリンタ名を選択し **[ファイル]** メニューを確認します。

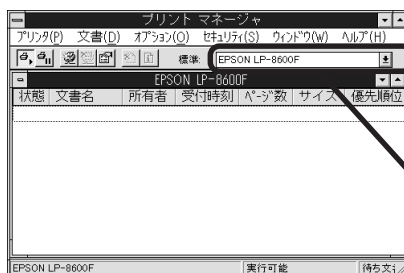
[通常使うプリンタ] の設定になっているか確認します。



(Windows3.1)

確認方法

- ① コントロールパネル内の **[プリンタ]** アイコンをダブルクリックします。
- ② **[プリンタの設定]** ダイアログを確認します。



(WindowsNT3.51)

確認方法

- ① コントロールパネル内の **[プリンタ]** アイコンをダブルクリックします。
- ② **[標準]** のプリンタを確認します。

使用するプリンタ名が選択されているか確認します。



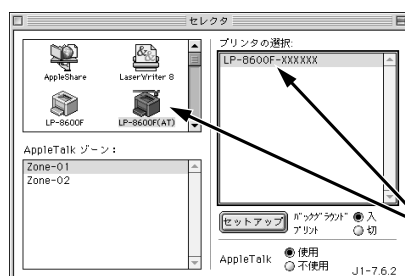
チェック

お使いの機種のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

お使いの機種のアイコンがセクタ上に表示されているかを確認してください。QuickDraw GXを使用していると、プリンタのアイコンは表示されません。QuickDraw GXを使用停止にしてください。

📖 セットアップガイド「システム条件の確認」42 ページ

AppleTalk 接続の場合は [AppleTalk] の [使用] を選択して、印刷するプリンタが [プリンタの選択] リストに表示されているか確認してください。



(Macintosh)

プリンタドライバとプリンタが表示されるか確認します。



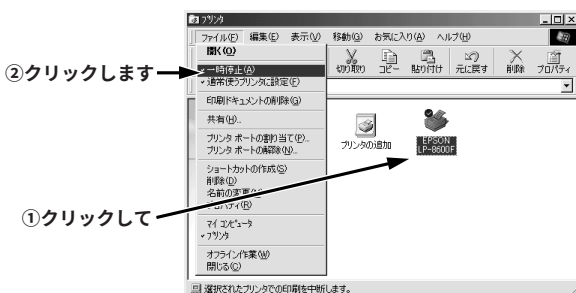
印刷しない(Windows)



チェック

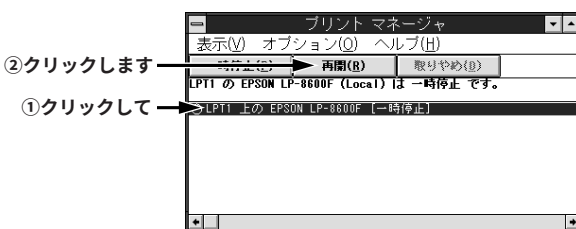
プリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか？

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態では印刷を実行しても印刷されません。



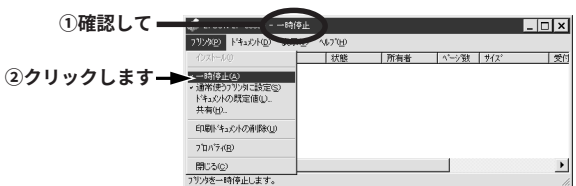
Windows95/98 の場合

- ① **スタート** ボタンをクリックし、**設定** にカーソルを合わせ **プリンタ** をクリックします。
- ② 使用するプリンタ名をクリックして **ファイル** メニュー内の **一時停止** または **プリンタ** をオフラインにするにチェックが付いている場合はクリックして外します。



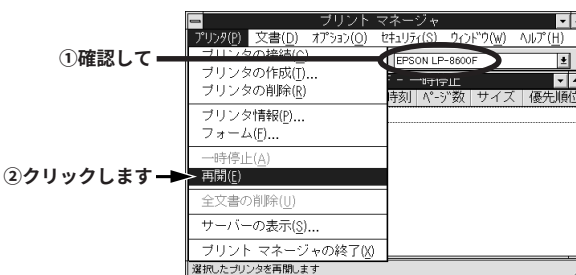
Windows3.1 の場合

- ① **プリントマネージャ** アイコンをダブルクリックします。
- ② 一時停止になっている場合は、使用するプリンタ名をクリックして **再開** ボタンをクリックします。



WindowsNT4.0 の場合

- ① **スタート** ボタンをクリックし、**設定** にカーソルを合わせ **プリンタ** をクリックします。
- ② 使用するプリンタ名のアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は **プリンタ** の **一時停止** をクリックしてチェックを外します。



WindowsNT3.51 の場合

- ① **メイン** グループの **プリントマネージャ** アイコンをダブルクリックし、使用するプリンタ名のアイコンをダブルクリックします。
- ② プリンタが **一時停止** の状態になっている場合は、**プリンタ** メニューの **再開** をクリックします。



チェック

プリンタドライバの**接続ポート**の設定が合っていない。

プリンタドライバの**接続ポート**の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。

本書「プリンタ接続先の設定」 Windows98/95 66 ページ
Windows3.1 70 ページ

「LPT1に書き込みができませんでした」エラーが発生する

以下の項目を確認してください。

- プリンタプロパティの〔詳細〕タブの「印刷先のポート」が正しく設定されているかを確認して印刷を実行してください。
- プリンタプロパティの〔詳細〕タブの「スプールの設定」で「プリンタに直接印刷データを送る」の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- ECPモードでご利用の場合、ECPモード対応のケーブルで接続していることを確認し、コンピュータのBIOS設定を「ECP」（ECPがない場合は「Bi-directional」）に、ポートを「ECP プリンタポート（LPT1）」に設定して印刷を行ってみてください。

BIOS設定についての詳細はお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。



印刷しない(Macintosh)



チェック

正しいプリンタドライバが選択されていません。

本プリンタのプリンタドライバを選択してください。

📖 セットアップガイド「プリンタドライバの選択と設定」46ページ



チェック

正しいゾーン、プリンタが選択されていません。

プリンタが接続されているゾーンを確認して、印刷するプリンタを選択してください。



チェック

ご利用の環境に合ったプリンタドライバを選択しましたか？

Macintoshのプリンタドライバは、ご利用の環境別に2種類あります。ご利用の環境に合ったプリンタドライバを選択してください。

📖 セットアップガイド「プリンタドライバの選択と設定」46ページ

セレクトにプリンタドライバまたはプリンタが表示されない



チェック

QuickDraw GXを使用していませんか？

本プリンタドライバは、QuickDraw GXに対応していません。漢字 Talk7.5 以降をお使いの場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。

📖 セットアップガイド「動作可能環境」43 ページ



チェック

AppleTalk ネットワークゾーンの設定が違います。

プリンタの接続されているゾーンを選択してください。



チェック

プリンタ名を変更していませんか？

ネットワークの管理者に確認して、変更したプリンタを選択してください。

エラーが発生する



チェック

漢字Talk7.5.1 または MacOS7.6 以降を使用していますか？

プリンタドライバの動作可能環境は、漢字Talk7.5.1 または MacOS7.6 以降です。

📖 セットアップガイド「システム条件の確認」42 ページ



チェック

印刷設定ダイアログの印刷モードの設定が [きれい] になっていませんか？

プリンタのメモリが足りないとメモリ関連のエラーが発生します。印刷ダイアログの印刷モード設定を [はやい] にすると印刷できる場合があります。それでも印刷できない場合は、次項目を参照してください。



チェック

Macintosh のシステムメモリの空き容量は十分ですか？

Macintosh のプリンタドライバは、Macintosh 本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルの RAM キャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。



用紙に関するトラブル

用紙が詰まる/給排紙されない



ポイント

紙詰まりが発生している場合は、以下のページを参照して、まず詰まった用紙を取り除いてください。

📖 「用紙が詰まったときは」 227 ページ



プリンタをプリンタの底面より小さな台の上に設置していませんか？
プリンタの底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。プリンタの設置場所を確認してください。



プリンタは水平な場所に設置されていますか？
プリンタの下にはさまれている物はありませんか？
設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。



本機で印刷可能な用紙を使用していますか？
印刷可能な用紙を使用してください。
📖 本書「用紙について」 2 ページ



用紙をセットする前によくさばいていますか？
用紙を複数枚セットする場合は、セットする前に用紙をよくさばいてください。



用紙カセットや用紙トレイに用紙が正しくセットされていますか？
用紙カセットに用紙をセットする場合は、用紙カセットの用紙ガイドクリップをセットした用紙サイズの位置に必ず合わせてください。セット位置がずれていると用紙サイズを正しく検知できないことがあります。用紙トレイに用紙をセットする場合は、セットされた用紙サイズを自動検知することができないため、トレイ紙サイズスイッチをセットした用紙サイズに合わせて設定してください。「パネルで設定」に合わせた場合は、操作パネルでの設定が必要です。
📖 本書「用紙のセット」 6 ページ



用紙カセットがプリンタに正しくセットされていますか？

用紙カセットを正しくセットしてください。

☞ 本書「用紙カセットへの用紙のセット」6 ページ

セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？

ステータスシートまたは操作パネルで、用紙トレイまたは用紙カセットの用紙サイズを確認してください。

☞ 本書「ステータスシートの印刷」155 ページ

本書「設定項目の説明」134 ページ

用紙サイズが正しく検知されていることを確認し、その用紙サイズをプリンタドライバでの設定と一致させてください。



プリンタドライバで給紙したい給紙装置を選択していますか？

プリンタドライバで使用する給紙装置を選択してください。

☞ Windows「[基本設定] ダイアログ」31 ページ

Macintosh「[プリント] ダイアログ」98 ページ



アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？

給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先する場合があります。

アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。



改ページ命令がアプリケーションソフトから送られていますか？

アプリケーションソフトによっては、データの最後に排紙命令を出さないものもあります。**印刷可** スイッチを押して印刷可ランプを消してから**排紙** スイッチを押してください。



給紙ローラが汚れていませんか？

用紙トレイから給紙されない場合は、給紙ローラを拭いてください。

☞ 本書「用紙トレイ給紙ローラのクリーニング」189 ページ

用紙カセットから給紙されない



用紙は正しくセットされていますか？

用紙カセットのガイドクリップの位置がセットした用紙サイズの位置になっているかを確認してください。用紙カセットにセットされた用紙サイズは、ガイドクリップの位置で検知されます。セット位置がずれていると用紙サイズが正しく検知できない場合があります。

用紙を二重送りしてしまう



チェック 用紙どうしがくっついていませんか？

用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1枚ずつセットしてください。



チェック 官製ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？

先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

紙詰まりエラーが解除されない



チェック 詰まった用紙をすべて取り除きましたか？

上カバーを一旦開閉してみてください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このような場合には無理に取り除こうとせずに、エプソンフィールドセンターまたは保守契約店にご連絡ください。エプソンフィールドセンターの連絡先は巻末に記載されています。

その他の症状

印刷の途中で用紙が排紙されてしまう



チェック I/F タイムアウトの設定が短くありませんか？

パネル設定でI/F タイムアウトの設定を長くしてください。

☞ 本書「キョウツウメニュー」137 ページ

用紙がカールする



チェック 正しい印刷面へ印刷していますか？

特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を替えて印刷してみてください。



印刷結果が画面と異なる

画面と異なるフォント/文字/グラフィックスで印刷される



プリンタの使用環境に問題はありませんか？

画面と異なるフォントや文字、グラフィックスで印刷される場合は、まず印刷を中止してください。

☞ Windows 本書「印刷の中止方法」59 ページ
Macintosh 本書「印刷の中止方法」116 ページ

再度印刷を実行してみてください。再度同様の現象が発生する場合は、次の点を確認してください。

- 使用環境の仕様に合った推奨ケーブルが正しく接続されていますか。
- お使いのコンピュータは本機の使用に適合していますか。
- プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできますか。



TrueType フォントをプリンタフォントに置換していませんか？

プリンタドライバで TrueType フォントをプリンタフォントに置換しないように設定してください。

- Windows
[拡張設定] ダイアログの [TrueType フォント] 設定 [TrueType フォントでそのまま印刷] をクリックします。
☞ 本書「[拡張設定] ダイアログ」47 ページ
- Macintosh
[プリント] ダイアログまたは [詳細設定] ダイアログにある [プリンタフォント使用] の [漢字] / [欧文] をクリックしてチェックを外します。
☞ 本書「印刷の設定」98 ページ



プリンタモードの設定がまちがっていませんか？

通常は [ESC/PS] モードに設定してください。

☞ 本書「プリンタモードメニュー」141 ページ



DOSアプリケーションソフトで正しい文字コードを選択していますか？

文字コード表を確認して、正しい文字コードを選択してください。



画面の表示が旧 JIS で表示されていませんか？

本機は、新 JIS コード (JISX0208-1990) を使用しています。アプリケーションの取扱説明書を参照して、画面の表示を新 JIS コードの設定にしてください。



チェック

プログラムを組む際に、コントロールコードがまちがっていませんか？

ESC/PまたはESC/Pageのコントロールコードでプログラムしてください。ESC/Pでは、先頭行に「ESC@」のコードを入れてください。



チェック

ESC/Page 対応のアプリケーションソフト（ドライバ）のバージョンが古くありませんか？

パネル設定で「インサツメニュー」の「イメージホセイ」を「2」に設定してください。

☞ 本書「インサツメニュー / イメージホセイ」143 ページ

画面と異なる位置に印刷される



チェック

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？

アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせてください。

☞ Windows 本書「[基本設定] ダイアログ」31 ページ
Macintosh 本書「用紙設定の手順」91 ページ



チェック

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要になる場合があります。

プリンタドライバまたは操作パネルで「オフセット」の調整をしてください。

☞ Windows 本書「[拡張設定] ダイアログ」47 ページ
操作パネル 本書「デバイスメニュー」143 ページ

罫線が切れたり、文字の位置がずれる



チェック

アプリケーションソフトでお使いのプリンタの機種名(LP-8600F/8400F/8300F)を使用するプリンタに設定していますか？

各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、使用するプリンタをお使いのプリンタの機種名(LP-8600F/8400F/8300F)に設定してください。



チェック

エプソンPCシリーズ、NECPC-9800シリーズを使用している場合に、メモリスイッチの設定が合っていますか？

各コンピュータの取扱説明書を参照して、メモリスイッチの設定をしてください。

エプソン PC シリーズ→ 24 ピン系を選択します。

NECPC-9800 シリーズ→ 16 ピン系を選択します。



ESC/PS モードで印刷する場合、右マージンの設定が適切でない場合があります。

パネル設定で [ESC/PS カンキョウメニュー] の [右マージン] 設定を修正してください。

☞ 本書「ESC/PS カンキョウメニュー」150 ページ



ESC/Page 対応のアプリケーションソフト（ドライバ）のバージョンが古くありませんか？

パネル設定で [インサツメニュー] の [イメージホセイ] を [2] に設定してください。

☞ 本書「インサツメニュー / イメージホセイ」143 ページ

設定と異なる印刷をする



パネル設定、アプリケーションソフト、プリンタドライバの設定が一致していますか？

印刷条件の設定は、パネル設定、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、ご利用の状況により異なりますので、設定と違う印刷をプリンタが行う場合は、各設定を確認してください。

その他の症状

ハーフトーンの印刷が画面と異なる



[PGI] 機能を使用していませんか？

アプリケーションが独自のハーフトーン処理を行っている場合、[PGI] 機能を使用すると、意図した印刷結果が得られない場合があります。[PGI] 機能を使用しないで印刷してください。

☞ Windows 本書「[詳細設定] ダイアログ」34 ページ

Macintosh 本書「[詳細設定] ダイアログ」102 ページ

楕円のような模様が印刷される



トナー残量が残りに少ない可能性があります。

トナー残量が少ないと楕円のような模様が印刷されることがあります。トナー残量を確認してトナーを交換してください。

外字データまたはフォーマットデータが印刷できない



I/F タイムアウトの設定が短くありませんか？

パネル設定で I/F タイムアウトの設定を長くしてください。

☞ 本書「キョウツウメニュー」137 ページ



印刷品質に関するトラブル

きれいに印刷できない



〔RIT〕機能を使用して印刷していますか？

文字をきれいに印刷したい場合は〔RIT〕機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータの場合は、〔RIT〕機能を使用しないほうがきれいに印刷できる場合があります。

Windows

本書「〔詳細設定〕ダイアログ」34 ページ

Macintosh

本書「〔詳細設定〕ダイアログ」102 ページ



解像度が〔はよい〕（300dpi）に設定されていませんか？

解像度を〔きれい〕（600dpi）に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データの場合、メモリ不足で印刷できない場合があります。その場合は、解像度を〔はよい〕（300dpi）に戻すか、メモリを増設してください。

Windows

本書「〔基本設定〕ダイアログ」31 ページ

Macintosh

本書「〔プリント〕ダイアログ」98 ページ



文字とグラフィックスデータが重なった印刷データを印刷していませんか？

文字とグラフィックスを重ねていて問題がある場合は、印刷モードを〔CRT 優先〕に設定して印刷してください。

Windows

本書「〔拡張設定〕ダイアログ」47 ページ



〔PGI〕の設定が速度優先に設定されていませんか？

〔PGI〕の設定を品質優先に設定します。

Macintosh

本書「〔詳細設定〕ダイアログ」102 ページ



ET カートリッジが劣化または損傷しています。

新しいET カートリッジに交換してください。

印刷の濃淡が思うように印刷できない



チェック

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

Windows 本書「[詳細設定] ダイアログ」34 ページ
Macintosh 本書「[詳細設定] ダイアログ」102 ページ



チェック

プリンタドライバの「明暗」の設定を確認してください。

Windows の場合は、[グラフィックス] の [明暗] 設定を、Macintosh の場合は、[PGI] / [ハーフトーン] の明暗設定を調整してください。

Windows 本書「[詳細設定] ダイアログ」34 ページ
Macintosh 本書「[詳細設定] ダイアログ」102 ページ



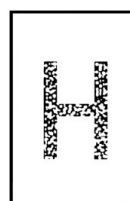
チェック

印刷濃度の設定は適切ですか？

印刷濃度を調整してみてください。

本書「印刷濃度の調整」188 ページ

印刷が薄い(うすくかすれる、不鮮明)



用紙が湿気を含んでいます。

新しい用紙と交換してください。

印刷濃度の設定が正しくありません。

印刷濃度調節ボリュームで印刷濃度を調整してください。

本書「印刷濃度の調整」188 ページ

ET カートリッジが劣化または損傷しています。

新しい ET カートリッジに交換してください。

ET カートリッジにトナーが残っていません。

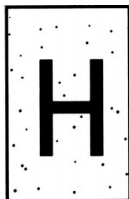
新しい ET カートリッジに交換してください。

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能を解除してください。

Windows 本書「[詳細設定] ダイアログ」34 ページ
Macintosh 本書「[詳細設定] ダイアログ」102 ページ

黒点が印刷される



使用中の用紙が適切ではありません。

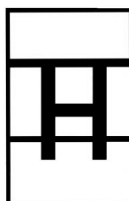
「印刷できる用紙の種類」を確認し、印刷できる用紙を使用してください。

📖 本書「印刷できる用紙の種類」2 ページ

ET カートリッジが劣化または損傷しています。

何回か用紙を排紙しても改善されない場合は、新しい ET カートリッジに交換してください。

周期的に汚れがある



プリンタ内の用紙経路が汚れています。

用紙を数枚印刷してください。

ET カートリッジが劣化または損傷しています。

何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しいETカートリッジに交換してください。

指でこするとにじむ



用紙が湿気を含んでいます。

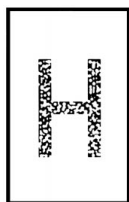
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。

本書「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。

📖 本書「印刷できる用紙の種類」2 ページ

黒い部分に白点がある



使用中の用紙が適切ではありません。

本書「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。

📖 本書「印刷できる用紙の種類」2 ページ

用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。

表（印刷）面を上に向けてセットしてください。

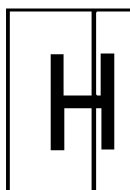
用紙全体が黒く印刷されてしまう



ET カートリッジが正しくセットされていません。
ET カートリッジを正しくセットし直してください。

ET カートリッジが劣化または損傷しています。
新しいET カートリッジに交換してください。

黒線が印刷される



ET カートリッジが損傷または劣化しています。
新しいET カートリッジに交換してください。

何も印刷されない



ET カートリッジのシールドテープが引き抜かれていません。
ET カートリッジを取り出し、シールドテープを引き抜いてください。

一度に複数枚の用紙が搬送されています。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

ET カートリッジにトナーが残っていません。
新しいET カートリッジに交換してください。

ET カートリッジが劣化または損傷しています。
新しいET カートリッジに交換してください。

白抜けがおこる



用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。
適切な用紙を使用してください。
☞本書「印刷できる用紙の種類」2 ページ

印刷濃度の設定が正しくありません。
印刷濃度調整ボリュームで適正な濃度に調整してください。
☞本書「印刷濃度の調整」188 ページ

裏面が汚れる



用紙経路が汚れています。
用紙を数枚印刷してください。



EPSONプリンタウィンドウ!3でのトラブル(Windows)



ポイント

CD-ROM内のプリンタドライバのReadmeファイルに、EPSONプリンタウィンドウ!3についての注意事項や制限事項などが記述されています。必ず一読してください。

「通信エラーが発生しました」と表示される



チェック

プリンタに電源が入っていますか？

コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオン(1)にします。



チェック

インターフェースケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェースケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲っていないかを確認してください。

(予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。)



チェック

インターフェースケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？(ローカル接続時)

インターフェースケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

☞本書「パラレルインターフェースケーブル」160ページ



チェック

プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか？(ローカル接続時)

Windows95/98の場合、双方向通信機能の設定を確認してください。

☞本書「プリンタ接続先の設定」66ページ



チェック

I/Fカードがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？

NetWare共有プリンタを監視するには、監視するプリンタにインターフェイスカード (PRIFNW1S/PRIFNW2S) を装着する必要があります。



その他のトラブル

印刷に時間がかかる



TrueType フォントを使用して印刷していませんか？

TrueType フォントはグラフィックとして処理されますので、印刷が遅くなる場合があります。TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えて印刷してください。

☞ Windows 本書「[拡張設定] ダイアログ」47 ページ
Macintosh 本書「印刷の設定」98 ページ



アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては十分ですか？

アプリケーションソフトへのメモリの割り当て量を増やしてください。



バックグラウンドプリントを[入]にしていますか？

ご利用の Macintosh によっては、バックグラウンドプリントを[入]にしておくと印刷に時間がかかることがあります。バックグラウンドプリントを[切]に設定して印刷してください。

☞ 本書「EPSON プリントモニタ!3 について」114 ページ

「トナーカートリッジコウカン」のメッセージが解除されない



トナー残量リセットを行いましたか？

新しいETカートリッジに交換した場合は、トナー残量のリセットを実行してください。

トナー残量リセットを実行することにより、プリンタは新しいETカートリッジに交換されたことを認識し、上記メッセージを解除します。

☞ 本書「ET カートリッジの交換」182 ページ

インターフェイスが切り替わらない



インターフェイスの切り替えに失敗しました。

操作パネルのスイッチでプリンタをリセットしてください。

本書「リセット / リセットオールについて」157 ページ

プログラムリスト、ハードコピーがとれない



エプソンPCシリーズ、NECPC-9800シリーズを使用している場合に、メモリスイッチの設定が合っていますか？

各コンピュータの取扱説明書を参照して、メモリスイッチの設定をしてください。

エプソン PC シリーズ→ 24 ピン系を選択します。

NECPC-9800 シリーズ→ 16 ピン系を選択します。



操作パネルのメッセージについて

ステータスメッセージ

プリンタの現在の状態を示すステータスメッセージは次の通りです。

表示	説明
ROM モジュール A カキコミチュウ	ソケット A の ROM モジュールにデータを書き込み中です。
インサツカノウ	印刷可状態で、プリンタに送られているデータがない状態です。
ウォームアップ	ウォーミングアップ中です。
オフライン	印刷可 スイッチが押されていません。
システムチェック	自己診断と、初期化を行っています。
ジョブ キャンセル	何らかの警告が表示されたときに、リセットなどの操作によって印刷処理を中止しました。
セツデン	節電状態です。データを受信したとき、またはリセットしたときなどに解除されます。
トナーガ ノコリスクナクナリマシタ	トナー残量が少なくなりました。 エラー解除 スイッチを押すと、メッセージを消去します (メッセージを消去しなくても、使用上問題ありません)。
ヨウシハイシチュウ	プリンタ内に残っている印刷データを、 排紙 スイッチによって印刷・排紙中です。
リセット (オール)	リセット (オール) 処理中です。
リセットシテクダサイ	印刷実行中にパネル設定を変更しました。以下の2つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) リセットまたはリセットオールを行います。直後に変更が反映されますが、印刷データはすべて削除されます。 (2) 印刷可 スイッチを押します。印刷実行後に変更が反映されます。
レイキャクチュウ	印刷品質を保つために定着器を冷却しています。しばらくすると印刷を再開します。

エラーメッセージ

操作パネル上の液晶ディスプレイにメッセージが表示されたときは、次の説明を参照して適切な処置をしてください。

表示・説明	処置
ROMモジュール A カキコミエラー 書き込み不可のカードに書き込もうとしたか、書き込みが正常に終了しませんでした。または、ソケット A に ROM モジュールが装着されていません。	プリンタの電源をオフ (○) にした後、ROM モジュールを取り外します。
ROMモジュールx フォーマットエラー 書き込み可能で未フォーマットの ROM モジュールがスロット x に装着されています。	初めて書き込む ROM モジュールであれば問題ありません。 エラー解除 スイッチを押して表示を消してください。書き込み終了後の ROM モジュールの場合は、以下の操作を行ってください。 ① エラー解除 スイッチを押して表示を消し、再度書き込みを行います。 ② 再度このメッセージが表示された場合は、ROM モジュールが破損している可能性があります。プリンタの電源をオフ (○) にした後、ROM モジュールを取り外します。
ROMモジュールx リードエラー 本プリンタでは利用できない ROM モジュールが装着されています。	プリンタの電源をオフ (○) にした後、ROM モジュールを取り外します。 本プリンタで使用可能な ROM モジュールかどうか型番などで確認してください。
ServiceReq xxxxx サービスコールエラーが発生しました。	一旦電源をオフ (○) にし、数分後にオン (I) にします。再度発生したときは、液晶ディスプレイの表示を書き写してから、販売店またはフィールドセンターにご連絡ください。連絡先は巻末に記載されています。
ウエカバーガ アイティマス 上カバーが開いています。	上カバーを閉じます。エラー状態が自動的に解除されます。
オプション I/F カードエラー 本プリンタでは使用できないインターフェイスカードが挿入されています。	電源をオフ (○) にした後、インターフェイスカードを抜きます。

表示・説明	処置
カイゾウドラ オトシマシタ メモリ不足により、指定された解像度での印刷ができず、何らかの省略を行って印刷しました。	印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、リセットまたはリセットオールを行います。印刷後に表示を消すには、 エラー解除 スイッチを押します。 再度印刷するときは [はやい] (300dpi) で印刷してください。[きれい] (600dpi) で印刷するには、メモリの増設が必要です。
キュウシミスデ ヨウシガツマリマシタ 給紙口で紙詰まりが発生し、正常に給紙が行われませんでした。	給紙口の紙詰まりを取り除きます。カセットで給紙する場合は、カセットを正しくセットします。上カバーを開けて、用紙の有無を確認してから、カバーを閉じます。ウォーミングアップ終了後、紙詰まりが発生したページから印刷が再開されます。このエラーが発生したときは、必ず上カバーを一度開けてください。 本書「用紙が詰まったときは」227 ページ
トナーカートリッジ コウカン ETカートリッジのトナーがなくなりました。	ET カートリッジを交換してください。このメッセージは、 エラー解除 スイッチを押すと一時的に消去できます。ただし、一枚印刷するごとに再度メッセージが表示されます。 本書「ET カートリッジの交換」182 ページ
トナーカートリッジヲ イレテクダサイ ETカートリッジがセットされていません。	ET カートリッジをセットし、上カバーを閉じると、エラー状態が自動的に解除されます。
ハイシブデ ヨウシガツマリマシタ プリンタ内部の定着器付近で紙詰まりが発生しました。 ヨウシガツマリマシタ プリンタ内部（給紙口以外）で紙詰まりが発生しました。	上カバーを開けて用紙を取り除き、上カバーを閉じます。エラー状態が自動的に解除されます。ウォーミングアップを行った後、紙詰まりが発生したページから印刷が再開されます。 本書「用紙が詰まったときは」227 ページ
ブスウシテイ デキマセンデシタ 指定した部数の印刷データを扱うためのメモリが足りないため、1部だけ印刷します。	プリンタドライバで解像度を [はやい] (300dpi) に設定することで、プリンタが扱う印刷データの量が少なくなり、複数部の印刷が可能になる場合があります。

表示・説明	処置
ページエラー オーバーラン 印刷内容が複雑で、プリンタの処理が追いつきません。	[デバイスメニュー]の[ジドウエラーカイジョ]が[シナイ]に設定されている場合は、以下の2つのうち、どちらかの操作を行ってください。 ① エラー解除 スイッチを押します。 ② リセットまたはリセットオールを行います。 [デバイスメニュー]の[ページエラーカイヒ]を[オン]にすると、このエラーは発生しません。[デバイスメニュー]の[ジドウエラーカイジョ]を[スル]にしておくと、一定時間(5秒)後に、自動的にエラー状態を解除します。
メモリアーオーバー メモリガタリマセン 処理中にメモリ不足が発生し、動作が続行できなくなりました。	[デバイスメニュー]の[ジドウエラーカイジョ]が[シナイ]の場合は、以下の2つのうち、どちらかの操作を行ってください。 ① エラー解除 スイッチを押します。 ② リセットまたはリセットオールを行います。 再度印刷するときは、プリンタドライバで解像度を[はやい](300dpi)に設定するか、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げてください。または、メモリを増設してください。 [デバイスメニュー]の[ジドウエラーカイジョ]を[スル]にしておくと、一定時間(5秒)後に、自動的にエラー状態を解除します。
メモリノ ソウセツヲ オススメシマス 印刷処理中にメモリ不足が発生しました。印刷は続行します。	印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、リセットまたはリセットオールを行います。 印刷後に表示を消すには、 エラー解除 スイッチを押します。再度印刷するときは、[はやい](300dpi)で印刷してください。[きれい](600dpi)で印刷するためには、メモリを増設が必要です。
ヨウシカクニン xxxx yyyy ESC/Page コマンドでマニュアルフィードモードが指定されたとき、印刷を開始する前に選択された給紙装置xxxxと用紙サイズyyyyを表示します。	給紙装置xxxxにサイズyyyyの用紙をセットします。用紙カセットの場合、用紙ガイドが正しく用紙サイズ位置にセットされていることを確認してください。用紙トレイの場合、トレイ紙サイズスイッチがセットした用紙サイズと一致していることを確認してください。 エラー解除 スイッチまたは 印刷可 スイッチを押すと、印刷を開始します。
ヨウシカセットヲセットシテクダサイ 用紙カセットがセットされていません。	用紙カセットをセットすると、エラー状態を自動的に解除して印刷します。

表示・説明	処置
ヨウシコウカン xxxxx yyyy 給紙を行おうとした給紙装置 xxxxx にセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズ yyyy が異なっています。	[デバイスメニュー] の [ジドウエラーカイジョ] が [シナイ] に設定されている場合は、以下の3つのうち、どれかの操作を行ってください ([デバイスメニュー] の [ジドウエラーカイジョ] を [スル] にしておくと、一定時間 (5 秒) 後に、自動的にエラー状態を解除します)。 ① 給紙装置 xxxxx にサイズ yyyy の用紙をセットします。[エラー解除] スイッチを押して印刷します。 ② 用紙を交換しないで [エラー解除] スイッチを押します。セットされている用紙に印刷します。 ③ リセットまたはリセットオールを行います。
ヨウシコウカントレイ yyyy [トレイ紙サイズスイッチ] の設定が、セットされている用紙サイズと異なっています。	[トレイ紙サイズスイッチ] の確認、または変更をしてください。
ヨウシサイズエラー 給紙した用紙と設定されている用紙サイズが異なっています。	[デバイスメニュー] の [ジドウエラーカイジョ] が [シナイ] に設定されている場合は、[エラー解除] スイッチを押します。 [デバイスメニュー] の [ヨウシサイズフリー] を [ON] に設定しておくことにより、[ヨウシサイズエラー] のメッセージは表示されなくなります。
ヨウシタイプ エラー 印刷時に指定した用紙サイズと用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。	メッセージは [エラー解除] スイッチを押すと消えます。操作パネルの設定で、各給紙装置の用紙タイプの設定を確認してください。
ヨウシナシ xxxxx yyyy 以下のような場合に表示されます。 ① 印刷のために給紙しようとした給紙装置 xxxxx に、用紙がセットされていません。 ② すべての給紙装置に用紙がセットされていません。	①の場合 給紙装置 xxxxx にサイズ yyyy の用紙をセットすると、エラー状態を自動的に解除して印刷します。 ②の場合 いずれかの給紙装置に用紙をセットすると、エラー状態を自動的に解除して印刷します。



用紙が詰まったときは

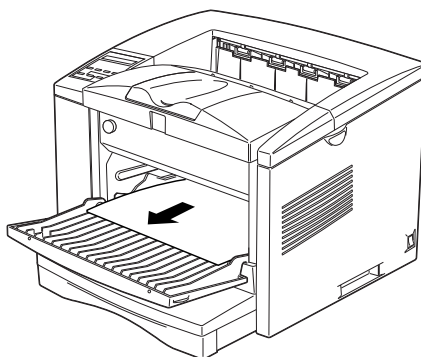
紙詰まりが発生したときは、液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。このときは、次の手順に従って用紙を取り除いてください。



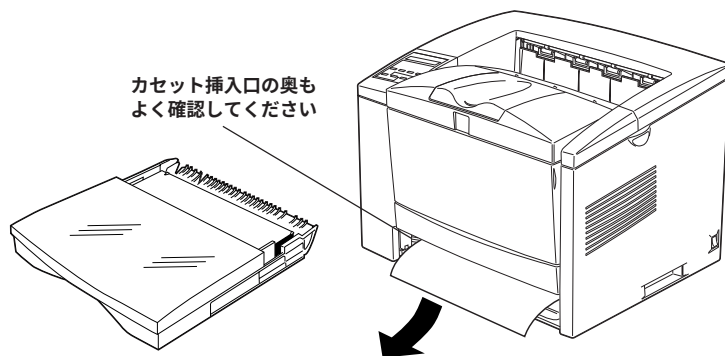
用紙を取り除く際に、用紙を破かないよう注意してください。
用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。

給紙部で用紙が詰まったときは

- 1 用紙トレイの用紙を取り除き、詰まった用紙があるか確認します。
用紙トレイの給紙口で用紙が詰まっているときは、図のように用紙を引き抜きます。



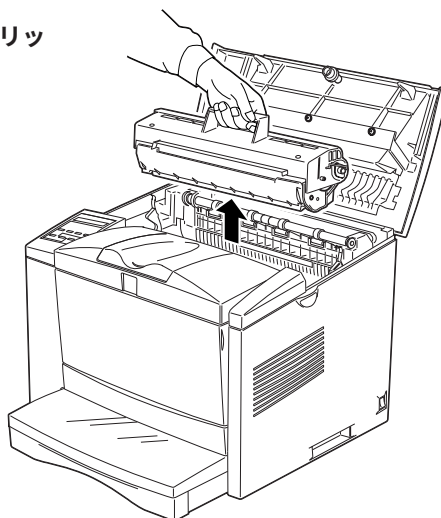
- 2 用紙カセットを引き抜き、詰まった用紙があるか確認します。
カセットユニット内やプリンタ底部で用紙が詰まっているときは、図のように用紙を引き抜きます。残りの用紙がカセットのツメの下に正しくセットされていることを確認し、用紙カセットをセットします。



- 3 プリンタの上カバーを一度開閉します。

プリンタ内部で用紙が詰まったときは

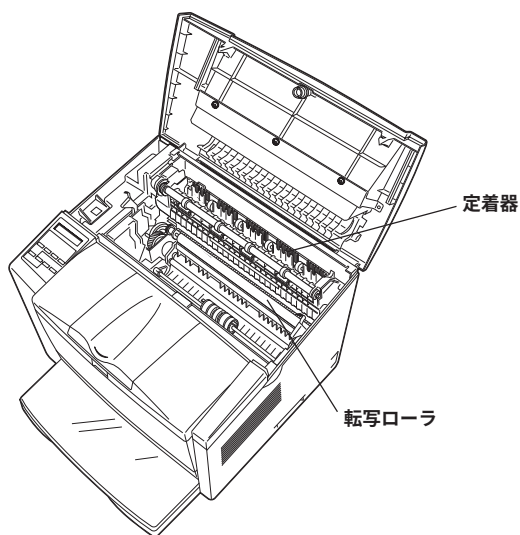
- 1** 上カバーを開け、ETカートリッジを取り出します。



⚠ 注意

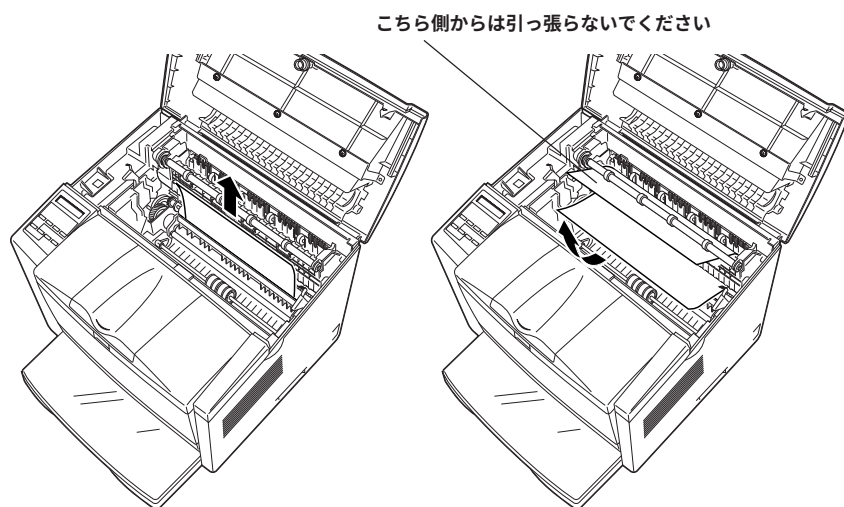
カバーを開けたとき、次の部分に手を触れないようご注意ください。

- 定着器部分（内部は高温のため火傷の原因になります）
- 転写ローラ部分（印刷品質劣化の原因になります）



ETカートリッジを取り出してから、詰まった用紙を取り除いてください。
ETカートリッジを取り出さずに詰まった用紙を無理に引き出すと、印字不良等の原因になります。

2 詰まっている用紙を引き抜きます。



3 ETカートリッジを取り付け、上カバーを閉じます。

ディスプレイの表示が「ウォームアップ」→「インサツカノウ」へと戻ることを確認します。正常に印刷排紙できなかったページは自動的に再度印刷されます。

紙詰まりの主な原因は次のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、順に確認してください。

- プリンタが水平に設置されていない
- OHPシートの場合、セットする前によくさばいていない
- 用紙カセットや用紙トレイに用紙が正しくセットされていない
- 用紙カセットが正しくセットされていない
- 本機で使用できない用紙を使用している
- 吸湿して波うちしている用紙を使用している



ポイント

- 用紙トレイや用紙カセットの給紙口から詰まった用紙を引き抜いた場合、用紙を引き抜いた後も液晶ディスプレイに「ヨウシガツマリマシタ」と表示されることがあります。これは、プリンタの上カバーを開閉しないと紙詰まりのエラーが解除されないためです。液晶ディスプレイに「ヨウシガツマリマシタ」と表示された場合、プリンタ内部に詰まった紙がなくても、上カバーの開閉を1回行ってください。
- 詰まった紙を取り除く際に、用紙の一部がちぎれて手の届かないところに残ってしまった場合などは、無理に取り除こうとせずに、エプソンフィールドセンター、または保守契約をされている場合は契約店にご連絡ください。
エプソンフィールドセンターの連絡先は巻末に記載されています。

付録

●フロッピーディスクをご希望のお客様へ.....	232
●サービス・サポートのご案内	234
●コントロールコードについて	237
●プリンタの仕様	238
●用語の説明	246



フロッピーディスクをご希望のお客様へ

本機に同梱のEPSONプリンタドライバのメディアはCD-ROMです。3.5インチフロッピーディスクをご希望のお客様は、実費にて対応させていただきますので、お手数ですが以下の方法にてお申し込みください。

申込手順

- 1** エプソンFAXインフォメーションで、LPシリーズの最新ドライバのご案内に関する資料をご覧ください。
エプソンFAXインフォメーションのお問い合わせ先は、巻末を参照してください。
- 2** 郵便局に備え付けの振込用紙を使用し、指定口座に代金をお振り込みください。
(お振り込みの際の振込手数料は、別途お客様ご負担でお願いいたします)
- 3** **1**の資料の中にある申込用紙に必要事項を記入の上、お振り込みの際に受け取られた払込受領証のコピーを所定場所に貼布し、エプソンディスクサービスにFAXまたは郵送にて送付してください。
(払込受領証の原本はお客様にて保管してください)

申込用紙をご送付いただきましてから、約1週間程でお客様のお手元に、郵送にてお届けいたします。

領収書につきましては、振込の際に郵便局から受け取る払込受領証をもって、これにかえさせていただきます。

エプソンディスクサービス

郵便口座番号 : 00170-2-971687
加入者名 : エプソン販売株式会社
ファックス申込の場合 : 03-5778-6320
郵送申込の場合 : 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-16-1
日石渋谷ビル 8F
エプソンディスクサービス係

フロッピーディスクについてのご入金（お振込）・発送のお問合せ
エプソンディスクサービス TEL. 03-5469-7350
【受付時間】 9:00～12:00、13:00～17:00（土日祝祭日を除く）



サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

エプソンFAXインフォメーション

EPSON製品に関する最新情報を24時間、FAXでお引き出しいただけます。
FAX付属の電話機(プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種)からおかけください。

FAX 番号 : ㊞本書巻末の一覧表をご覧ください。

情報内容 : 製品情報(カタログ、機能概要)

技術情報(Q&A など)

パソコンスクール、サービスセンター情報など

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関する様々なご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間 : ㊞本書巻末の一覧表をご覧ください。

電話番号 : ㊞本書巻末の一覧表をご覧ください。

インターネット・パソコン通信サービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、パソコン通信による情報の提供を行っています。

また、プリンタドライバは、エプソン販売(株) WWW サーバおよびパソコン通信による提供が行われています。最新プリンタドライバを組み込む場合は、ダウンロードした圧縮ファイルを解凍後、SETUP.EXEを実行してインストールしてください。

■ インターネット

エプソン販売 WWW SERVER : <http://www.i-love-epson.co.jp>

(ソフトウェアダウンロードサービス)

■ パソコン通信名

NIFTY SERVE : EPSON information Forum (コマンド: GO FEPSONI)

□は、半角スペースです。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。(東京・大阪)

■ 東京 : 午前 10:00 ~ 午後 6:00

(土・日・祝日もオープン、指定休館日あり)

■ 大阪 : 午前 10:00 ~ 午後 6:00

(土・日・祝日もオープン、※水曜休館、指定休館日あり)

所在地 : ㊞本書巻末の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

スキャナ、デジタルカメラ、プリンタそしてパソコン。でも、分厚い解説本を見たとなん、どうもやる気が失せてしまう。エプソンデジタルカレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的に教えます。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。お問い合わせは本書巻末の一覧をご覧ください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書「困ったときは」をお読みください。そして、接続や設定にまちがいがいいことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載もれがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受け付け窓口

保守サービスのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービス認定店
- エプソンフィールドセンター

電話番号： ☎ 本書巻末の一覧表をご覧ください。

受付時間： 午前 9:00 ～ 午後 5:30
月曜日～金曜日（祝日を除く）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の3種類の保守サービスを用意しています。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。

種類	概要	修理代金と支払方法	
		保証期間内	保証期間外
年間保守契約	製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。修理のつど発生する修理代・部品代*の費用はいただきませんので予算化ができて便利です。また、定期点検(別料金)で、故障を未然に防ぐことができます。	年間一定の保守料金一括前払いでお支払いいただきます。 *消耗品(ETカートリッジ、用紙など)は保守料金に含まれておりません。	
出張修理 スポット	お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。故障の発生した製品をお持ち込みできない場合にご利用ください。	出張費用のみ	出張費用＋修理費用
持ち込み修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みいただき、一旦お預りして修理いたします。お持ち込みいただくときは、必ず巻末の「修理依頼票」を製品に添付してください。「修理依頼票」は修正箇所をすばやく、的確に把握し、修理時間を短縮するための貴重な資料となります。持ち込み修理の場合は、「年間保守契約」や「スポット出張修理」よりも、多少お時間をいただきます。	無料	修理費用のみ
		修理完了後、そのつどお支払いください。 修理完了品をお届けしたときにお支払いください。	

* 製品によっては、上記保守サービスの一部あるいは全部が実施できない場合がございますので、詳細については、最寄りのエプソンフィールドセンターまでお問い合わせください。

持ち込み修理をされる方へ

「持ち込み修理」をされる場合は、巻末の「修理依頼票」をコピーして、必要事項をご記入のうえ必ず製品に添付してください。「修理依頼票」は修正箇所をすばやく、的確に把握し、修理時間を短縮するための貴重な資料となります。



コントロールコードについて

コントロールコードの詳細は、別売のリファレンスマニュアルをご覧ください。

なお、以下のマニュアルにつきましては、エプソンOAサプライ（株）にてお取り扱いをしています。

エプソンOAサプライ（株）のお問い合わせ先は巻末に記載されています。
または巻末のFAX注文書にてご注文していただきますようお願い申し上げます。

ESC/Pageコントロールコード

ESC/Page コントロールコードについては、別売の「ESC/Page リファレンスマニュアルー第4版」をご覧ください。

商品名
ESC/Page リファレンスマニュアルー第4版ー

機種固有情報について

リファレンスマニュアルの情報にはすべての機種に共通な情報と機種固有の情報があります。LP-8600F/8400F/8300Fの機種固有情報につきましては、リファレンスマニュアル内の「LP-9200」の項目をご覧ください。

ESC/Pコントロールコード

ESC/P コントロールコードについては、別売の「ESC/P リファレンスマニュアルー第2版」をご覧ください。

商品名
ESC/P リファレンスマニュアルー第2版ー

機種固有情報について

LP-8600F/8400F/8300FはESC/P J84に分類されます。



プリンタの仕様

プリンタの仕様について記載しています。参照資料としてお役立てください。

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査＋乾式一成分磁性トナー電子写真方式		
解像度	300 または 600dpi [dpi: 25.4mm {1 インチ} あたりのドット数 (Dot Per Inch)]		
プリント速度 (用紙カセット)	LP-8600F	: 20.6ppm (A4 横送り)、12.7ppm (B4)、10.9ppm (A3)	
	LP-8400F	: 16.2ppm (A4 横送り)、10.1ppm (B4)、8.6ppm (A3)	
	LP-8300F	: 12.4ppm (A4 横送り)、7.6ppm (B4)、6.5ppm (A3)	
	(ppm = 枚 / 分)		
ウォームアップ時間	20 秒以内 *	(23°C 定格電圧にて)	* 節電モードから 8 秒以内
ファーストプリント	LP-8600F	: 用紙トレイ	11.5 秒 (A4)、13.3 秒 (B4)、14.0 秒 (A3)
		標準カセット	11.5 秒 (A4)、13.3 秒 (B4)、14.0 秒 (A3)
	* LP-8600F にオプションカセットユニットを 2 段増設した場合、最下段からの値は上記の値に 0.8 秒足したものになります。		
	LP-8400F/8300F	: 用紙トレイ	13.5 秒 (A4)、15.7 秒 (B4)、16.5 秒 (A3)
		標準カセット	13.6 秒 (A4)、15.8 秒 (B4)、16.6 秒 (A3)
		オプションカセット	14.8 秒 (A4)、17.0 秒 (B4)、17.8 秒 (A3)
稼働音	待機時	: 約 32dB (A)	
	稼働時	: LP-8600F	50dB (A)
		LP-8400F/8300F	49dB (A)

文字仕様

文字コード	JISX0208-1990 準拠
書体	欧文 ローマン、サンセリフ Windows 対応 TrueType 互換 14 書体 • DutchTM 801 (Medium/Italic/Bold/Bold Italic) • SwissTM 721 (Medium/Italic/Bold/Bold Italic) • Courier (Medium/Italic/Bold/Bold Italic) • Symbol • WingBats 和文 明朝、ゴシック

用紙関係

給紙装置		使用できる 用紙	容量	用紙サイズ () 内は、操作パネルの液晶表示上での表記です。
標準	用紙トレイ ^{*1}	普通紙	200 枚 ^{*2}	A3、A4、A5、B4、B5、Letter (LT)、
		厚紙 / レターヘッド [*]	10 枚 ^{*3}	Half-Letter (HLT)、Executive (EXE)、Legal (LGL) ^{*4} 、
		ラベル紙	75 枚	GovernmentLegal (GLG)、GovernmentLetter (GLT)、
		OHP シート		GovernmentLetter (GLT)、Ledger (B)、F4、不定形紙
		封筒 ^{*5}	10 枚	Monarch (MON)、Commercial-10 (C10)、DL、C5
		長尺紙	1 枚	297mm × 432mm ~ 900mm
		官製ハガキ ^{*6}	75 枚	100mm × 148mm (往復はがき 200mm × 148mm)
	用紙カセット	普通紙	250 枚 ^{*2}	A3、A4、A5、B4、B5、
		ラベル紙	20 枚	Letter (LT)、Legal (LGL)
		OHP シート		
オプション	ユニバーサル カセットユニット (LPUC1)	普通紙	250 枚 ^{*2}	A3、A4、A5、B4、B5、
		ラベル紙	20 枚	Letter (LT)、Legal (LGL)
		OHP シート		
	大容量カセット ユニット (LPDC6)	普通紙	500 枚 ^{*2}	A4
	ユニバーサルショート カセット ^{*7} (LPSC1)	普通紙	250 枚 ^{*2}	A4、A5、B5、Letter (LT)

*1 : 用紙トレイにセットできる用紙の高さは 16mm 以下です。

*2 : 64g/m² の場合です。

*3 : 135g/m² の場合です。

*4 : トレイ紙サイズスイッチでは [LG14 』に設定します。

*5 : 定形サイズ以外の封筒を使用する場合はユーザー定義サイズで使用する封筒のサイズを設定して使用してください。
和封筒はご使用いただけません。

*6 : 190g/m² の場合です。

*7 : 標準の用紙カセットまたはオプション (LPUC1/LPDC6) の用紙カセットと差し替えて使用します。

排紙容量	最大 250 枚 (普通紙 64g/m ²)
用紙の種類	(用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙印字品質チェックをしてください。) 普通紙 • 60 ~ 90g/m² • 一般に適用しているコピー用紙、再生紙、ボンド紙、色付き、印刷済 特殊紙 • ラベル紙、官製ハガキ^{*1}、封筒^{*1}、OHP シート、厚紙 (90 ~ 135g/m²) ^{*1}、レターヘッド^{*1}、不定形紙^{*1}、長尺紙^{*1}

*1 : 用紙トレイからのみ給紙できます。

用紙サイズと給紙方法

用紙サイズ		用紙 トレイ	ユニバーサル カセット ^{*1}	大容量 カセット ^{*2}	ユニバーサル ショートカセット
A3	297mm × 420mm	○	○	—	—
A4	210mm × 297mm	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
A5	148mm × 210mm	○ ^{*3}	○ ^{*3}	—	○ ^{*3}
B4	257mm × 364mm	○	○	—	—
B5	182mm × 257mm	○ ^{*3}	○ ^{*3}	—	○ ^{*3}
Letter (LT)	215.9mm{8.5インチ} × 279.4mm{11インチ}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	—	○ ^{*3}
Half-Letter (HLT)	139.7mm{5.5インチ} × 215.9mm{8.5インチ}	○ ^{*3}	—	—	—
Legal (LGL)	215.9mm{8.5インチ} × 355.6mm{14インチ}	○	○	—	—
Executive (EXE)	184.15mm{7.25インチ} × 266.7mm{10.5インチ}	○ ^{*3}	—	—	—
Government Legal (GLG)	215.9mm{8.5インチ} × 330.2mm{13インチ}	○	—	—	—
Government Letter (GLT)	203.2mm{8インチ} × 266.7mm{10.5インチ}	○ ^{*3}	—	—	—
Ledger (B)	279.4mm{11インチ} × 432mm{17インチ}	○	—	—	—
F4	210mm × 330mm	○	—	—	—
不定形紙	用紙幅 90.1mm ~ 297mm 用紙長 148mm ~ 431.8mm	○ ^{*4}	—	—	—
長尺紙	用紙幅 297mm 用紙長 432mm ~ 900mm	○ ^{*4}	—	—	—
官製ハガキ	100mm × 148mm	○	—	—	—
封筒	Monarch (MON)	98.43mm{3 7/8インチ} × 190.5mm{7 1/2インチ}	○	—	—
	Commercial-10 (C10)	104.78mm{4 1/8インチ} × 241.3mm{9 1/2インチ}	○	—	—
	DL	110mm × 220mm	○	—	—
	C5	162mm × 229mm	○	—	—

*1 : 標準装備のカセット1およびオプションのユニバーサルカセットユニット (LPUC1) です。

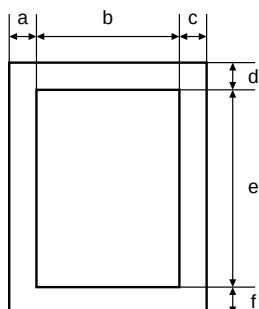
*2 : オプションの大容量給紙ユニット (LPDC6) です。

*3 : 用紙の給紙方向に対して横長になる向きでセットします。

*4 : アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は印刷できません。

印刷可能領域

用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷可能



定形紙（単位：ドット、600dpi）

名 称	a	b	c	d	e	f
A3	120	6776	120	120	9680	120
A4	120	4720	120	120	6776	120
A5	120	3256	120	120	4720	120
B4	120	5832	120	120	8360	120
B5	120	4060	120	120	5832	120
Letter (LT)	120	4860	120	120	6360	120
Half Letter (HLT)	120	3060	120	120	4860	120
Legal (LGL)	120	4860	120	120	8160	120
Executive (EXE)	120	4110	120	120	6060	120
Government Legal (GLG)	120	4860	120	120	7560	120
Government Letter (GLT)	120	4560	120	120	6060	120
Ledger (B)	120	6360	120	120	9960	120
F4	120	4720	120	120	7556	120
官製ハガキ	120	2122	120	120	3256	120
封筒	Monarch (MON)	120	2084	120	4260	120
	Commercial-10 (C10)	120	2234	120	5460	120
	DL	120	2358	120	4956	120
	C5	120	3586	120	5168	120

不定形紙

名 称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1886	120	120	3256	120
最大サイズ	120	6776	120	120	21020	120

- 図と表は、ESC/Page モードの場合です。他のモードでは、多少違う場合があります。
- アプリケーションソフトで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙および長尺紙への印刷はできません。

電気関係

定格電圧	AC100V ± 10%
定格電流	8.0A
周波数	50/60Hz ± 3Hz (国内向)
消費電力	LP-8600F : 最大 780W 以下、連続プリント時 370W 以下、節電時 20W 以下 (ヒーターオフ時) LP-8400F : 最大 780W 以下、連続プリント時 320W 以下、節電時 20W 以下 (ヒーターオフ時) LP-8300F : 最大 780W 以下、連続プリント時 300W 以下、節電時 20W 以下 (ヒーターオフ時)

環境使用条件

動作時	温度	: 10 ~ 32°C
	湿度	: 20 ~ 80% (ただし結露しないこと)
	気圧 (高度)	: 740 hPa 以上 (2500m 以下)
	水平度	: 傾き 2° 以下
	照度	: 3000lux 以下
	周囲スペース	: 左側方 200mm、右側方 200mm、後方 200mm、 上方 400mm、前方 700mm
保存・輸送時	温度	: 0 ~ 35°C
	湿度	: 15 ~ 80%

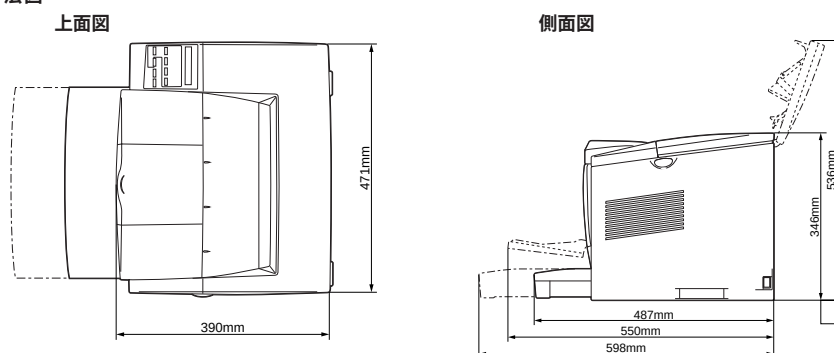
コントローラ基本仕様

CPU	LP-8600F : R4310 (167MHz) LP-8400F/8300F : R4310 (133MHz)
RAM	標準 : 8MB オプション増設時 : 最大 256MB
インターフェイス	標準 : パラレル IEEE1284 準拠双方向 コンパチブル、ニブルモード、ECP モード : シリアル RS-232C (LP-8300F を除く) オプション : Type B I/F (1 スロット)
オプション ROM モジュールソケット	A スロット B スロット * : EP-GL モジュール、フォント ROM モジュール、 オーバーレイモジュール用 * LP-8300F は 1 スロットのみ
プリンタ設定	パネル設定およびパネル設定ユーティリティにて保存 記憶素子 E ² PROM (シリアルタイプ、16Kbit)
内蔵モード	標準 ESC/Page モード (双方向機能) ESC/P モード (VP-1000 エミュレーション) ESC/PS モード (PC-PR201H エミュレーションと ESC/P を自動判別) オプション EP-GL モード その他 EIJ モード (双方向機能)

外觀仕様

外形寸法	幅 471mm × 奥行き 487*mm × 高さ 346mm *用紙カセットを最大に伸ばすと、598mm になります。
重量	約 20.5kg（消耗品、オプション類は含まない）

寸法図



オプション装着時

- 本体 + LPUC1
471 (W) × 487 (D) × 422 (H) mm
- 本体 + LPDC6 または LPUC1
471 (W) × 487 (D) × 459 (H) mm
- 本体 + LPUC1 2 段 (LP-8600F のみ)
471 (W) × 487 (D) × 500 (H) mm
- 本体 + LPUC1 + LPDC6 (LP-8600F のみ)
471 (W) × 487 (D) × 538 (H) mm

パラレルインターフェイス仕様

転送形式	: 8 ビットパラレル (IEEE1284 準拠)
同期方法	: 外部供給ストロープパルス信号
ハンドシェイク	: ACKNLG または BUSY 信号
ロジックレベル	: TTL レベルと同等
適合コネクタ	: 57-30360 AMPHENOL 相当

信号説明:

ピン番号	信号名	I/O
1	<u>STROBE</u>	I
2	DATA1	I/O
3	DATA2	I/O
4	DATA3	I/O
5	DATA4	I/O
6	DATA5	I/O
7	DATA6	I/O
8	DATA7	I/O
9	DATA8	I/O
10	<u>ACKNLG</u>	O
11	BUSY	O
12	PE	O
13	SLCTOUT	O
14	<u>AUTOFEED</u>	I
15	NC	—
16	GND*1	—
17	CHASSIS-GND*1	—
18	Peripheral Logic High*2	O
19 ~ 30	GND	—
31	<u>INIT</u>	I
32	<u>ERROR</u>	O
33	GND	—
34	NC	—
35	+ 5V*3	—
36	<u>SLCTIN</u>	I

I = 入力信号、O = 出力信号、NC = 未使用

LOW アクティブ信号の場合、信号名の上に横棒が入っています。

*1 : CHASSIS- GND と GND はプリンタ内でつながっています。

*2 : プリンタに電源が入っていることをホストに知らせる + 5V の出力信号です。

*3 : 電源ではありません。

シリアルインターフェイス仕様（LP-8300F を除く）

転送形式	: RS-232C
電送形式	: 全二重通信モード
同期方式	: 調歩同期式
	スタートビット 1 ビット
	ストップビット 1 または 2 ビット
	データ長 7 または 8 ビット
	パリティ 奇数、偶数、またはパリティなし
プロトコル	: XON/XOFF (DTR コントロールと併用可能) DTR/DSR コントロール (XON/XOFF と併用可能)
転送速度	: 300 ~ 115200bps
(ただし、38400bps 以上の通信速度で使用する場合には、コンピュータケーブル等の使用条件が限定されます。また、プロトコルについては、XON/XOFF を無効にして、DTR/DSR コントロールを使用してください。)	
適合コネクタ	: 207463-1 AMP 25 ピン D-sub

RS-232C 信号説明

ピン番号	信号名	I/O
1	CHASSIS-GND*	—
2	TXD	O
3	RXD	I
4	RTS	O
5	NC	—
6	DSR	I
7	SIGNAL-GND*	—
8 ~ 19	NC	—
20	DTR	O
21 ~ 25	NC	—

I = 入力信号、O = 出力信号、NC = 未使用

* CHASSIS-GND と SIGNAL-GND はプリンタ内でつながっています。

プロトコル	シリアルインターフェイスには次の2種類のプロトコルがあり、それぞれをパネル設定により指定することができます（プロトコルは、コンピュータ側の設定と合わせてください）。
DTR/DSR コントロールプロトコル	パネル設定により DTR/DSR コントロール・プロトコルを実行することができます。 DTR 信号は、プリンタが受信可能のとき、"HIGH" 状態になります。ただし、パネル設定の DTR コントロールがオフのとき、DTR は常に "HIGH" のままです。プリンタは、DSR 信号が "HIGH" 状態のときだけ TXD を送出します（ただし、DSR コントロール がオフの場合は、DSR 信号を常に "HIGH" 状態とみなします）。 XON/XOFF の送出は DSR に関係しません。
XON/XOFF (DC1/DC3) コントロールプロトコル	パネル設定により XON/XOFF コントロールプロトコルを実行することができます。XOFF (DC3) コードは、受信バッファの残りが256byte 以下になったときに送出され、128 文字以内にデータの送出を停止するようにコンピュータに警告します。 XOFF (DC3) の送出後もさらに送られてくるコンピュータの送信データに対しては、それ以上 XOFF コードは送出されません。 XOFF 送出後の XON (DC1) コードは、受信バッファの残りが512byte 以上になったときに送出されます。電源投入時は XON コードが送出されます。 パネル設定により XON/XOFF を送出しないように設定することができます。なお、コンピュータから XON/XOFF を受信しても、プリンタは受信データとして処理します。 38400bps 以上の通信速度で使用する場合は、XON/XOFF コントロールを無効にし、DTR/DSR コントロール・プロトコルを使用してください。XON/XOFF の送出間隔が短い場合、コンピュータ側が処理できない場合があります。



用語集

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

アルファベット

- A ACKNLG (アクノレッジ)**
データを正しく受け取ったことを知らせる信号。
- B Byte (バイト)** コンピュータやプリンタの中で扱う情報の単位。8ビットで構成されており、1バイトは通常1文字または1コードに対応しています。
- C CPI (Characters Per Inch/シーピーアイ)**
25.4mm {1 インチ} の横幅に印字できる文字数を表す単位です。文字ピッチを示す単位として使います。
- CPL (Characters Per Line/シーピーエル)**
1行に印字できる文字数を表す単位です。文字ピッチを示す単位として使います。
- CPU (Central Processing Unit/シーピーユー)**
プログラムを解釈し、演算を行う中枢部のことです。
- CR (Carriage Return/キャリッジリターン)**
1行の印字を行ったあとに次の印字位置をその行の先頭に戻す制御コードです。ASCIIまたはJISコードの0DH (10進数の13) です。
- D dpi (Dots Per Inch/ディーピーアイ)**
25.4mm {1 インチ} 幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使います。
- E E²PROM (Electrical Erasable Programmable ROM/イーイーピーロム)**
電氣的に内容を消去することができるPROMのこと。PROMを参照。
- ESC/P[®] (EPSON Standard Code for Printer/イーエスシーピー)**
エプソンによって標準化された、印字するためにコンピュータからプリンタに送る命令(コントロールコード)体系。
- ESC/Page[®]**
(EPSON Standard Code for Page Printer/イーエスシーページ)
エプソンによって標準化された、コンピュータからページプリンタに送る命令(コントロールコード)体系。
- ESC/P エミュレーションモード**
プリンタがESC/Pのコントロールコードで動作する状態のことで、エプソン24ドット漢字プリンタに対応したアプリケーションソフトのほとんどを使うことができます。
- ESC/P スーパーモード**
プリンタがESC/PまたはPC-PR201Hのコントロールコードで動作する状態です。エプソン24ドット漢字プリンタまたは日本電気株式会社のPC-PR201Hに対応したアプリケーションソフトのほとんどを使うことができます。
- ETカートリッジ** トナーとドラムユニットを一体化したもの。
- EP-GL** HP-GLを参照。
- F FF (Form Feed/フォームフィード)**
改ページを行う制御コードで、ASCIIまたはJISコードの0CH (10進数の12) です。
- H HP-GL[®]** 米国Hewlett-Packard社が開発した、プロッタ用グラフィック言語。オプションのEP-GLモジュールをプリンタに取り付けることにより、本プリンタをEP-GLモードで使用できます。

I IEEE インターフェイス (IEEE-488)

IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) によって、デジタル機器の接続用標準バスとして定められているインターフェイス。同様なバスとして、GP-IB (General Purpose Interface Bus) や HP-IB (Hewlett-Packard Interface Bus) などがあります。

J JIS (Japanese Industrial Standard/ジス)

日本国内の文字コードや漢字コードを規定している、日本工業規格の略称です。

K KB (kilobyte/ キロバイト)

データ量やメモリ容量の単位です。1KB は 1024 バイトになります。

L LF (Line Feed/ ラインフィード)

改行を行う制御コードで、ASCII または JIS コードの 0AH (10 進数では 10) です。

M MB (megabyte/ メガバイト)

データ量やメモリ容量の単位です。1MB は 1024×1024 バイト (= 1024KB) になります。

O OCR

人間が読みとれる数字や文字をそのまま機械に認識させる方式。

OCR-B

光学的文字認識に用いる目的で開発され JISX9001 に規定された書体の名称。

OHPシート

オーバーヘッドプロジェクタ用の透明フィルム。

P ppm (Pages Per Minute/ ピーピーエム)

1 分間に印刷できる用紙の枚数。

PROM (Programmable ROM/ ピーロム)

プログラムなどを書き込むことができる ROM のこと。ROM を参照。

R RAM (Random Access Memory/ ラム)

データなどを読み書きできるメモリです。

ROM (Read Only Memory/ ロム)

データなどの読み出し専用のメモリです。

RS-232C

コンピュータとプリンタをケーブルで接続する標準的なシリアルインターフェイスです。

数字

2 進法 (binary: バイナリ)

0 と 1 の 2 つの数字だけを使用して、数値を数える体系です。基数 (数を表現するために使う記号の数) は 2 になります。コンピュータシステムの全情報はバイナリ形式で処理されます。バイナリの数字はビットと呼びます。0 ~ 255 までの任意の数字は、8 ビットの 2 進数で表現されます (0 ~ 11111111)。

10 進法 (decimal: デシマル)

数字の 0、1、2、3、4、5、6、7、8 および 9 を使用して、数値を数える体系です。基数は 10 になります。ごく一般的に使用される、数値の数え方です。

16 進法 (Hexadecimal: ヘキサデシマル、Hex と略される)

10 進法の 0 ~ 9 までは 10 進法と同じ数字を使い、10 ~ 15 を A ~ F のアルファベット文字で表現して、数値を数える体系です。基数は 16 になります。ふつう 16 進数の数の表記では、数字の末尾に H または h を付けます (例: 0AH は、10 進数の 10 に相当します)。プログラムなどで主に使用される数え方で、0 ~ 255 の数は 2 桁の 16 進数で表現できます (0H ~ FFH)。

アイウエオ

ア アウトラインフォント

数式によって定義されているフォント。アウトラインフォントでは、サイズや方向など、文字の属性を変更することができます。

アプリケーションソフトウェア

コンピュータ上で動作する、実際の業務や作業をするためのソフトウェア。ワードプロセッサや表計算ソフトウェア。通常の印刷は、アプリケーションソフトウェアを使用して行います。

- イ インターフェイス コンピュータとプリンタとの間の接続のために使用するハードウェアやソフトウェア。パラレルインターフェイスはデータを1文字、あるいは一度にデータを1コード(8ビット)ずつ送信します。シリアルインターフェイスは、データを一度に1ビットずつ送信します。

インターフェイスケーブル

コンピュータとプリンタをインターフェイスで接続するケーブル。

インターフェイスコネクタ

インターフェイスケーブルを差し込む端子。

- エ 液晶ディスプレイ 液晶板を使用した表示装置。本機では操作パネルに使用されています。

エラーメッセージ 液晶ディスプレイに表示される異常状態のメッセージのこと。

- オ オプション 利用者が自由に選択して購入できる部品のこと。

オフセット 印字位置を上下左右に移動させる量。

- カ キャッシュ フォントキャッシュを参照してください。

給紙 用紙をプリンタに供給すること。

- シ 初期設定 プリンタの電源をオンにしたり、プリンタを初期化したときに有効になる設定。プリンタの工場出荷時設定と同じです。

書体 明朝、ゴシックなどの文字のデザイン。

シリアルインターフェイス

データを1ビットずつ転送するインターフェイス。

- ス ステータスシート プリンタの状態や設定値を印刷した用紙です。

- セ 全二重通信 2つの機器の間で、同時にデータの送信と受信を行うこと。

- チ 長尺紙 長辺が432mm以上の用紙。

調歩同調式 データにスタートビットと、ストップビットを付加した、シリアルデータ転送方式。

チェックデジット 読み取りの正確性を保つために所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

- ツ 坪量 用紙の厚さを表す単位です(1平方メートル/グラム)。

- テ 定型用紙 JISなどの規格で定められた大きさの用紙(A4、B5など)。

定着器 用紙上のトナーを熱と圧力で定着させる機構。

- ト トナー 印刷のために用紙に定着させる炭素粉末。

トランケーション (truncation=先を切ること)

印刷スペースやデザインなどの都合で、天地方向の寸法を縮めたバーコードシンボル。

- ハ 排紙 用紙をプリンタから排出すること。
- 排紙トレイ プリンタから排出された用紙を受けるところ。
- バーコード 太さの異なるバーとスペースとの組み合わせにより、数字や文字などを機械的に解読可能な形で表現したもの。
- バイナリ 2進法を参照してください。
- バッファ 一時的にデータを記憶させておくメモリ。
- パネル設定 操作パネルで行う、プリンタ機能の設定。
- パラレルインターフェイス コンピュータからプリンタへデータを転送する際に、データを8ビットずつ転送する方式。
- パリティチェック データ転送の際に起きるエラーのチェック。
- ハンドシェイク 送信と受信の制御情報をデータとは別途にやりとりすることによって、互いの状態を確認する方法。
- ヒ ビット 1バイナリディジット (0または1)。プリンタやコンピュータによって使用される最小単位のこと。
- ビットマップフォント ドット (点) の集合体として記憶されているフォント。アウトラインフォント参照。
- フ フォント 書体のこと。
- フォント ROM モジュール 各種フォントが内蔵された ROM モジュール。
- フォントキャッシュ プリンタで内部的に生成した文字 (フォント) をプリンタのメモリに記憶する機能。
- プリンタドライバ アプリケーションソフトウェアのコマンドを、プリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェア。
- プロトコル 通信制御のために使われる、信号をやりとりするときの決まりごと。
- ヘ ページプリンタ ページ単位で印刷する方式のプリンタ。
- ホ ホストコンピュータ ネットワークシステムの中心になるコンピュータ。
- ボーレート データ転送の速度を示す尺度。コンピュータとプリンタの間で、シリアルインターフェイスを設定するときに使用します。
- メ メモリ 情報を保存するために使用される記憶装置。プリンタに装備されているメモリは、プリンタの動作をコントロールするための情報を入れたり (この情報の変更はできません)、コンピュータからプリンタに送られるデータ (例えばダウンロードフォントやグラフィックス) を一時的に保存するために使用されます。
E²PROM、RAM および ROM 参照。
- リ リセット 印刷を中止し、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。
現在稼働中のインターフェイスのみに有効となります。
キャッシュに保存されたフォントは記憶しています。
- リセットオール 印刷を中止し、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。
すべてのインターフェイスに対して有効となります。

索引

参照ページが Sxx となっているものは、「セットアップガイド」の該当ページを示します。数字のみのものは本書中のページを示します。

数字

16 進ダンブ	156
180 度回転印刷 (Macintosh)	93

アルファベット

A ACK ハバ	146
AC インレット	S5
AppleTalk	149
C CODABAR (Windows)	87
Code39 (Windows)	84
Code128 (Windows)	85
CR	152
D DIMM	164
DOS	120
DSR	147
DTR	147
E ENQ/ACK	147
EP-GL モジュール	164
EPSON Form!	41, 165
EPSON Link3	S22, S43, 163
EPSON Remote! (DOS/NetWare)	123
EPSON バーコードフォント (Windows)	75
EPSON プリントウィンドウ!3 (Macintosh)	110
EPSON プリントウィンドウ!3 (Windows95/98/NT4.0)	51, 52
インストール	S32
削除	74
動作環境	S29
EPSON プリントモニタ!3 (Macintosh)	114
ESC/Page キャンキョウメニュー	152
ESC/Page コントロールコード	237
ESC/PS キャンキョウメニュー	150
ESC/P コントロールコード	237
ET カートリッジ	S4, S14, 167, 182
F FF	152
G GW Byte	148
I I/F キリカエ	137
I/F タイムアウト	138
I/F ボードショキカ	149
I/F ボードセッテイ	148
Interleaved 2of5 (Windows)	86
IP Byte	148
IP アドレスセッテイ	148

J JAN-8 (Windows)	81
JAN-8 Short (Windows)	81
JAN-13 (Windows)	82
JAN-13 Short (Windows)	82
L LF	152
N NetBEUI	149
NetWare	149
NW-7 (Windows)	87
O OCR-B (Windows)	75
OHP シート	19
P PGI	S3
PGI (Macintosh)	103
PGI (Windows)	34
PGI 設定ボタン (Macintosh)	106
R RIT	S2, 143
RIT (Macintosh)	103
RIT (Windows)	35
ROM モジュール A ジョウホウ	137
ROM モジュール B ジョウホウ	137
ROM モジュール用ソケット	171
ROM モジュールを装着	173
S SM Byte	148
SPD	164
T TrueType フォント (Windows)	48
U UPC-A (Windows)	83
UPC-E (Windows)	83
X XON/XOFF	147

アイウエオ

ア アイコン設定 (Windows)	58
厚紙	17
アンインストール (Macintosh)	117
アンインストール (Windows)	72
イ 移動	194
イメージホセイ	143
印刷可スイッチ	S5, 126
印刷可能領域	4, 241
印刷可ランプ	126
印刷先のポート (Windows95/98)	67
印刷設定ボタン (Macintosh)	94
印刷中止 / リセットスイッチ	126
印刷に使用するドライバ (Windows95/98)	67
印刷の中止 (Macintosh)	116
印刷の中止 (Windows)	59
印刷の手順 (Macintosh)	92
印刷の手順 (Windows3.1/NT3.51)	27
印刷の手順 (Windows95/98/NT4.0)	25
印刷品質 (Macintosh)	102
印刷品質 (Windows)	33
印刷方向 (Macintosh)	93
インサツメニュー	142
印刷モード (Macintosh)	102
印刷モード (Windows)	47

インストール				キョウシイチ	150
EPSON プリンタウィンドウ3 (Windows)	S32			給紙選択 (操作パネル)	128
プリンタドライバ (Macintosh)	S44			給紙装置	4, 6
プリンタドライバ (Windows3.1/NT3.51)	S39			給紙装置 (Macintosh)	99, 104
プリンタドライバ (Windows95/98/NT4.0)	S30			給紙装置 (Windows)	32, 43
プリンタドライバ (Windows ネットワーク)	S51			給紙装置に対する用紙設定 (Windows)	43
インターフェイスカード	S50, 163, 176			給紙装置の設定 (Windows3.1)	S41
ウエオフセット	143			給紙装置の設定 (WindowsNT4.0)	S34, 178
液晶ディスプレイ	S5, 126			給紙タイプ (Windows)	33
エラー解除スイッチ	S5, 126			給紙ローラ	191
エラー解除ランプ	126			キョウツウメニュー	137
エラーコード	152			共有 (Windows)	S58
エラー表示の選択 (Macintosh)	113			共有プリンタをモニタさせる (Windows)	58
エラー表示の選択 (Windows)	57			クライアント (Windows)	S58, 61
エラーメッセージ	223			グラフィック (Windows)	34
オーバーレイ ROM モジュール	166			高速に印刷 (Windows3.1)	71
[オーバーレイ] ダイアログ (Windows)	41			コネクタカバー	S5
お手入れ	189			コピーマウス	142
オプション	141			コピー枚数 (操作パネル)	130
オプション I/F ジョウホウ	137			困ったとき	197
オプション I/F セットイメメニュー	148			コントローラ	242
オプション ROM モジュール (Windows)	46			コントロールコード	237
オプションインターフェイスカード	S50			サービス	234
オプション給紙装置 (Windows)	46			最大解像度 (Macintosh)	S48
オプション装着時の設定 (Windows)	178			削除ボタン (Macintosh)	115
オプションの設定 (Windows3.1/NT3.51)	S41			サポート	234
オプションの設定 (Windows95/98/NT4.0)	S34			システム条件 (Macintosh)	S42
オフセット (Macintosh)	106			システム条件 (Windows3.1/NT3.51)	S38
オフセット (Windows)	48			システム条件 (Windows95/98/NT4.0)	S28
音声通知 (Macintosh)	113			[実装オプション設定] ダイアログ (Windows)	46
音声通知 (Windows)	57			実装メモリ (Windows)	46
外観仕様	243			ジドウエラーカイジョ	145
階層設定モード	128			自動縮小印刷 (Windows)	31
階層設定モードランプ	126			ジドウハイシ	143
カイゾウド	142			シフトスイッチ	126
ガイドクリップ (用紙カセット)	S11, 7			シュクショウ	142
カイページ	152			縮小 (Macintosh)	93
拡大 / 縮小 (Windows)	36			縮小 (Windows)	36
拡大 / 縮小率 (Macintosh)	93			縮小 (操作パネル)	128
[拡張設定] ダイアログ (Windows)	47			ジュシンバッファ (オプション I/F)	149
拡張設定ボタン (Windows)	45			ジュシンバッファ (シリアル I/F)	147
カスタマ・バーコード (Windows)	88			ジュシンバッファ (パラレル I/F)	146
カスタム用紙ボタン (Macintosh)	94			仕様	238
カセット 1 ~ 3 タイプ	139			[詳細] ウィンドウ (Macintosh)	111
カセット 1 ~ 3 ヨウシサイズ	138			[詳細設定] ダイアログ (Macintosh)	102
カッククモジ	150			[詳細設定] ダイアログ (Windows)	34
カミシュ	145			詳細設定ボタン (Windows)	33
紙種 (Macintosh)	105			詳細ボタン (Windows)	42
紙種 (Windows)	48			シリアル	141
紙詰まり	227			シリアル I/F セットイメメニュー	146
簡易設定ユーティリティ (DOS/NetWare)	124			シリアルインターフェイスケーブル	S22, 161
環境使用条件	242			シリアルインターフェイスコネクタ	S5
[環境設定] ウィンドウ (Macintosh)	113			シリアルインターフェイス仕様	245
[環境設定] ダイアログ (Windows)	44			新郵便番号 (Windows)	88
環境設定ボタン (Macintosh)	106			スイッチ	126
カンジショタイ	151			スタートアップユーティリティ (DOS)	124
基本仕様	238			スタンプマーク (Macintosh)	107
[基本設定] ダイアログ (Windows)	31			スタンプマーク (Windows)	37
逆方向から印刷 (Windows)	37			[スタンプマーク] ダイアログ	38
キャビネット	167			スタンプマークを登録 / 削除 (Macintosh)	109
キョウシ	142			スタンプマークを登録 / 削除 (Windows)	39

ステータスシート	137	ハ	バーコードフォント (Windows)	75
ステータスシート (操作パネル)	S19, 155		ハーフトーン設定ボタン (Macintosh)	106
ステータスシート印刷ボタン (Windows)	45		ハーフトーン設定ボタン (WindowsNT3.51/NT4.0)	35
ステータスメッセージ	222		排紙スイッチ	S5, 126
ストップビット	147		排紙用延長トレイ	S4, 11
スプールの設定ボタン (Windows95/98)	69		ハガキ	14
寸法	243		ハクシセツヤク	143
セ			白紙節約 (Macintosh)	106
清掃	189		白紙節約する (Windows)	49
精密ビットマップアライメント (Macintosh)	94		バックグラウンドプリント (Macintosh)	114
セッテイシヨキカ	139		パネル設定スイッチ	S5
設定ダイアログ (Windows)	29		パラレル	141
設定ユーティリティ (DOS/NetWare)	124		パラレル I/F セッテイメニュー	146
セットアップ (Macintosh)	S62		パラレルインターフェイスケーブル	S21, 160
セットアップ (Windows)	S51		パラレルインターフェイスコネクタ	S5
接続先 (Windows3.1)	71		パラレルインターフェイス仕様	244
セツデン	138		パリティビット	147
節電	154	ヒ	ヒダリオフセット	144
節電をする (Macintosh)	S48		ヒョウジゲンゴ	139
ゼロ	150	フ	フィットページ (Macintosh)	107
専用キャビネット	167		フィットページ (Windows)	36
ソ			封筒	16
操作パネル	S4, 126		フォーム (Windows)	41
増設メモリ用ソケット	171		フォームオーバーレイ	153
増設メモリを装着	172		フォームオーバーレイ (Windows)	41
双方向通信機能 (Windows95/98)	69		フォームオーバーレイ ROM モジュール	166
タ			フォームオーバーレイユーティリティ	165
タイムアウト時間の設定 (Windows3.1)	71		[フォーム指定] ダイアログ (Windows)	42
タイムアウト設定 (Windows95/98)	68		[フォーム詳細] ダイアログ (Windows)	42
大容量カセットユニット	162		フォームバンゴウ	153
チ			フォトコピー縮小 (Macintosh)	93
長尺紙	20		フォント ROM モジュール	165
ツ			フォント置き換え (Macintosh)	95
通信販売	168		フォント置き換え (Windows)	50
テ			フォント設定ボタン (Macintosh)	94
データチャウ	146		フォントタイプ	152
データランプ	S5, 126		部数 (Macintosh)	98
定着器	S4		部数 (Windows)	33
ディスプレイ	126		部単位 (Macintosh)	100, 104
テストインサツメニュー	137		部単位で印刷 (Windows)	33
デバイスメニュー	143		フッキカイギョウ	152
電気関係 (仕様)	242		不定形紙	21
電源ケーブル	S17		プリンタオプション情報 (Windows)	45
電源スイッチ	S4		[プリンタ詳細] ウィンドウ (Windows)	52, 53, 54
オフ	S20		[プリンタ設定] ダイアログ (Windows)	43
オン	S18		[プリンタセットアップ] ダイアログ (Macintosh) ...	S48
ト			プリンタドライバを削除 (Macintosh)	117
特殊紙	14		プリンタドライバを削除 (Windows)	72
トナーコウカンエラーヒョウジ	140		プリンタの共有 (Windows)	S58, 61
トナーザンリョウ	140		Windows95/98 の場合	S58, 62
トナー残量 (Macintosh)	111		WindowsNT4.0 の場合	S61, 65
トナー残量 (Windows)	54		プリンタの接続先を変更 (Windows)	66
トナーザンリョウリセット	140		プリンタフォント使用 (Macintosh)	98, 105
トナーセーブ	143		プリンタポートの割り当て (Windows95/98)	67
トナーセーブ (Macintosh)	103		プリンタモード (操作パネル)	130
トナーセーブ (Windows)	35		プリンタモードメニュー	141
トナーセーブ (操作パネル)	130		プリンタをモニタする (Windows)	51
トレイ紙サイズ (操作パネル)	130		プリントサーバ (Windows)	S58, 61
トレイ紙サイズスイッチ	S4, 12		[プリント] ダイアログ (Macintosh)	98
トレイタイプ	139		プリント中止ボタン (Macintosh)	115
トレイヨウシサイズ	138			
ネ				
ネットワーク (Macintosh)	S62			
ネットワーク (Windows)	S51			
ネットワーク接続	S24			
濃度調整ボリューム	S5, 188			
ノベインサツマイスウ	140			

プリント待ち (Macintosh)	115	㊦ ラッチ	S4
プレビューボタン (Macintosh)	101	ラベル紙	18
プロッタ	164	ランプ	126
㊦ ページ (Macintosh)	98	㊦ リセット	157
ページエラーカイヒ	145	リセットオール	158
ページ選択 (Macintosh)	107	リファレンスマニュアル	166, 237
㊦ ポートの設定 (Windows)	66	㊦ [レイアウト] ダイアログ (Macintosh)	107
ポートの設定ボタン (Windows95/98)	68	[レイアウト] ダイアログ (Windows)	36
ポーレート	146	レイアウトボタン (Macintosh)	100
保守サービスの受け付け窓口	235	レンゾクシ	150
保守サービスの種類	236	㊦ ローカル接続	S23
ポップアップウィンドウ (Macintosh)	112	㊦ 割り付け (Macintosh)	108
ポップアップウィンドウ (Windows)	52, 55	割り付け (Windows)	37
㊦ ミギマージン	151	ワンタッチ	141
㊦ メモリ	164	ワンタッチ設定モード1	128
㊦ モード設定 (Macintosh)	99	ワンタッチ設定モード2	128
モジコード	150	ワンタッチ設定モードランプ	126
文字仕様	238		
モニタの設定 (Windows)	51		
[モニタの設定] ダイアログ (Windows)	52, 56, 57		
㊦ [ユーザー定義サイズ] (Windows)	32		
[ユーティリティ] ダイアログ	51		
輸送	195		
ユニバーサルカセットユニット	162		
ユニバーサルショートカセット	162		
㊦ 用紙			
給紙装置との関係	4		
サイズ	4		
サイズと給紙方法	240		
仕様	239		
使用できない	3		
使用できる	2		
設定の手順 (Macintosh)	91		
タイプの選択	13		
保管	5		
優先順位	5		
容量	4		
ヨウシイチ	151		
用紙ガイド (用紙カセット)	S11, 7		
用紙ガイド (用紙トレイ)	10		
用紙カセット	S4, S10, 6		
用紙カセットユニット	162		
ヨウシサイズ	142		
用紙サイズ (Macintosh)	93		
用紙サイズ (Windows)	31, 43		
用紙サイズ (操作パネル)	128		
用紙サイズのチェックをしない (Windows)	49		
ヨウシサイズフリー	145		
用紙サイズフリー (Macintosh)	106		
用紙サイズを設定 (Macintosh)	97		
用紙サイズを設定 (Windows)	32		
用紙残量 (Macintosh)	111		
用紙残量 (Windows)	54		
用紙種類 (Macintosh)	100, 103		
[用紙設定] ダイアログ (Macintosh)	93		
用紙トレイ	S4, 10		
ヨウシホウコウ	142		
用紙方向 (Windows)	32		
用紙方向 (操作パネル)	128		
呼び出しアイコン (Windows)	52, 58		



お問い合わせ確認票

コピーしてお使いください。

電話にてエプソンインフォメーションセンターへお問い合わせいただく際にご使用ください。
あらかじめご記入のうえ電話をおかけいただくことにより、トラブルの解決がよりスムーズに行えます。

* 印については次のページを参照してください。

プリンタ機種名	☐ LP-8600F ☐ LP-8400F ☐ LP-8300F
コンピュータメーカー名	
コンピュータ OS	☐ Windows3.1 Ver.
	☐ Windows95 ^{*1} Ver.
	☐ WindowsNT3.51 Ver.
	☐ Windows98 ^{*1} Ver.
	☐ WindowsNT4.0 Ver.
	☐ 漢字 Talk/MacOS ^{*2} Ver.
	☐ その他 Ver.
接続ケーブル	EPSON 製 ☐ PRCB4N ☐ PRCB5N ☐ EPSON Link3
	その他 ☐ メーカー名 型番
	バッファ、切替機など ☐ 有り ☐ 無し
ステータスシート印刷	☐ 正常 ☐ 正常でない お問い合わせの際は念のため、お手元に印刷結果をご用意ください。
プリンタドライバ	プリンタドライバのバージョン ^{*3} Ver.
	CD-ROM（またはFD）のリビジョン ^{*4} Rev.
	TestPageの印刷（Windows95/98/NT4.0のみ） ☐ 正常 ☐ 正常でない
	プリンタドライバの再インストール ☐ 行った ☐ 行っていない
アプリケーションソフト	メーカー名
	ソフト名
	バージョン Ver.
	上記アプリケーションソフトで他のデータを印刷した場合 ☐ 正常に印刷できる ☐ 正常に印刷できない
	他のアプリケーションから印刷を行った場合 使用アプリケーション名 _____
	☐ 正常に印刷できる ☐ 正常に印刷できない
今回のようなトラブルの現象は以前からありましたか？	
☐ 以前からあった ☐ 以前はなかった	
今回のようなトラブルはどのくらいの頻度で発生しますか？	
☐ 毎回必ず発生する ☐ ほとんどの場合に発生する ☐ 発生したりしなかったり	
お客様IDコード（取得済みの方のみ）	プリンタの製造番号 ^{*5}

お問い合わせ確認票記入のために

*1 Windows95/98のバージョン(Ver.)の確認方法

[スタート] から [設定] - [コントロールパネル] を開きます。

[システム] のアイコンをダブルクリックして開き、[情報] ([全般] のタブの画面の [システム] の部分で [Windows95/98] の次に記載されている部分が該当します。

*2 漢字Talk(Mac OS)バージョン(Ver.)の確認方法

[アップルメニュー] から [この Macintosh について] (Mac OS の場合は [このコンピュータについて]) を選択します。開いたウィンドウの [システムソフトウェア] の既読部分が該当します。

(Mac OS の場合は、ウィンドウの右上にバージョンが表示されます。)

*3 プリンタドライバのバージョン(Ver.)の確認方法

Windows95/98/NT4.0 の場合

プリンタドライバのプロパティのウィンドウで「基本設定」タブを選択し、右下の [バージョン情報] ボタンをクリックします。開いたウィンドウの中にバージョン番号の記載があります。

Macintosh の場合

[印刷ダイアログ] や [用紙設定ダイアログ] の上部に表示されます。

*4 プリンタドライバのリビジョン(Rev.)の確認方法

お客様がプリンタドライバのインストールに使用されたCD-ROM(もしくはフロッピーディスク)に記載の「Rev.」が該当します。

*5 プリンタの製造番号の確認方法

プリンタの保証書、もしくはプリンタ本体背面に貼ってあるシールに記載があります。



FAX注文書

このFAX 注文書は、代引き専用です。コピーしてお使いください。

エプソンOAサプライ株式会社 行

ファックス番号：0120-55-7765（フリーダイヤルFAX）
：03-3258-7690

発注日 年 月 日

* 空欄にご希望の商品名、金額など必要事項をご記入ください。お客様の電話番号は、弊社管理上の必要項目となっておりますので、必ずご記入ください。

電話番号 ()			
会社名／お名前			
住所 〒 -			
品名・型番	数量	単価	金額
商品金額合計			

送料	
消費税	
お支払い金額合計	



コピーしてお使いください。

機 種 名	製造番号								
お買上店名	お買上日 年 月 日								
修理品への添付	☐ 保証書 ☐ ケーブル（種類： ） ☐ （ ） ☐ （ ）								

発生の日時／頻度について、ご記入ください	
初めて故障した日時	年 月 日
故障が発生する時	電源ON時・使用開始直後・使用開始後 分/時間してから・電源OFF時
故障頻度	使用開始時のみ・いつも・ときどき (時間/ 日に 回)・まれ (週間に 回)
自己診断（動作確認）での結果について、ご記入ください	
動作確認結果	良好・異常 ()

故障内容について、文字／イラストなど、具体的にご記入ください	
お願い：	印刷結果に関する故障は、印刷サンプルを添付してください。用紙によって発生する場合は該当紙の添付をお願いします。また、特定のファイルで現象が発生する場合、差し支えなければ、フロッピーディスクにて添付してください。

お客様のコンピュータについて、ご記入ください			
コンピュータ	メーカー名	機種	
メモリ	標準	MByte+増設	MByte（メーカー 型番 ）= 合計 MByte
インターフェイス	パラレル・双方向パラレル・SCSI・シリアル・その他（ ）		
接続ケーブル	メーカー名：		

故障発生時のソフトウェアをご記入ください			
OS	☐ Windows 3.1	(メーカー.	Ver.)
	☐ Windows 95	(メーカー.	Ver.)
	☐ Windows 98	(メーカー.	Ver.)
	☐ Windows NT4.0	(メーカー.	Ver.)
	☐ Windows NT3.51	(メーカー.	Ver.)
	☐ Mac OS (漢字Talk)	(メーカー.	Ver.)
	☐ ネットワーク	(メーカー.	Ver.)
	☐ その他	(メーカー.	Ver.)
ドライバ	メーカー	ドライバ名	Ver.
アプリケーション	メーカー	Ver.	
	メーカー	Ver.	
一日の使用時間／印字あるいは取り込み枚数		時間／	枚(用紙サイズ)

フリガナ お名前	電話番号 TEL FAX
ご住所 〒 —	お客様IDコード（取得済みの方のみ）

*保証期間中の修理依頼については、必ず保証書を添付してください。

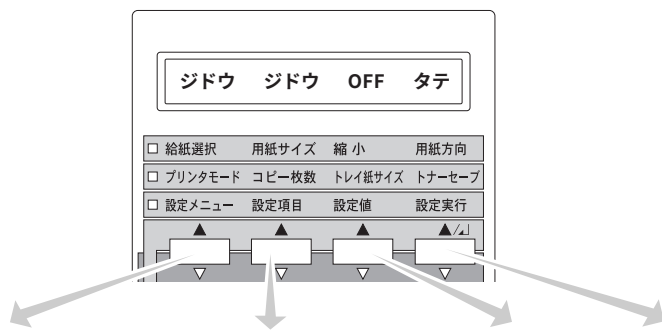
MEMO



パネル設定一覧表

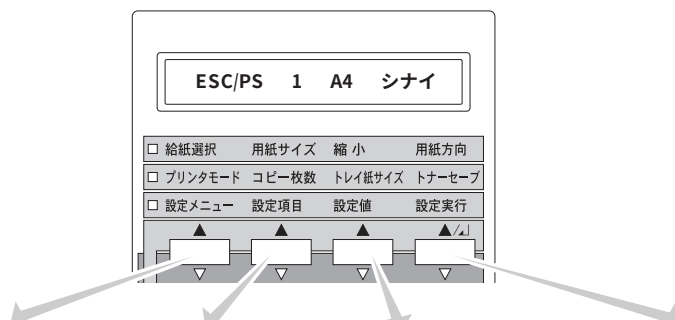
部分はオプション装着時に表示されます。機種によって利用できないオプション用の設定は表示されません。

ワンタッチ設定モード1



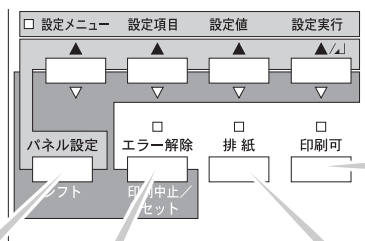
給紙選択	用紙サイズ	縮小	用紙方向
ジドウ→トレイ→ カセット 1→ カセット 2 → カセット 3	ジドウ→ A4 → A3 → A5 → B4 → B5 → ハガキ→ LT → HLT → LGL → GLT → GLG → B → EXE → F4 → MON → C10 → DL → C5	OFF ↔ 80%	タテ ↔ ヨコ

ワンタッチ設定モード2



プリンタモード	コピー枚数	トレイ紙サイズ	トナーセーブ
ESC/PS ↓ ESC/P ↓ ESC/Page ↓ EP-GL ↓ AUTO	1 ~ 999	A4 → A3 → A5 → B4 → B5 → ハガキ → LT → HLT → LGL → GLT → GLG → B → EXE → F4 → MON → C10 → DL → C5	シナイ ↔ スル

階層設定モード



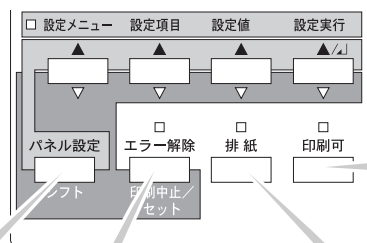
設定を変更した後は
必ず**設定実行**スイッチを
押してください

設定メニュー	設定項目	設定値
テストインサツメニュー	ステータスシート	
	オプションI/F ジョウホウ	
	ROM モジュール A ジョウホウ	
	ROM モジュール B ジョウホウ ^{*1}	
キョウツウメニュー	I/F キリカエ	ジドウ→パラレル→シリアル ^{*1} → オプション ↑
	I/F タイムアウト	20 ～ 600 ビョウ
	セツデン	5 フン→ 15 フン→ 30 プン→ 60 プン→ OFF ↑
	トレイヨウシサイズ	A4 → A3 → A5 → B4 → B5 → ハガキ → LT → HLT → LGL → GLT → GLG → B → EXE → F4 → MON → C10 → DL → C5
	カセット 1 ヨウシサイズ	
	カセット 2 ヨウシサイズ	
	カセット 3 ヨウシサイズ ^{*2}	
	トレイタイプ	フツウシ→インサツミ→レターヘッド→ボンドシ→ サイセイシ→イロツキ→ OHP フィルム→ラベル
	カセット 1 タイプ	フツウシ→インサツミ→ボンドシ→サイセイシ→イロツキ
	カセット 2 タイプ	フツウシ→インサツミ→ボンドシ→サイセイシ→イロツキ
	カセット 3 タイプ ^{*2}	フツウシ→インサツミ→ボンドシ→サイセイシ→イロツキ
	ヒョウジゲンゴ	ニホンゴ←→ ENGLISH
	ショキカセッテイ	

↓
キョウツウメニュー 2

*1 : LP-8300F を除く

*2 : LP-8600F のみ



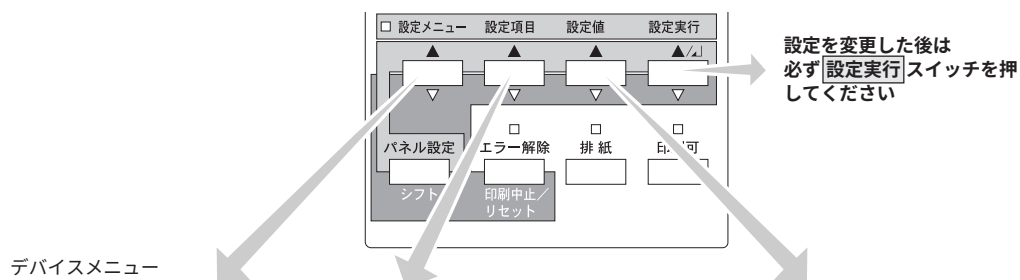
設定を変更した後は
必ず「設定実行」スイッチを
押してください

キョウツウメニュー

設定メニュー	設定項目	設定値
キョウツウメニュー 2	トナーザンリョウ	
	トナーザンリョウリセット	
	ノベインサツマイスウ	
	トナーコウカンエラーヒョウジ	シナイ↔スル
プリンタモードメニュー	パラレル	ESC/PS → ESC/P → ESC/Page → EP-GL → AUTO
	シリアル ^{*1}	ESC/PS → ESC/P → ESC/Page → EP-GL → AUTO
	オプション	ESC/PS → ESC/P → ESC/Page → EP-GL → AUTO
	ワンタッチ	パラレル→シリアル ^{*1} → オプション
インサツメニュー	キューシ	ジドウ→トレイ→カセット 1 → カセット 2 → カセット 3
	ヨウシサイズ	ジドウ→A4→A3→A5→B4→B5→ハガキ→ LT → HLT → LGL → GLT → GLG → B → EXE → F4 → MON → C10 → DL → C5
	ヨウシホウコウ	タテ↔ヨコ
	コピーマイスウ	1 ~ 999
	シュクショウ	OFF↔80%
	カイゾウド	ハヤイ↔キレイ
	イメージホセイ	1↔2
	ハクシセツヤク	スル↔シナイ
	ジドウハイシ	スル↔シナイ
デバイスメニュー	RIT	ON↔OFF
	トナーセーブ	シナイ↔スル
	ウエオフセット	-30.0mm ~ 30.0mm
	ヒダリオフセット	-30.0mm ~ 30.0mm
	カミシュ	フツウ↔アツガミ
	ヨウシサイズフリー	OFF↔ON
	ジドウエラーカイジョ	シナイ↔スル
	ページエラーカイヒ	OFF↔ON

*1 : LP-8300F を除く

パラレル I/F セッテイメニュー

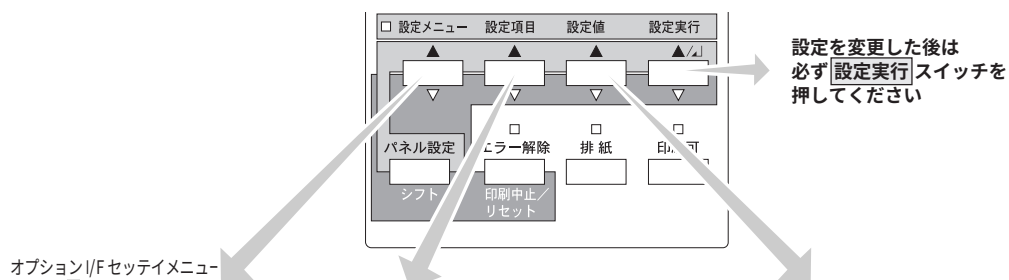


設定メニュー	設定項目	設定値
パラレルI/Fセッテイメニュー	ACK ハバ	ミジカイ↔ヒョウジュン
	ソウホウコウ	ニブル→ECP→OFF
	ジュシンバッファ	ヒョウジュン→サイダイ→サイショウ
シリアルI/Fセッテイメニュー ^{*1}	データチャウ	8ビット↔7ビット
	ボーレート	9600→19200→38400→57600→76800→ 115200→300→600→1200→2400→4800
	パリティビット	ナシ→EVEN→ODD
	ストップビット	1ビット↔2ビット
	XON/XOFF	ON↔OFF
	ENQ/ACK	OFF↔ON
	DTR	ON↔OFF
	DSR	OFF↔ON
	ジュシンバッファ	サイショウ→ヒョウジュン→サイダイ
オプションI/Fセッテイメニュー	I/F ボードセッテイ	シナイ→スル
	IP アドレスセッテイ	パネル→ジドウ→PING
	IP Byte 1	0～255
	IP Byte 2	0～255
	IP Byte 3	0～255
	IP Byte 4	0～255
	SM Byte 1	0～255
	SM Byte 2	0～255
	SM Byte 3	0～255
	SM Byte 4	0～255
	GW Byte 1	0～255
	GW Byte 2	0～255
	GW Byte 3	0～255
	GW Byte 4	0～255
	NetWare	ON↔OFF
	AppleTalk	ON↔OFF
	I/F ボードショキカ	
	ジュシンバッファ	ヒョウジュン→サイダイ→サイショウ

*1 : LP-8300Fを除く

↓

ESC/PS キャンキョウメニュー



設定メニュー	設定項目	設定値
ESC/PS かんきョウメニユー	レンゾクシ	OFF → [F15 → B4 ヨコ] → [F15 → A4 ヨコ] → [F10 → A4 タテ]
	モジコード	カタカナ ↔ グラフィック
	キュウシイチ	8.5mm ↔ 22mm
	カックモジ	ニホン → アメリカ → イギリス → ドイツ → スウェーデン
	ゼロ	0 ↔ ∅
	ヨウシイチ	ヒダリ → チュウオウ → チュウオウ -5 → チュウオウ +5
	ミギマージン	ヨウシハバ ↔ 136 ケタ
	カンジショタイ	ミンチョウ → ゴシック → セイカイショ → マルゴシック → キョウカショ → ギョウシヨ
ESC/Page かんきョウメニユー	フッキカイギョウ	スル ↔ シナイ
	カイページ	スル ↔ シナイ
	CR	CR ノミ ↔ CR+LF
	LF	CR+LF ↔ LF ノミ
	FF	CR+FF ↔ FF ノミ
	エラーコード	OFF ↔ ON
	フォントタイプ	1 → 2 → 3
	フォームオーバーレイ	OFF ↔ ON
	フォームバンゴウ	1 ~ 512

●オプションの EP-GL モジュール装着時に表示される項目です。

設定メニュー	設定項目	設定値
EP-GLカキョウメニュー	コマンドモード	エンハンスト↔スタンダード
	カンジショタイ	ミンチョウ→ゴシック→セイカイショ→マルゴシック→キョウカショ→ギョウシヨ→ナシ
	ゲンテンイチ	ヨウシスミ↔チュウオウ
	カイトンカク	0ド→90ド→180ド→270ド
	ミラー	OFF→ON
	ジドウスケーリング	OFF→A0→A1→A2→A3→A4→B1→B2→B3→B4→IP
	ニニスケーリング	OFF→A0→A1→A2→A3→A4→B1→B2→B3→B4
	ニンイバイリツ	25～200%
	ヨコホセイ	-1.00～1.00%
	タテホセイ	-1.00～1.00%
	ペンモード	コテイ1→コテイ2→ホセイ
	ペン1ハバ～ペン8ハバ	0.00～5.00mm
	ペン1ノウド～ペン8ノウド	0～100%
	センシュウタン	ナシ→シカク→サンカク→マル
	センセツゴウ	ナシ→マイター→マイターベベル→ベベル→マル→サンカク
	マイターチョウ	1～5
	オーバーレイ	OFF↔ON
	SPハイシ	ON↔OFF
	カラーゼルパンゴウ	1～5
	ブンカツインサツ	OFF→A0→A1→A2→A3→B1→B2→B3
	ブンカツジクリップ	ハシ→キントウ→シュクショウ

IBM PCおよびIBM はInternational Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
Apple の名称、Macintosh、PowerMacintosh、漢字Talk、TrueTypeはApple Computer, Inc. の登録商標です。
Microsoft、WindowsおよびWindowsNTは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について ー注意ー

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合修理等は有償で行います。